2023年度　エンジンⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科	1年
学・実区分	学科	定期試験時間 0
実施期	導入	教科時間計 1

	エンジンⅠA		エンジンⅠB	
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店	加藤　洋	岡本　真城 自動車販売店	安池　孝夫
1.授業概要と履修前提	工具の名称・用途について学ぶ			
2.教科の到達目標	工具の名称・用途等を、身に付けることができる			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービステキスト　工具・計測器・整備機器編			
4.授業時間	導入	1	導入	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科：エンジンⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	森田	加藤	工具取り扱い	工具の名称・用途が理解できる	242	1

授業計画表(学科：エンジンⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　エンジン実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	13

	エンジン実習ⅠA		エンジン実習ⅠB	
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店	加藤　洋	岡本　真城 自動車販売店	安池　孝夫
1.授業概要と履修前提	工具を使った基本的な作業方法を身に付ける 全ての作業に通じる作業姿勢など、基本動作を身に付ける		エンジンの種類と役割について学ぶ 4サイクルエンジンの基本的な作動について学ぶ 作業をするうえで最も大切な『安全な作業』を身に付ける	
2.教科の到達目標	自動車部品の分解・組み付けにおいて、安全で正確な作業ができるようになる		今後エンジンについて学ぶ入り口として、4サイクルエンジンとは？を概要的に説明できる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービステキスト　導入 工具一式		トヨタサービステキスト　導入 トヨタサービステキスト　1STEP 工具一式	
4.授業時間	導入	6	導入	7
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(実習:エンジン実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	森田	加藤	工具の選択	作業種類に応じた工具の選択　使い方の基礎能力を養う	224	1
導入	2	森田	加藤	工具の使い方	スパナ　オフセットレンチ　エクステンションバー　Tハンドル　スピンナーハンドル	224	1
導入	3	森田	加藤	工具の使い方	ラチェット　ソケットレンチ　ソケットアダプター　ユニバーサルジョイント	224	1
導入	4	森田	加藤	工具の使い方	ドライバー　ソケットドライバー　モンキー　マグネットハンド　プライヤー　ニードルノーズ	224	1
導入	5	森田	加藤	締め付けトルク	F型トルクレンチで正しい締め付けができるようになる	224	1
導入	6	森田	加藤	作業姿勢・備品の脱着	ボルトナットスタッドボルト　脱着ができる	224	1

授業計画表(実習:エンジン実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	岡本	安池	エンジンの種類・役割	基本的なエンジンの種類について理解できる	教室	1
導入	2	岡本	安池	4サイクルエンジン	4サイクルエンジンのやその他の構造について理解できる	教室	1
導入	3	岡本	安池	作業安全(全般)	実作業の中で注意するポイントを知る	教室	1
導入	4	岡本	安池	保護具	保護具の定義が理解できる	教室	1
導入	5	岡本	安池	エンジン始動(安全作業)	エンジン始動に必要な準備、前点検ができるようになる	32	1
導入	6	岡本	安池	エンジン始動(安全作業)	始動前の安全確認、始動中の安全行動ができるようになる	32	1
導入	7	岡本	安池	エンジン始動(安全作業)	始動後の片付け、4S作業を実施することができる	32	1

2023年度　シャシⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	4

	シャシⅠA	
教員名 実務経験	中田　善之	中川　恵亮 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ステアリング装置、ブレーキ装置についてその構造・作動を学ぶ ・駆動方式の種類、特徴について学ぶ	
2.教科の到達目標	・自動車の三大要素である「走る」「曲がる」「止まる」の主要部品を答えることができる ・イラストから駆動方式を判断することができる ・駆動方式の特徴を答えることができる	
3.使用教科書、準備品	・日整連　三級シャシ編 ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）及び（1STEP）	
4.授業時間	導入　4	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験100％	

授業計画表(学科：シャシⅠ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	中田	中川	ステアリング	役目、仕組を理解し、説明できる	251	1
導入	2	中田	中川	ブレーキ	役目、仕組を理解し、説明できる	251	1
導入	3	中田	中川	動力伝導装置	役目、仕組を理解し、説明できる	251	1
導入	4	中田	中川	動力伝導装置	FF, FR、4WD, MR, RRの区別ができる	53	1

2023年度　シャシⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	4

	シャシⅠB	
教員名 実務経験	浅野　忠伯	本間　滉太郎 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ステアリング装置、ブレーキ装置についてその構造・作動を学ぶ ・駆動方式の種類、特徴について学ぶ	
2.教科の到達目標	・自動車の三大要素である「走る」「曲がる」「止まる」の主要部品を答えることができる ・イラストから駆動方式を判断することができる ・駆動方式の特徴を答えることができる	
3.使用教科書、準備品	・日整連　三級シャシ編 ・トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）及び（1STEP）	
4.授業時間	導入　4	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験100％	

授業計画表(学科：シャシⅠ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	浅野	本間	ステアリング	役目、仕組を理解し、説明できる	252	1
導入	2	浅野	本間	ブレーキ	役目、仕組を理解し、説明できる	252	1
導入	3	浅野	本間	動力伝導装置	役目、仕組を理解し、説明できる	252	1
導入	4	浅野	本間	動力伝導装置	FF, FR、4WD, MR, RRの区別ができる	53	1

2023年度　シャシ実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	10

	シャシ実習ⅠA			
教員名 実務経験	中田　善之		中川　恵亮 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・正しい車両の取扱いを学ぶ ・安全なジャッキアップダウンを学ぶ			
2.教科の到達目標	・正しい車両の取扱いを理解し、実践できる ・ジャッキ、リジッドラックの前点検、正しい取扱いができる ・安全にジャッキアップダウンができる			
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス TEAM GP G4(導入編) ・自動車整備技術　シャシ2			
4.授業時間	導入	10	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験80%, レポート点20%			

授業計画表(実習:シャシ実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1～2	中田	中川	車両取り扱い	安全で正確な取り扱いができる	35	2
導入	3	中田	中川	車両取り扱い	車両保護、管理カルテ、車両受け入れ作業ができる	35	1
導入	4～5	中田	中川	ジャッキ取扱い	ジャッキおよびリジッドラックの前点検、安全な操作ができる	35	2
導入	6	中田	中川	ジャッキ取扱い	ジャッキ作業においての危険予知ができる	35	1
導入	7	中田	中川	ジャッキアップ	リジッドラックの配置の仕方を理解し、安全にジャッキアップができる	35	1
導入	8	中田	中川	タイヤ脱着	正しいタイヤの脱着ができる	35	1
導入	9	中田	中川	ジャッキダウン	安全にジャッキダウンができる	35	1
導入	10	中田	中川	走行装置	座学で学んだ装置を実施で確認し、説明できる	35	1

2023年度　シャシ実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	10

	シャシ実習ⅠB			
教員名 実務経験	浅野　忠伯		本間　滉太郎 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・正しい車両の取扱いを学ぶ ・安全なジャッキアップダウンを学ぶ **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシ整備を学ぶ**			
2.教科の到達目標	・正しい車両の取扱いを理解し、実践できる ・ジャッキ、リジッドラックの前点検、正しい取扱いができる ・安全にジャッキアップダウンができる			
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス TEAM GP G4(導入編) ・自動車整備技術　シャシ2			
4.授業時間	導入	10	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験80%, レポート点20%			

授業計画表(実習:シャシ実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1～2	浅野	本間	車両取り扱い	安全で正確な取り扱いができる	35	2
導入	3	浅野	本間	車両取り扱い	車両保護、管理カルテ、車両受け入れ作業ができる	35	1
導入	4～5	浅野	本間	ジャッキ取扱い	ジャッキおよびリジッドラックの前点検、安全な操作ができる	35	2
導入	6	浅野	本間	ジャッキ取扱い	ジャッキ作業においての危険予知ができる	35	1
導入	7	浅野	本間	ジャッキアップ	リジッドラックの配置の仕方を理解し、安全にジャッキアップができる	35	1
導入	8	浅野	本間	タイヤ脱着	正しいタイヤの脱着ができる	35	1
導入	9	浅野	本間	ジャッキダウン	安全にジャッキダウンができる	35	1
導入	10	浅野	本間	走行装置	座学で学んだ装置を実施で確認し、説明できる	35	1

2023年度　シャシ電装Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	4

	シャシ電装ⅠA			
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー		坂元　亮太	
1.授業概要と履修前提	オームの法則を使用し、電気の基礎知識を身に付ける オームの法則を復習しておくことを必要とする			
2.教科の到達目標	直流の電圧・電流・抵抗の関係が説明できるようになる オームの法則を使った基本問題が解ける。(直列・並列問題) 電力の計算ができる			
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　1STEP			
4.授業時間	導入	4	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験100%			

授業計画表(学科:シャシ電装Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	市位	坂元	電気の基礎(学科)	オームの法則(電圧、電流、抵抗の関係)が説明できる	246	1
導入	2	市位	坂元	電気の基礎(学科)	直流と交流の違いが答えられる	246	1
導入	3	市位	坂元	電気の基礎(学科)	抵抗の直列、並列のつなぎ方ができる	246	1
導入	4	市位	坂元	電気の基礎(学科)	e-テスト(G41004－T01)	246	1

2023年度　シャシ電装実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	10

	シャシ電装実習ＩＡ			
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー		坂元　亮太	
1.授業概要と履修前提	サーキットテスタ(デジタル)の取り扱い			
2.教科の到達目標	サーキットテスタ(デジタル)の基本的な取り扱い サーキットテスタ(デジタル)を使って電圧予測及び電圧、抵抗測定ができるようになる			
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト 1STEP トヨタサービス　技術テキスト(工具・計測器・整備機器編)			
4.授業時間	導入	10	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験80%、レポート20%			

授業計画表(実習:シャシ電装実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1		デジタルテスタ	各部名称及び測定できるものが理解できている	255	1
導入	2			測定前準備(ゼロ点確認、導通点検)ができる	255	1
導入	3			電圧測定ができる	255	1
導入	4			抵抗測定ができる	255	1
導入	5～6		電気基礎	電圧、電流、抵抗の関係が答えられる(予測と測定)	255	2
導入	7			オームの法則練習問題が全て解ける	255	1
導入	8			電力について理解ができる	255	1
導入	9			配線の太さによる抵抗の違いができる	255	1
導入	10			平常試験得点率60%以上		1

2023年度　シャシ電装Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	4

	シャシ電装ⅠB	
教員名 実務経験	西谷　孝也	大前　宏貴
1.授業概要と履修前提	オームの法則を使用し、電気の基礎知識を身に付ける オームの法則を復習しておくことを必要とする	
2.教科の到達目標	直流の電圧・電流・抵抗の関係が説明できるようになる オームの法則を使った基本問題が解ける。(直列・並列問題) 電力の計算ができる	
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　1STEP	
4.授業時間	導入　4	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験100%	

授業計画表(学科:シャシ電装Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	西谷	大前	電気の基礎(学科)	オームの法則(電圧、電流、抵抗の関係)が説明できる	247	1
導入	2	西谷	大前	電気の基礎(学科)	直流と交流の違いが答えられる	247	1
導入	3	西谷	大前	電気の基礎(学科)	抵抗の直列、並列のつなぎ方ができる	247	1
導入	4	西谷	大前	電気の基礎(学科)	e-テスト(G41004－T01)	247	1

2023年度　シャシ電装実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	10

	シャシ電装実習ＩＢ			
教員名 実務経験	西谷　孝也		大前　宏貴	
1.授業概要と履修前提	サーキットテスタ(デジタル)の取り扱い			
2.教科の到達目標	サーキットテスタ(デジタル)の基本的な取り扱い サーキットテスタ(デジタル)を使って電圧予測及び電圧、抵抗測定ができるようになる			
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト 1STEP トヨタサービス　技術テキスト(工具・計測器・整備機器編)			
4.授業時間	導入	10	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験80%、レポート20%			

授業計画表(実習:シャシ電装実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1		デジタルテスタ	各部名称及び測定できるものが理解できている	224	1
導入	2			測定前準備(ゼロ点確認、導通点検)ができる	224	1
導入	3			電圧測定ができる	224	1
導入	4			抵抗測定ができる	224	1
導入	5～6		電気基礎	電圧、電流、抵抗の関係が答えられる(予測と測定)	224	2
導入	7			オームの法則練習問題が全て解ける	224	1
導入	8			電力について理解ができる	224	1
導入	9			配線の太さによる抵抗の違いができる	224	1
導入	10			平常試験得点率60%以上		1

2023年度　電気装置Ⅰ　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	3

	電気装置ⅠA		電気装置ⅠB	
教員名 実務経験	佐々木　健太	加藤　健 自動車販売店	大橋　信夫	小山　真由子
1.授業概要と履修前提			計測機器の取り扱いについて学ぶ。	
2.教科の到達目標			ノギスの測定原理を理解し、測定値が読めるようになる。 マイクロメーターの測定原理を理解し、測定値が読めるようになる。	
3.使用教科書、準備品			トヨタサービス　工具・測定器・整備機器編	
4.授業時間	導入　0	－　0	導入　3	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科：電気装置ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間

授業計画表(学科：電気装置ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	大橋	小山	測定作業	測定に必要な知識、注意点を理解できる	249	1
導入	2	大橋	小山	測定作業	ﾉｷﾞｽの構造、作動が理解でき、正しく測定値が読み取れる	249	1
導入	3	大橋	小山	測定作業	ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰの構造、作動が理解でき、正しく測定値が読み取れる	249	1

2023年度　電気装置実習Ⅰ　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	導入	教科時間計	11

	電気装置実習ⅠA		電気装置実習ⅠB	
教員名 実務経験	佐々木　健太	加藤　健 自動車販売店	大橋　信夫	小山　真由子
1.授業概要と履修前提	車で使用される電気に関する基礎的な内容を学ぶ。 車両の受け入れチェックを行う。車両取扱の概要 灯火装置概要		・各計測機器にて実際に計測を行う。	
2.教科の到達目標	・車両の受け入れチェックを実施することができる。 ・エンジン始動やバッテリーのマイナス端子取り付けなど基本的な車両の取扱いができる。		・測定機器を正しく使用することができる。 ・正しい測定値を得ることができる。	
3.使用教科書、準備品	プリント(授業時に配布) 手持ち工具、保護具(眼鏡・手袋)		トヨタサービス　工具・測定器・整備機器編 ウェス	
4.授業時間	導入　7	－　0	導入　4	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(実習:電気装置実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	佐々木	加藤	電気概要	車両の電源が理解でき、電流の流れが説明できる。	248	1
導入	2	佐々木	加藤	電素品確認	車両に使用される電装品が理解できる。	248	1
導入	3	佐々木	加藤	安全作業	安全作業を意識して、作業を行うことができる	35B	1
導入	4	佐々木	加藤	車両取り扱い	車両チェック(受入・終了)、及び、エンジン始動が安全に実施できる	35B	1
導入	5	佐々木	加藤	ドアロック	ドアロックの機能、種類を理解できる	35B	1
導入	6	佐々木	加藤	灯火装置	車に使用されている灯火装置の概要、操作を理解できる	35B	1
導入	7	佐々木	加藤	バッテリ	バッテリの－端子脱着作業ができる	35B	1

授業計画表(実習:電気装置実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
導入	1	大橋	小山	ノギス	ﾉｷﾞｽの作動説明と測定作業のテストピースを測定ができる	233	1
導入	2	大橋	小山	ノギス・マイクロメータ	ﾉｷﾞｽ・ﾏｲｸﾛﾒｰﾀの作動説明と測定作業のテストピースを測定ができる	233	1
導入	3	大橋	小山	マイクロメーター	ﾏｲｸﾛﾒｰﾀの作動説明とﾋﾟｽﾄﾝ外径の測定作業ができる	233	1
導入	4	大橋	小山	マイクロメータ・確認試験	マイクロメータ測定作業、及び、確認試験(学科・実技)が解ける	233	1

2023年度　エンジンⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	37

	エンジンⅠA				エンジンⅠB			
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店		加藤　洋		岡本　真城 自動車販売店		安池　孝夫	
1.授業概要と履修前提	ガソリンエンジン概要　仕組み　3要素 動弁機構　冷却装置 吸気排気装置				ガソリンエンジン概要　仕組み 燃料装置・EFI概要・始動装置概要 内燃機関			
2.教科の到達目標	ガソリンエンジン概要を理解し説明できる 動弁機構について理解し説明でき、国家試験が解ける 吸排気装置・冷却装置を理解し説明できる				ガソリンエンジン概要を理解し説明できる エンジンの性能について理解し説明でき、国家試験が解ける 燃料装置・始動装置を理解し説明できる			
3.使用教科書、準備品	・タブレット				・タブレット ・3級ガソリンエンジン ・2級ガソリンエンジン			
4.授業時間	前期	16	－	0	前期	19	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	・A側平常試験10%、B側平常試験10%、定期試験80% 詳細は教科から連絡します。							

授業計画表(学科：エンジンⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～5	森田	加藤	動弁装置	基本的なエンジンの構造・動弁機構種類が理解できる （エンジンメカニカル2　動弁機構の種類） （エンジンメカニカル2　動弁機構の構成） （エンジンメカニカル2　バルブタイミング）	231	5
前期	6,7	森田	加藤		バルブタイミング　国家試験問題が解ける	231	2
前期	8,9	森田	加藤	吸排気装置	基本的なエンジンの構造　吸気装置の仕組みが理解できる （エンジンメカニカル3　吸気装置）	231	2
前期	10	森田	加藤		基本的なエンジンの構造　排気装置の仕組みが理解できる （エンジンメカニカル4　排気）	231	1
前期	11～16	森田	加藤	冷却装置	基本的なエンジンの構造　冷却装置の仕組みが理解できる （エンジンメカニカル5　冷却装置）	231	6

授業計画表(学科：エンジンⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	岡本	安池	エンジンが力を出す仕組み	ガソリンエンジン概要が理解できる　2STEP	232	1
前期	2	岡本	安池		ガソリンエンジンの仕組みが理解できる	232	1
前期	3	岡本	安池		各行程の作動が理解できる	232	1
前期	4	岡本	安池	ガソリン3要素	エンジンの力をコントロールする要素を理解する	232	1
前期	5	岡本	安池	【eテスト】	ガソリンが力を出す仕組み　70点以上合格	232	1
前期	6～9	岡本	安池	燃料装置	基本的なエンジンの構造　燃料装置の仕組みが理解できる （エンジンメカニカル3　燃料装置）	232	4
前期	10	岡本	安池	始動装置	基本的なエンジンの構造　始動装置の仕組みが理解できる	232	1
前期	11	岡本	安池	EFI	概要が理解できる	232	1
前期	12	岡本	安池	EFI	主要な構成部品と基本制御が理解できる	232	1
前期	13	岡本	安池	EFI	各種センサーアクチュエータが理解できる	232	1
前期	14～15	岡本	安池	エンジンの性能	基本的なスペックの知識が理解できる	232	2
前期	16	岡本	安池	（内燃機関）	（排気量　ボアストローク　出力　トルク　性能曲線　理論サイクル）	232	1
前期	17	岡本	安池	（内燃機関）	（燃料消費率　燃費モード　熱効率　仕事、仕事率）	232	1
前期	18	岡本	安池		エンジン性能　国家試験問題が解ける	232	1
前期	19	岡本	安池	【eテスト】	安全　70点以上合格	232	1

2023年度　エンジン実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	61

	エンジン実習ⅠA				エンジン実習ⅠB			
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店		加藤　洋		岡本　真城 自動車販売店		安池　孝夫	
1.授業概要と履修前提	修理書の見方 冷却装置　動弁装置　構造と交換作業 工具取り扱い　習熟				修理書の見方 燃料装置　構造と交換作業　EFI概要 工具取り扱い　習熟			
2.教科の到達目標	冷却・動弁装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる				燃料装置に関する構成や役目を理解したうえで、安全で正確な作業ができる 工具の取扱いが適切にでき、修理書をベースに作業ができる			
3.使用教科書、準備品	・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス ・3級ガソリンエンジン ・2級ガソリンエンジン				・タブレット　・工具　・保護具　・ウエス ・3級ガソリンエンジン ・2級ガソリンエンジン			
4.授業時間	前期	31	－	0	前期	28	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	・A側平常試験10%、B側平常試験10%、定期試験80% 詳細は教科から連絡します。							

授業計画表(実習:エンジン実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	森田	加藤	修理書の見方	一般作業の説明範囲　準備品　作業手順について理解を深める	231	1
前期					用語の定義　略語　SI単位について理解を深める		
前期					標準ボルトナットについての理解を深める		
前期	2～3	森田	加藤	冷却装置	冷却装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2
前期	4～7	森田	加藤	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	4
前期					冷却水抜き取り		
前期					ラジエータ取り外し、ベルト・ファンプーリー取り外し		
前期					テンショナー、ウォーターポンプ、サーモスタット取り外し		
前期	8～10	森田	加藤	構造研究	各部品の構造を理解する	32実	3
前期	11～12	森田	加藤	点検、作動確認	サーモスタット、ファンクラッチ	32実	2
前期	13～16	森田	加藤	組付作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	4
前期					サーモスタット、ウォーターポンプ、テンショナー取り付け		
前期					ベルト・ファンプーリー取り付け、ラジエータ取り付け		
前期					冷却水注水		
前期	17～19	森田	加藤	各種点検	漏れ点検、キャップ点検、LLC濃度点検	32実	3
前期	20～23	森田	加藤	動弁機構	動弁機構(ラッシュアジャスター含む)について理解を深める	32実	4
前期	24～26	森田	加藤	動弁装置	バルブ交換作業ができる	32実	3
前期	27～28	森田	加藤	吸排気装置	吸気・排気装置の概要について理解を深める	32実	2
前期	29～30	森田	加藤	平常技術チェック	冷却水交換・漏れ点検【TEAM-GP チェックシート】	32実	2
前期	31	森田	加藤	平常試験	ペーパー問題	231	1

授業計画表(実習:エンジン実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	安池	岡本	エンジン始動	作業安全＋ガソリンの性質と取り扱いを理解する	32実	2
					点検・判定が正確にできる		
					(エンジンオイルの量　冷却水の量　バッテリターミナルの緩み)		
前期	3～4	安池	岡本	修理書の見方	一般作業の説明範囲　準備品　作業手順について理解を深める	32実	2
					用語の定義　略語　SI単位について理解を深める		
					標準ボルトナットについての理解を深める		
					燃料系統を通して配線図集の見方を理解する		
前期	5～6	安池	岡本	燃料装置	燃料装置の主要部品の名称・役目・実物が一致する	32実	2
前期	7～8	安池	岡本	安全作業	火気に関わる作業・燃料流出防止作業を理解し実践できる	32実	2
前期	9～12	安池	岡本	分解作業	修理書を使用し組み付け行程の事も考えた分解作業ができる	32実	4
前期	13	安池	岡本	構造研究	ポンプ　フィルター　パイプ　ホース　クイックカプラ各部品の構造を理解する	32実	1
前期	14	安池	岡本		パルセーションダンパ　プレッシャレギュレータ各部品の構造を理解する	32実	1
前期	15	安池	岡本		デリバリパイプ　インジェクター　ガスケット各部品の構造を理解する	32実	1
前期	16～19	安池	岡本	組み付け作業	修理書を使用し正確な組み付け作業ができる	32実	4
前期	20	安池	岡本	締め付けトルク	適正なな締め付けトルクで組み付けができる	32実	1
前期	21	安池	岡本	延長工具	延長工具を取り付けたトルク管理ができる	32実	1
前期	22	安池	岡本	始動装置	始動装置の概要について理解を深める	32実	1
前期	23	安池	岡本	圧力・負圧	インテークマニホールドに発生する圧力について理解を深める	32実	1
前期	24	安池	岡本	燃圧測定	負荷と回転数と燃料消費について理解を深める	32実	1
前期	25	安池	岡本	EFI構成	2級国家試験レベル(EFI)の構成部品について理解を深める	32実	1
前期	26	安池	岡本	平常試験	ペーパー問題	232	1
前期	27,28	安池	岡本	平常実技チェック	燃料流出防止作業【TEAM-GP チェックシート】	32実	2

2023年度　シャシⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	29

	シャシⅠA				シャシⅠB			
教員名 実務経験	中田　善之		中川　恵亮		浅野　忠伯		本間　滉太郎	
			自動車販売店				自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・ブレーキの基本性能，ディスクブレーキについて学ぶ **☆自動車販売店での整備経験者により整備士に必要なシャシの構造・作動の知識を身につける**				ブレーキブースタ及び、マスターシリンダの構造・作動 ABSの概要 **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシを学ぶ**			
2.教科の到達目標	・ブレーキ基本性能、ディスクブレーキ構造、作動について答えることができる ・ブレーキフルードの性質、取扱いについて答えることができる ・パスカルの原理（油圧計算ができる				ブレーキブースタの原理・名称および作動が説明できる。 マスターシリンダの名称および作動が説明できる。 ABSの概要的問題が解ける。			
3.使用教科書、準備品	・日整連　三級シャシ編 ・トヨタサービス TEAM GP G4（1STEP）				TEAM-GP　技術テキスト　導入偏、1STEP、2STEP 3級シャシ（日整連）			
4.授業時間	前期	13	－	0	前期	14	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	●定期試験点(80％) ＋ 平常点(20％) 定期試験の内容…シャシⅠAとシャシⅠBで合算 平常点の内容・・・平常試験(シャシⅠAで10%、シャシⅠBで10%)							

授業計画表(学科：シャシⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	中田	中川	ブレーキの原理	ブレーキの概要、原理を説明できる	251	1
前期	2	中田	中川	ブレーキ基本性能	停止、空走、制動を説明できる	251	1
前期	3	中田	中川	ディスクブレーキ	特徴、キャリパとディスクロータの種類を答えられる	251	1
前期	4	中田	中川	ディスクブレーキ	作動、構造を答えることができる	251	1
前期	5	中田	中川	ブレーキフルード	性質、取扱い方法、保管方法や注意点を答えることができる	251	1
前期	6～8	中田	中川	平常試験	ブレーキ概要、ディスクブレーキ、油圧計算ができる	251	3
前期	9	中田	中川	ブレーキ	試験(eテスト)に合格できる	251	1
前期	10～13	中田	中川	復習（確認試験）	後で調整	251	4

授業計画表(学科：シャシⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	浅野	本間	ブレーキブースタ	ブレーキブースターの必要性、種類が答えられる。	252	1
前期	2	浅野	本間		原理が説明できる。	252	1
前期	3～4	浅野	本間		構造が説明できる。	252	2
前期	5～6	浅野	本間		力の伝達経路が説明できる。	252	2
前期	7	浅野	本間		ブレーキペダルの踏む前、踏んだときの作動が説明できる。	252	1
前期	8	浅野	本間		保持作動（リアクション機構）が説明できる。	252	1
前期	9	浅野	本間		最大助勢、ペダルを放したときの作動が説明できる。	252	1
前期	10	浅野	本間	ABS	ABSの必要性が説明できる。	252	1
前期	11	浅野	本間		ABSの特徴が答えられる。	252	1
前期	12	浅野	本間		EBD,ECBの概要が解る。	252	1
前期	13	浅野	本間	平常試験	平常試験得点率60％以上	252	1
前期	14	浅野	本間	Eテスト	Eテスト得点率70％以上 G30030t01	252	1

2023年度　シャシ実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	60

	シャシ実習ⅠA		シャシ実習ⅠB	
教員名 実務経験	中田　善之	中川　恵亮	浅野　忠伯	本間　滉太郎
		自動車販売店		自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ディスクブレーキについて学ぶ ・エア抜き作業,タイヤローテーションについて学ぶ **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシ整備を学ぶ**		ブレーキブースタの構造と作動 マスターシリンダの構造と作動 **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシ整備を学ぶ**	
2.教科の到達目標	・ディスクブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・各種点検の実施、良否判定ができるようになる ・エア抜き作業について学ぶ		ブレーキブースタの各部名称が答えられる。 ブレーキブースタ車上点検方法を理解する。 マスターシリンダの構成部品が答えられる。	
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術　シャシ2 ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入・1STEP)、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト　工具計測器整備機器編		TEAM-GP　技術テキスト　導入偏、1STEP、2STEP 3級シャシ(日整連)、自動車整備技術　シャシ2 工具、サーキットテスタ	
4.授業時間	前期　34	－　0	前期　24	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験(80%) ＋ 平常点(20%) 定期試験の内容…シャシⅠ実習AとシャシⅠ実習Bで合算 平常点の内容…レポート、平常技術チェック、筆記試験の合計(シャシⅠ実習Aで10%、シャシⅠ実習Bで10%)			

授業計画表(実習:シャシ実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	中田	中川	ディスクブレーキ	自動調整機構の必要性、構造、作動について説明できる	251	1
前期	2	中田	中川	ブレーキトラブル	フェード現象、ベーパーロック現象、ブレーキノイズを説明できる	251	1
前期	3～4	中田	中川	ジャッキアップ	機器の前点検、危険予知ができ、協力して安全作業ができる	35	2
前期	5	中田	中川	ブレーキ概要	実物のブレーキ関連部品が理解でき、答えられる。	35	1
前期	6～7	中田	中川	ディスクブレーキ	キャリパの構造を理解し、取り外しができる	35	2
前期	8	中田	中川	ディスクブレーキ	フレキシブルホースの点検、良否判定ができる	35	1
前期	9～15	中田	中川	ディスクブレーキ	安全にパッドの脱着ができ、構造の理解、測定・良否判定ができる	35	7
前期	16	中田	中川	ディスクブレーキ	ディスクロータの振れ点検、良否判定ができる	35	1
前期	17～18	中田	中川	キャリパ	正しい分解組付けができる	35	2
前期	19～20	中田	中川	エア抜き作業	フルードの性質を知り、正しい作業方法を理解し、実施できる	35	2
前期	21	中田	中川	タイヤローテーション	FF、FRのローテーション方法や推奨距離の違いを理解し実施できる	35	1
前期	22～25	中田	中川	パッド交換作業	パッドの測定、交換作業を時間内にできる	35	4
前期	26～28	中田	中川	ブレーキトラブル	グループワークを通し、ブレーキの理解を深め、各項目を説明できる(含:確認試験)	251	3
前期	29	中田	中川	ジャッキダウン	安全にジャッキダウンできる	35	1
前期	30	中田	中川	ディスクブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
前期	31	中田	中川	ブレーホース	試験(eチェック)に合格できる	35	1
前期	32	中田	中川	キャリパ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
前期	33	中田	中川	タイヤローテーション	試験(eチェック)に合格できる	35	1
前期	34	中田	中川	定期点検	試験(eチェック)に合格できる	35	1

授業計画表(実習:シャシ実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	浅野	本間	ブレーキ	ブレーキブースタの各部名称が全て答えられる。(外観)	223	1
前期	2	浅野	本間	(ブレーキブースタ)	分解手順が理解でき、分解作業が出来る。	223	1
前期	3	浅野	本間		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
前期	4	浅野	本間		コントロールバルブの動きが説明できる。	223	1
前期	5	浅野	本間		チェックバルブの作動が説明できる。	223	1
前期	6	浅野	本間		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
前期	7～9	浅野	本間		ブレーキブースタ簡易点検がひとりで出来る。	34B	3
前期	10～13	浅野	本間		ブレーキブースター不具合の現象確認と現象説明が出来る。	テストコース	4
前期	14	浅野	本間	ブレーキ	マスターシリンダの必要性、種類が説明できる。	223	1
前期	15	浅野	本間	(マスターシリンダ)	マスターシリンダが分解できる。	223	1
前期	16	浅野	本間		マスターシリンダの作動が説明できる。(通常時)	223	1
前期	17	浅野	本間		マスターシリンダの作動が説明できる。(故障時)	223	1
前期	18	浅野	本間		マスターシリンダの各部の名称が答えられる。(外観)	223	1
前期	19	浅野	本間		分解手順が理解でき、分解作業が出来る。	223	1
前期	20	浅野	本間		内部の各部名称および役目が答えられる。	223	1
前期	21	浅野	本間		組み付け作業が理解でき、組み付け作業ができる。	223	1
前期	22	浅野	本間		マスターシリンダ(ポートレスタイプ)の分解ができ、作動が説明できる。	223	1
前期	23	浅野	本間		マスターシリンダ(ポートレスタイプ)の組み付け作業が出来る。	223	1
前期	24	浅野	本間	平常試験・平常チェック	平常試験および平常チェック得点率が共に60%以上	223	1

2023年度　自動車性能・力学 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	10

	自動車性能・力学A				自動車性能・力学B			
教員名 実務経験	浅野　忠伯		本間　滉太郎 自動車販売店					
1.授業概要と履修前提	軸重計算（検査員数学）							
2.教科の到達目標	国家試験問題（軸重計算）が解ける つり合いが理解でき、重心の位置が答えられる 用語が理解できる							
3.使用教科書、準備品	簡易電卓							
4.授業時間	前期	9	－	0	前期	0	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	平常試験20% 定期試験80%							

授業計画表(学科：力学(検査員数学))

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	浅野	本間	つり合いの条件	モーメントの理論が説明できる		1
前期	2～3	浅野	本間	重心	荷重分布、軸重の求め方が答えられる		2
前期	4	浅野	本間	軸重計算	検査員数学の専門用語が答えられる		1
前期	5	浅野	本間	軸重計算	諸元表が読める		1
前期	6	浅野	本間	軸重計算	軸重計算が解ける		1
前期	7～8	浅野	本間	軸重計算	軸重計算が解ける（レッカー問題）		2
前期	9	浅野	本間	平常試験	平常試験得点率60%以上		1

授業計画表(学科：自動車性能・力学B)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　シャシ電装Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科	1年
学・実区分	学科	定期試験時間 2
実施期	前期	教科時間計 28

	シャシ電装ⅠA		シャシ電装ⅠB	
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー	坂元　亮太	西谷　孝也	大前　宏貴
1.授業概要と履修前提	オームの法則復習(導入授業分) 半導体、オシロスコープを使って電気の基礎を学ぶ。		・クラッチとトランスミッションについて学ぶ	
2.教科の到達目標	半導体の名称、作動が説明できる。 オームの法則を使った国家試験問題が解ける。		・クラッチの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる ・トランスミッションの部品名称、構造、作動、不具合について答えることができる	
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　2STEP 基礎自動車工学(日整連)		・日整連　三級シャシ編、2級シャシ編 ・トヨタサービス TEAM GP G4(1STEP)及びG3(2STEP) ・自動車工学　基礎・振動騒音・工作・機械要素	
4.授業時間	前期　11	－　0	前期　15	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験点(80%)＋平常点(20%)　●TEAM-GPのeテスト:70%以上 定期試験の内容・・・シャシ電装ⅠAとシャシ電装ⅠBで合算 平常点の内容…平常試験(シャシ電装ⅠAで10%、シャシ電装ⅠBで10%)			

授業計画表(学科:シャシ電装ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	市位	坂元	電気の基礎	オームの法則の問題が解ける。	246	2
前期	3	市位	坂元		電力、抵抗の計算が解ける。	246	1
前期	4	市位	坂元	半導体の基礎	良導体・絶縁体・半導体の説明ができる。	246	1
前期	5	市位	坂元		半導体の種類が答えられる。	246	1
前期	6	市位	坂元	ダイオード	記号、端子名、作動が説明できる。	246	1
前期	7	市位	坂元		V－I特性図で順方向立ち上がり電圧の内容が説明できる。	246	1
前期	8	市位	坂元	平常試験	得点率80％以上	246	1
前期	9～11	市位	坂元		ランプを使った回路の電圧予測ができる	246	3

授業計画表(学科:シャシ電装ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	西谷	大前	クラッチ	目的、必要条件、種類が理解できる	247	1
前期	2	西谷	大前	クラッチ	ダイヤフラム式の構造、作動が理解できる	247	1
前期	3～5	西谷	大前	クラッチ	クラッチの構成部品が理解できる	247	3
前期	6	西谷	大前	クラッチ	コイルスプリング式の構造・作動が理解できる	247	1
前期	7	西谷	大前	トランスミッション	必要性が理解できる	247	1
前期	8	西谷	大前	トランスミッション	ギヤ比(変速比)が理解でき、計算ができる	247	1
前期	9～10	西谷	大前	トランスミッション	種類、基本構造、シンクロ作動が理解できる	247	2
前期	11	西谷	大前	動力伝達装置	試験(eテスト:ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾄﾚｰﾝ1)が合格できる	247	1
前期	12	西谷	大前	クラッチ	試験(eテスト)が合格できる	247	1
前期	13	西谷	大前	トランスミッション	試験(eテスト)が合格できる	247	1
前期	14	西谷	大前	トランスミッション	試験(eテスト:ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾄﾚｰﾝ2)が合格できる	247	1
前期	15	西谷	大前	平常試験(ﾍﾟｰﾊﾟｰ)	授業内容が理解できている(学科、実技内容を実施)	247	1

2023年度　シャシ電装実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	61

	シャシ電装実習ⅠA		シャシ電装実習ⅠB	
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー	坂元　亮太	西谷　孝也	大前　宏貴
1.授業概要と履修前提	オームの法則実験回路を用いて電圧予測および測定。 ダイオードを使った整流回路の作動を学ぶ。 オシロスコープの波形観測および読み取りが出来る。		・クラッチ,トランスミッションについて学ぶ ・基礎的な工作作業について学ぶ	
2.教科の到達目標	はんだ付け作業をし、基盤を完成させる。 電気回路トラブル(断線・ショート)時の電圧・電流求められる。 半波・全波回路の作動が説明できる。		・クラッチ、トランスミッションの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・各種点検の実施、良否判定ができるようになる ・安全な工作作業が実施できるようになる	
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　2STEP 基礎自動車工学(日整連) ニッパー、ニードルノーズプライヤ		・自動車整備技術　シャシ1　・日整連　3級シャシ、2級シャシ ・自動車工学　基礎・振動騒音・工作・機械要素　カッターナイフ ・トヨタサービス技術テキスト　TEAM GP G4(導入・1STEP),G3(2STEP),工具計測器整備機器編	
4.授業時間	前期　27	－　0	前期　32	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験(80%)＋平常点(20%) 定期試験の内容…シャシ電装Ⅰ実習Aとシャシ電装Ⅰ実習Bで合算 実技試験受験条件:教科A・B共其々4つのレポート課題の内2つ以上未提出だと受験不可			

授業計画表(実習:シャシ電装ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	市位	坂元	オシロスコープ	各部名称と役目が説明できる。	255	1
前期	2	市位	坂元		校正作業の意味を説明できる。	255	1
前期	3	市位	坂元		電圧、周期の計算が解ける。	255	1
前期	4	市位	坂元		周波数の計算が解ける。	255	1
前期	5	市位	坂元	電気回路の基礎	電力の計算が出来る。	255	1
前期	6	市位	坂元		電圧予測・測定が出来る。(直列正常回路時)	255	1
前期	7	市位	坂元		電圧予測・測定が出来る。(並列正常回路時)	255	1
前期	8～9	市位	坂元		電圧予測・測定が出来る。(直列断線時)	255	2
前期	10～11	市位	坂元	整流回路	半波・全波整流回路作動が説明できる。	255	2
前期	12	市位	坂元		ダイオードの特徴、作動が説明できる	255	1
前期	13	市位	坂元		LEDの特徴、作動が説明できる。	255	1
前期	14	市位	坂元		コンデンサーの特徴、作動が説明できる。	255	1
前期	15	市位	坂元		半波整流回路基盤を製作し完成出来ている。	255	1
前期	16～18	市位	坂元		全波整流回路基盤を製作し完成出来ている。	255	3
前期	19～20	市位	坂元		半波整流回路の波形観測、電圧測定および作動説明が出来る。	255	2
前期	21～25	市位	坂元		全波整流回路の波形観測、電圧測定および作動説明が出来る。	255	5
前期	26	市位	坂元	平常チェック	チェックシート(TEAM-GP)得点率70%以上	255	1
前期	27	市位	坂元	平常試験	平常試験得点率80%以上	238	1

授業計画表(実習:シャシ電装ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	西谷	大前	基本作業	修理書の見方が理解できる	247	1
前期	2	西谷	大前	クラッチ	構造(全体)が理解でき、分解作業の注意点が理解できる	224	1
前期	3	西谷	大前	クラッチ	構造(単体)が理解でき、部品点検の注意点が理解でき、作業ができる	224	1
前期	4	西谷	大前	クラッチ	組付作業の注意点が理解できる	224	1
前期	5	西谷	大前	クラッチ	操作系統の構造(部品)、特徴が理解できる	224	1
前期	6	西谷	大前	クラッチ	操作系統の点検の注意点が理解でき、作業ができる	224	1
前期	7	西谷	大前	トランスミッション	ケース外側についている部品の特徴、点検作業が理解できる	211	1
前期	8～9	西谷	大前	トランスミッション	ギヤ関連の構造(部品)が理解できる	211	2
前期	10	西谷	大前	トランスミッション	点検(ブレーキ作用、スラストすき間)の注意点が理解でき、作業ができる	211	1
前期	11～12	西谷	大前	トランスミッション	シンクロ機構の構造(部品)、作動が理解できる	211	2
前期	13	西谷	大前	トランスミッション	操作機構の構造・作動が理解できる	211	1
前期	14～15	西谷	大前	トランスミッション	誤作動防止装置の各種作動、特徴が理解できる	211	2
前期	16～17	西谷	大前	トランスミッション	ATの各レンジの特徴、オイル・ATFが理解できる	211	2
前期	18～19	西谷	大前	トランスミッション	車両走行を通して、不具合現象を体感・発見できる	周回路	2
前期	20～21	西谷	大前	クラッチ・トランスミッション	GWTを通して、車両装置の不具合が理解できる	237	2
前期	22～24	西谷	大前	手仕上げ	手仕上げ工具の特徴・使用方法を理解できる	224	3
前期	25	西谷	大前	手仕上げ	刃物(カッター)の使用を通して、安全作業を身に付けることができる	224	1
前期	26～31	西谷	大前	手仕上げ	作業を通して、工具の使い方を理解・習得できる	224	6
前期	32	西谷	大前	平常試験	平常技術チェックの作業を確実にできる	211	1

2023年度　機械要素・製図 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	10

	機械要素・製図A		機械要素・製図B	
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー	坂元　亮太		
1.授業概要と履修前提	ねじ、ベアリング等の基礎的な構造および名称を学ぶ			
2.教科の到達目標	部品の各部名称、用途が説明できる ベアリングの使用目的、種類が説明できる スプリング、ギヤの使用目的、種類が説明できる			
3.使用教科書、準備品	自動車工学　基礎振動騒音・工作・機械要素 基礎整備作業（日整連）			
4.授業時間	前期　9	－　0	前期　0	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験20% 定期試験80%			

授業計画表(学科：機械要素)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	市位	坂元	ボルト・ナット	ボルト・ナットの各部名称が説明できる	247	2
前期		市位	坂元	ねじとねじ部品	呼び径、ピッチ、リード、一条ねじ、多条ねじ、ボルトナットの種類	247	
前期	3	市位	坂元		が説明できる	247	1
前期	4	市位	坂元		ビス、ねじのゆるみ止め、ヘリサートの使用用途が説明できる	247	1
前期	5～6	市位	坂元	ベアリグ	概要及び各ベアリングの種類、構造、使用用途が説明できる	247	2
前期	7	市位	坂元	バネ、ギヤ	ギヤ各部名称、種類、歯形曲線の説明ができる	247	1
前期		市位	坂元	シール、ベルト	漏れ防止装置（シール）、動力伝達用ベルトおよびチェーンの	247	
前期	8	市位	坂元		種類、構造が説明できる	247	1
前期	9	市位	坂元	平常試験	平常試験得点率60%以上	247	1

授業計画表(学科：機械要素・製図B)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　電気装置Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	19

	電気装置ⅠA		電気装置ⅠB	
教員名 実務経験	佐々木　健太	加藤　健 自動車販売店	大橋　信夫	小山　真由子
1.授業概要と履修前提	・メータの検出部と表示部の構造・作動を学ぶ ・バッテリの構造,化学変化を学ぶ ・配線図の概要を学ぶ		・磁気の基礎を理解したうえで、モータの原理を理解する ・スタータの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ	
2.教科の到達目標	・各メータの構造・作動を説明できる。 ・バッテリの構造、化学変化、及び、諸特性を説明できる		・電流と磁界の関係を理解し、ﾌﾚﾐﾝｸﾞの法則の理解につなげる ・スタータの回路作動を説明できる ・スタータの各機構について必要性・作動を説明できる	
3.使用教科書、準備品	整備振興会　2級ガソリン 整備振興会　3級シャシ、2級シャシ TEAM-GP　技術テキスト 導入編、1STEP、2STEP		整備振興会　2級ガソリン、2級ジーゼル 整備振興会　3級ガソリン、3級ジーゼル TEAM-GP　技術テキスト 1STEP、2STEP	
4.授業時間	前期　9	－　0	前期　9	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	定期試験:80%＋平常点:20% ・定期試験は、電気装置ⅠA(50%)と電気装置ⅠB(50%)との合算です ・平常点は、Aの平常試験(10%)＋Bの平常試験(10%)です			

授業計画表(学科:電気装置ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	佐々木	加藤	ｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝﾒｰﾀ	運転席の各メータの役目及び、各警告灯の役目が説明できる。	248	1
前期	2	佐々木	加藤	表示部、HUD、MID	各表示部の作動を説明できる。HUD、MIDの役目が説明できる	248	1
前期	3	佐々木	加藤	検出部	各検出部の作動が説明できる。	248	1
前期	4	佐々木	加藤	バッテリ概要	バッテリ内部の名称や役目を説明することができる。	248	1
前期	5	佐々木	加藤	充放電反応	内部で起きている化学反応について説明することができる。	248	1
前期	6	佐々木	加藤	特性	起電力、比重、容量などの関係性を説明することができる。	248	1
前期	7	佐々木	加藤	eテスト	eテスト(ﾊﾞｯﾃﾘ、ﾒｰﾀｰ)に合格できる	248	1
前期	8	佐々木	加藤	充電器	充電方法、種類、注意事項、接続方法を説明できる	248	1
前期	9	佐々木	加藤	平常試験	平常試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける	248	1

授業計画表(学科:電気装置ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	大橋	小山	スタータ概要	スタータの必要性を理解する。	249	1
前期	2～3	大橋	小山	磁気の基礎と電流	磁気と電流に関する法則を理解する。	249	2
前期	4～5	大橋	小山	モータの原理・特性	回転する仕組み、構造、及び、特性が理解できる	249	2
前期	6	大橋	小山	種類(ISS)	ISS(ｱｲﾄﾞﾘﾝｸﾞｽﾄｯｸｼｽﾃﾑ)の構造を理解できる	249	1
前期	7	大橋	小山	逆起電力	逆起電力の発生、大きさについて理解できる	249	1
前期	8	大橋	小山	eテスト	eテスト(ｴﾚｸﾄﾘｶﾙﾃｽﾀ)に合格できる	249	1
前期	9	大橋	小山	平常試験	平常試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける	249	1

2023年度　電気装置実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	63

	電気装置実習ⅠA				電気装置実習ⅠB			
教員名 実務経験	佐々木　健太		加藤　健 自動車販売店		大橋　信夫		小山　真由子	
1.授業概要と履修前提	・各メータの単体点検、並びに車両からの脱着を行う。 ・バッテリの各種点検、並びに車両からの脱着を行う。 ・配線図を用いて様々なコネクターや部品を探す。				・スタータ交換作業を行う ・スタータ内部構造を理解し、各種点検を行う			
2.教科の到達目標	・各メータの単体点検ができ、良否判定ができる。 ・バッテリの各種点検ができ、良否判定ができる ・指示されたコネクターの場所を特定できる				・安全・確実にスタータの交換作業を行える。 ・スタータの各種点検要領を理解し、測定値から良否の判定が行えると共に、起因故障を理解する			
3.使用教科書、準備品	整備振興会　2級ｶﾞｿﾘﾝ、3級ｼｬｼ、2級ｼｬｼ 自動車整備技術　電気装置1－A、1－B TEAM-GP　技術テキスト 導入編、1STEP、2STEP				整備振興会　3級・2級ｶﾞｿﾘﾝ、3級・2級ｼﾞｰｾﾞﾙ 自動車整備技術　電気装置1－A TEAM-GP　技術テキスト1STEP、2STEP			
4.授業時間	前期	31	－	0	前期	30	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	定期試験:80%＋平常点:20% ・定期試験は、電気装置ⅠAと電気装置ⅠBで技術チェック＋台上＋実技ペーパーを行い、AとBとの合算 ・平常点は、平常技術チェック＋平常試験(ﾍﾟｰﾊﾟｰ)＋レポート点で、A:10%分、B:10%分です							

授業計画表(実習:A)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	佐々木	加藤	確認	車両にてメーターや警告灯等が確認できる	35B	1
前期	2～4	佐々木	加藤	点検(検出部)	検出部の点検ができ、その結果から良否判定ができる。	35B	3
前期	5～7	佐々木	加藤	点検(表示部)	表示部の点検ができ、その結果から良否判定ができる。	35B	3
前期	7～8	佐々木	加藤	メータ脱着	内装の保護を意識しつつ、メータの脱着をすることができる。	35B	2
前期	9	佐々木	加藤	バッテリ種類	サイズ、各記号、種類が理解できる	248	1
前期	10～12	佐々木	加藤	バッテリ諸特性	容量、起電力、比重、放電率、充電電流等が理解できる	248	3
前期	13～14	佐々木	加藤	バッテリ各点検	液量、比重、起電力、内部抵抗等が理解できる	248	2
前期	15～16	佐々木	加藤	充電作業	充電器の使用方法が理解でき、バッテリの充電ができる	35B	1
前期	17～19	佐々木	加藤	充電器	充電方法、種類、注意事項、接続方法を説明できる	35B	3
前期	20～21	佐々木	加藤	バッテリ脱着	車両のバッテリの交換ができ、各種設定ができる	35B	2
前期	22～23	佐々木	加藤	eチェック	eチェック(バッテリ車両脱着、充電作業)が合格できる	248	2
前期	24～25	佐々木	加藤	配線図の見方	配線図集の構成、読み方、意味等が理解できる	35B	2
前期	26～29	佐々木	加藤	配線図の読み取り	車両にて配線図を活用に、課題を解くことができる	35B	4
前期	30～31	佐々木	加藤	平常チェック	車両にて配線図を活用に、課題を解くことができる	35B	2

授業計画表(実習:B)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～3	大橋	小山	車両脱着	車両からスタータの脱着ができる(含:車両取扱)	35B	3
前期	4	大橋	小山	外観構造研究(R型)	R型スタータの構造の特徴について説明できる。	233	1
前期	5～7	大橋	小山	作動・種類	回路図での電気の流れが理解でき、構造上の種類がわかる	249	3
前期	8	大橋	小山	分解(R型)	修理書の手順に従い、分解できる	233	1
前期	9～10	大橋	小山	構造研究(R型:単体)	ｱｰﾏﾁｭｱ、ﾖｰｸ、ﾌﾞﾗｼAssyの特徴が分かり、単体点検ができる	233	2
前期	11～13	大橋	小山	構造研究(R型:単体)	減速機構、ﾏｸﾞﾈｯﾄｽｲｯﾁの特徴が分かり、単体点検ができる	233	3
前期	14	大橋	小山	組付(R型)	修理書の手順に従い、組付けできる	233	1
前期	15～16	大橋	小山	単体点検(R型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる	233	2
前期	17	大橋	小山	外観構造研究	P型スタータの構造の特徴について説明できる。	233	1
前期	18	大橋	小山	分解(P型)	修理書の手順に従い、分解できる	233	1
前期	19～20	大橋	小山	構造研究(P型:単体)	プラネタリギヤの構造、ギヤ比の求め方が理解できる	233	2
前期	21～22	大橋	小山	構造研究(P型:単体)	緩衝装置の構造、作動が理解できる	233	2
前期	23	大橋	小山	組付(P型)	修理書の手順に従い、組付けできる	233	1
前期	24	大橋	小山	単体点検(P型)	吸引・保持・戻り、及び、無負荷の各試験ができる	233	1
前期	25	大橋	小山	モータの損失	モータに発生する損失が理解できる	249	1
前期	26	大橋	小山	出力特性図	グラフ(表)の読取ができ、出力、逆起電力等の関連が理解できる	249	1
前期	27～28	大橋	小山	復習	単体点検がスムーズに流せて、良否判定ができる	233	2
前期	29～30	大橋	小山	平常技術チェック	単体点検(吸引、保持、戻り、無負荷)、及び、eﾁｪｯｸ(ﾃｽﾀ)が合格できる	233	2

2023年度 自動車材料・環境 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	15

	環境保全		自動車材料	
教員名 実務経験	佐々木 健太	加藤 健 自動車販売店	大橋 信夫	小山 真由子
1.授業概要と履修前提	自動車と環境の関係性について学ぶ		自動車に使用される各種材料、材質、特性について学ぶ	
2.教科の到達目標	自動車が環境に与える影響について説明することができる。 整備時に出る各種廃棄物の正しい処理方法を答えることができる。		各種材料、材質、特性について説明できる	
3.使用教科書、準備品	JAMCA 自動車と環境問題		整備振興会 基礎自動車工学	
4.授業時間	前期 7	－ 0	前期 8	－ 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験(80%)＋平常試験(20%) ※自動車材料と合同 ・平常試験…環境保全:10%、自動車材料:10% ・定期試験…環境保全(50%)と自動車材料(50%)で合算			

授業計画表(学科:環境保全)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	佐々木	加藤	環境概要	自動車と環境の関係性を理解する。	248	2
前期	3	佐々木	加藤	環境問題への取り組み	トヨタの環境問題に対する取り組みを理解する。	248	1
前期	4～5	佐々木	加藤	整備工場の取り組み	整備車両から出る廃棄物の処理方法を理解する。	248	2
前期	6	佐々木	加藤	環境の法律	自動車と環境に関する関係法令を理解する。	248	1
前期	7	佐々木	加藤	環境の法律、平常試験	自動車と環境に関する関係法令を理解できる。、平常試験が解ける	248	1

授業計画表(学科:自動車材料)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	大橋	小山	鉄鋼	鋳鉄と鋼の違い、特殊鋼、及び、熱処理等が理解できる	249	2
前期	3～5	大橋	小山	非鉄金属	各非鉄金属の特徴、各合金、及び、使用箇所が理解できる	249	3
前期	6	大橋	小山	非鉄金属	焼結合金の特徴が理解できる	249	1
前期	7	大橋	小山	非金属	非金属の種類、特徴が理解できる	249	1
前期	8	大橋	小山	平常試験	平常試験が解ける	249	1

2023年度　エンジンⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	31

	エンジンⅠ			
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店		加藤　洋	
1.授業概要と履修前提	エンジン本体の構造と潤滑装置の構造・作動、油脂について学ぶ 内燃機関における圧縮比、平均有効圧力などの基礎理論について学ぶ			
2.教科の到達目標	エンジン本体や潤滑装置の構造、作動を理解することで、エンジンのオーバーホールを実施する際に 実際の部品配置が深く理解でき、各作業の習熟度を高める 油脂の区分、特性を理解する。圧縮比、平均有効圧力を算出することができる。			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ステップ教本 2級ガソリン			
4.授業時間	後期	29	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験20%，,定期試験80%			

授業計画表(学科：エンジンⅠ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	森田	加藤	エンジン構造	シリンダブロック　構造や種類を理解する	242	1
後期	2	森田	加藤		ウォータジャケットの構造や種類を理解する	242	1
後期	3	森田	加藤		ウォータジャケット　ライナー　構造や種類を理解する	242	1
後期	4,5	森田	加藤		ピストン　構造や種類を理解する	242	2
後期	6,7	森田	加藤		ピストンリングの構造や種類を理解する	242	2
後期	8	森田	加藤		コンロッドの構造や種類を理解する	242	1
後期	9,10	森田	加藤		クランクシャフトの構造を理解する	242	2
後期	11	森田	加藤		フライホイール　クランクプーリー(トーショナルダンパ)の構造を理解する	242	1
後期	12,13	森田	加藤		ベアリングメタルの性質や特性を理解する	242	2
後期	14,15	森田	加藤		ベアリングメタルの種類を理解する	242	2
後期	16	森田	加藤	潤滑装置	ろ過方式、フィルターの構造を理解する	242	1
後期	17	森田	加藤		ポンプ各種の構造を理解する	242	1
後期	18	森田	加藤		各種バルブの構造を理解する	242	1
後期	19	森田	加藤		プレッシャランプの構造を理解する	242	1
後期	20	森田	加藤		油路等の構造を理解する	242	1
後期	21,22	森田	加藤	内燃	油脂の知識を身につける (エンジンオイル　特性　API・SAE　等) (基本的なエンジンの作動・油脂の知識)	242	2
後期	23	森田	加藤	eテスト	エンジンメカニカル1　70点以上合格	242	1
後期	24,25	森田	加藤	内燃	圧縮　平均有効圧力を求めることができる	242	2
後期	26	森田	加藤	eテスト	エンジンメカニカル5　70点以上合格	242	1
後期	27,28	森田	加藤	平常試験	試験1(ｴﾝｼﾞﾝ本体・潤滑装置)、試験2(内燃機関、実技ﾍﾟｰﾊﾟｰ)	242	2
後期	29	森田	加藤	eテスト	ガソリンエンジン1　70点以上合格	242	1

2023年度　エンジン実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	67

	エンジン実習Ⅰ			
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店		加藤　洋	
1.授業概要と履修前提	エンジンのオーバーホール(全て分解)を実施し、組み付け完了時にエンジンを始動させる 点検作業としてエンジンの圧縮圧力の点検を行い、同時にプラグの交換も実施する エンジンⅠで実施するエンジン本体や潤滑装置の構造をしっかり理解しておくこと			
2.教科の到達目標	オーバーホールを通して修理書、工具の使い方、安全作業を習得する。 圧縮圧力点検を実施し、圧縮の良否が判定できる。点検に付随するプラグ交換も正確にできるようになる。 エンジンの構造作動をより高度な次元で理解し、お客様に説明ができるようになる。			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ステップ教本 2級ガソリンエンジン 自動車整備技術　ガソリンエンジン、工具			
4.授業時間	後期	65	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験10%, レポート点10%,定期試験80%			

授業計画表(実習:エンジン実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	森田	加藤	オーバホールについて	「オーバホール」について　STEP2p50～55	32	1
後期	2, 3	森田	加藤	OHオーバホール	オーバホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する　シリンダーヘッド部分	32	2
後期	4, 5	森田	加藤	OHオーバホール	燃料流出防止作業　Fクイックコネクター　冷却水抜き	32	2
後期	6, 7	森田	加藤	OHオーバホール	吸気系統、ハーネス　冷却水系統　電装系統取り外し	32	2
後期	8、9	森田	加藤	OHオーバホール	吸気系統　排気系統　センサー系統　ファンベルト関係取り外しき	32	2
後期	10, 11	森田	加藤	OHオーバホール	シリンダヘッドカバーassy　クラッチハウジング　フライホール取り外し	32	2
後期	12, 13	森田	加藤	OHオーバホール	圧縮上死点セット、クランクプーリ取り外し	32	2
後期	14, 15	森田	加藤	OHオーバホール	オイルパン　タイミングチェーンカバー取り外し	32	2
後期	16, 17	森田	加藤	OHオーバホール	タイミングチェーン機構	32	2
後期	18, 19	森田	加藤	OHオーバホール	カムシャフト取り外し　動弁機構	32	2
後期	20, 21	森田	加藤	OHオーバホール	シリンダヘッド、ヘッドガスケット	32	2
後期	22, 23	森田	加藤	OHオーバホール	ピストン　クランクシャフト取り外し	32	2
後期	24	森田	加藤	OHオーバホール	オーバホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟するブロック部分	32	1
後期	25, 26	森田	加藤	OH、ボルト締め付け法	塑性域締め付け法　ボルト点検　ノギスの使い方	32	2
後期	27, 28	森田	加藤	OHオーバホール	ピストンリング　ベアリングメタル取り付け	32	2
後期	39, 30	森田	加藤	OHオーバホール	クランクシャフト　ベアリングメタル取り付け	32	2
後期	31, 32	森田	加藤	OHオーバホール	リヤオイル汁リテーナ取り付け＊2	32	2
後期	33, 34	森田	加藤	OHオーバホール	シリンダヘッドガスケット　シリンダヘッド取り付け	32	2
後期	35, 36	森田	加藤	OHオーバホール	動弁機構＊3	32	2
後期	37, 38	森田	加藤	OHオーバホール	カムシャフト取り付け　バルブタイミング　タイミングチェーン	32	2
後期	39, 40	森田	加藤	OHオーバホール	タイミングチェーンケースカバー取り付け＊2	32	2
後期	41、42	森田	加藤	OHオーバホール	オイルパン取り付け　＊4	32	2
後期	43, 44	森田	加藤	OHオーバホール	クランクプーリ取り付けフライホイール取り付け　＊5	32	2
後期	45, 46	森田	加藤	OHオーバホール	吸気　排気　冷却　補記類取り付け	32	2
後期	47	森田	加藤	OH　オイルシール交換作業	オイルシール交換作業　＊2	32	1
後期	48	森田	加藤	OH　工具の使い方	ガスケットスクレイパーの使い方を理解する　＊4	32	1
後期	49～51	森田	加藤	チェックシート	ピストンリング　メタル脱着　70点以上	32	3
後期	52	森田	加藤	エンジン構造　点検	ラッシュアジャスターの構造を理解する。バルブクリアランスの理解　＊3	32	1
後期	53,54	森田	加藤	エンジン本体	構造研究をとおして構造を理解する	32	2
後期	55,56	森田	加藤	潤滑装置　点検	構造研究　オイルクリアランス点検	32	2
後期	57	森田	加藤	ケミカル	アドヘシブ1325の用途と使い方を理解する　＊5 プレコートボルトの知識を得る　＊5	32	1
後期	58	森田	加藤	ケミカル	シールパッキンブラックについて知識を得る　＊4	32	1
後期	59	森田	加藤	エンジン始動	安全作業の習熟　完成点検含む(各種漏れ点検)	32	1
後期	60～62	森田	加藤	圧縮圧力点検	スパークプラグ交換作業含む　プラグレンチ　整備機器取り扱い	32	3
後期	63	森田	加藤	工具の使い方	測定　ノギス	32	1
後期	64	森田	加藤	エンジン構造　バルブタイミング	バルブタイミングとバルブクリアランス	32(242)	1
後期	65	森田	加藤	習熟	ピストン脱着　習熟	32	1

2023年度　エンジンⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	31

	エンジンⅠ	
教員名 実務経験	岡本　真城 自動車販売店	安池　孝夫
1.授業概要と履修前提	エンジン本体の構造と潤滑装置の構造・作動、油脂について学ぶ 内燃機関における圧縮比、平均有効圧力などの基礎理論について学ぶ	
2.教科の到達目標	エンジン本体や潤滑装置の構造、作動を理解することで、エンジンのオーバーホールを実施する際に 実際の部品配置が深く理解でき、各作業の習熟度を高める 油脂の区分、特性を理解する。圧縮比、平均有効圧力を算出することができる。	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ステップ教本 2級ガソリン	
4.授業時間	後期　29	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%，,定期試験80%	

授業計画表(学科：エンジンⅠ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	岡本	安池	エンジン構造	シリンダブロック　構造や種類を理解する	241	1
後期	2	岡本	安池		ウォータジャケットの構造や種類を理解する	241	1
後期	3	岡本	安池		ウォータジャケット　ライナー　構造や種類を理解する	241	1
後期	4,5	岡本	安池		ピストン　構造や種類を理解する	241	2
後期	6,7	岡本	安池		ピストンリングの構造や種類を理解する	241	2
後期	8	岡本	安池		コンロッドの構造や種類を理解する	241	1
後期	9,10	岡本	安池		クランクシャフトの構造を理解する	241	2
後期	11	岡本	安池		フライホイール　クランクプーリー(トーショナルダンパ)の構造を理解する	241	1
後期	12,13	岡本	安池		ベアリングメタルの性質や特性を理解する	241	2
後期	14,15	岡本	安池		ベアリングメタルの種類を理解する	241	2
後期	16	岡本	安池	潤滑装置	ろ過方式、フィルターの構造を理解する	241	1
後期	17	岡本	安池		ポンプ各種の構造を理解する	241	1
後期	18	岡本	安池		各種バルブの構造を理解する	241	1
後期	19	岡本	安池		プレッシャランプの構造を理解する	241	1
後期	20	岡本	安池		油路等の構造を理解する	241	1
後期	21,22	岡本	安池	内燃	油脂の知識を身につける (エンジンオイル　特性　API・SAE　等) (基本的なエンジンの作動・油脂の知識)	241	2
後期	23	岡本	安池	eテスト	エンジンメカニカル1　70点以上合格	241	1
後期	24,25	岡本	安池	内燃	圧縮　平均有効圧力を求めることができる	241	2
後期	26	岡本	安池	eテスト	エンジンメカニカル5　70点以上合格	241	1
後期	27,28	岡本	安池	平常試験	試験1(ｴﾝｼﾞﾝ本体・潤滑装置)、試験2(内燃機関、実技ﾍﾟｰﾊﾟｰ)	241	2
後期	29	岡本	安池	eテスト	ガソリンエンジン1　70点以上合格	241	1

2023年度　エンジン実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	67

	エンジン実習Ⅰ			
教員名 実務経験	岡本　真城 自動車販売店		安池　孝夫	
1.授業概要と履修前提	エンジンのオーバーホール(全て分解)を実施し、組み付け完了時にエンジンを始動させる 点検作業としてエンジンの圧縮圧力の点検を行い、同時にプラグの交換も実施する エンジンⅠで実施するエンジン本体や潤滑装置の構造をしっかり理解しておくこと			
2.教科の到達目標	オーバーホールを通して修理書、工具の使い方、安全作業を習得する。 圧縮圧力点検を実施し、圧縮の良否が判定できる。点検に付随するプラグ交換も正確にできるようになる。 エンジンの構造作動をより高度な次元で理解し、お客様に説明ができるようになる。			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス　ステップ教本 2級ガソリンエンジン 自動車整備技術　ガソリンエンジン、工具			
4.授業時間	後期	65	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験10%, レポート点10%,定期試験80%			

授業計画表(実習:エンジン実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	岡本	安池	オーバホールについて	「オーバホール」について　STEP2p50～55	32	1
後期	2, 3	岡本	安池	OHオーバホール	オーバホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟する　シリンダーヘッド部分	32	2
後期	4, 5	岡本	安池	OHオーバホール	燃料流出防止作業　Fクイックコネクター　冷却水抜き	32	2
後期	6, 7	岡本	安池	OHオーバホール	吸気系統、ハーネス　冷却水系統　電装系統取り外し	32	2
後期	8、9	岡本	安池	OHオーバホール	吸気系統　排気系統　センサー系統　ファンベルト関係取り外しき	32	2
後期	10, 11	岡本	安池	OHオーバホール	シリンダヘッドカバーassy　クラッチハウジング　フライホール取り外し	32	2
後期	12, 13	岡本	安池	OHオーバホール	圧縮上死点セット、クランクプーリ取り外し	32	2
後期	14, 15	岡本	安池	OHオーバホール	オイルパン　タイミングチェーンカバー取り外し	32	2
後期	16, 17	岡本	安池	OHオーバホール	タイミングチェーン機構	32	2
後期	18, 19	岡本	安池	OHオーバホール	カムシャフト取り外し　動弁機構	32	2
後期	20, 21	岡本	安池	OHオーバホール	シリンダヘッド、ヘッドガスケット	32	2
後期	22, 23	岡本	安池	OHオーバホール	ピストン　クランクシャフト取り外し	32	2
後期	24	岡本	安池	OHオーバホール	オーバホールを通してエンジン構造や工具の使い方を習熟するブロック部分	32	1
後期	25, 26	岡本	安池	OH、ボルト締め付け法	塑性域締め付け法　ボルト点検　ノギスの使い方	32	2
後期	27, 28	岡本	安池	OHオーバホール	ピストンリング　ベアリングメタル取り付け	32	2
後期	39, 30	岡本	安池	OHオーバホール	クランクシャフト　ベアリングメタル取り付け	32	2
後期	31, 32	岡本	安池	OHオーバホール	リヤオイル汁リテーナ取り付け＊2	32	2
後期	33, 34	岡本	安池	OHオーバホール	シリンダヘッドガスケット　シリンダヘッド取り付け	32	2
後期	35, 36	岡本	安池	OHオーバホール	動弁機構＊3	32	2
後期	37, 38	岡本	安池	OHオーバホール	カムシャフト取り付け　バルブタイミング　タイミングチェーン	32	2
後期	39, 40	岡本	安池	OHオーバホール	タイミングチェーンケースカバー取り付け＊2	32	2
後期	41、42	岡本	安池	OHオーバホール	オイルパン取り付け　＊4	32	2
後期	43, 44	岡本	安池	OHオーバホール	クランクプーリ取り付けフライホイール取り付け　＊5	32	2
後期	45, 46	岡本	安池	OHオーバホール	吸気　排気　冷却　補記類取り付け	32	2
後期	47	岡本	安池	OH　オイルシール交換作業	オイルシール交換作業　＊2	32	1
後期	48	岡本	安池	OH　工具の使い方	ガスケットスクレイパーの使い方を理解する　＊4	32	1
後期	49～51	岡本	安池	チェックシート	ピストンリング　メタル脱着　70点以上	32	3
後期	52	岡本	安池	エンジン構造　点検	ラッシュアジャスターの構造を理解する。バルブクリアランスの理解　＊3	32	1
後期	53,54	岡本	安池	エンジン本体	構造研究をとおして構造を理解する	32	2
後期	55,56	岡本	安池	潤滑装置　点検	構造研究　オイルクリアランス点検	32	2
後期	57	岡本	安池	ケミカル	アドヘシブ1325の用途と使い方を理解する　＊5 プレコートボルトの知識を得る　＊5	32	1
後期	58	岡本	安池	ケミカル	シールパッキンブラックについて知識を得る　＊4	32	1
後期	59	岡本	安池	エンジン始動	安全作業の習熟　完成点検含む(各種漏れ点検)	32	1
後期	60～62	岡本	安池	圧縮圧力点検	スパークプラグ交換作業含む　プラグレンチ　整備機器取り扱い	32	3
後期	63	岡本	安池	工具の使い方	測定　ノギス	32	1
後期	64	岡本	安池	エンジン構造　バルブタイミング	バルブタイミングとバルブクリアランス	32(241)	1
後期	65	岡本	安池	習熟	ピストン脱着　習熟	32	1

2023年度　シャシⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	31

	シャシⅠA		シャシⅠB	
教員名 実務経験	中田　善之	中川　恵亮	浅野　忠伯	本間　滉太郎
		自動車販売店		自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ドラムブレーキについて学ぶ **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシを学ぶ**		サスペンションの構造について学ぶ。 **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシを学ぶ**	
2.教科の到達目標	・ドラムブレーキの構造、作動について答えることができる ・ドラムブレーキの種類について答えることができる ・パーキングブレーキの作動について答えることができる		サスペンション形式の種類、特徴が説明できる。 スプリングの種類、特徴が説明できる。 ショックアブソーバの構造、作動が説明できる。	
3.使用教科書、準備品	日整連　三級シャシ編 トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）、（1STEP）		TEAM-GP　技術テキスト　1STEP、2STEP 二級、三級自動車シャシ（日整連）	
4.授業時間	後期　8	－　0	後期　21	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験点(80%) ＋ 平常点(20%) 定期試験の内容…シャシⅠAとシャシⅠBで合算 平常点の内容・・・平常試験(シャシⅠAで10%、シャシⅠBで10%)			

授業計画表(学科：シャシⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	中田	中川	ブレーキ	概要、種類（主、補助、駐車ブレーキ）を答えられる	251	1
後期	2	中田	中川	ドラムブレーキ	構造、作動原理を理解し、説明できる	251	1
後期	3	中田	中川	自動調整機構	必要性、構造を理解し、説明できる	251	1
後期	4	中田	中川	ドラムブレーキ	各種類の名称・特徴・図を理解し、説明できる	251	1
後期	5	中田	中川	ドラムブレーキ	パーキングブレーキの構造、作動を説明できる	251	1
後期	6	中田	中川	ブレーキ	試験(eテスト)に合格できる	251	1
後期	7	中田	中川	足回り①、②	試験(eテスト)に合格できる	251	1
後期	8	中田	中川	復習(確認試験)		251	1

授業計画表(学科：シャシⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	浅野	本間	サスペンション（概要）	サスペンションの役割が説明できる。	252	1
後期	2～3	浅野	本間	サスペンション（概要）	サスペンションの構成が説明できる。	252	2
後期	4	浅野	本間	サスペンション（概要）	車軸懸架式、独立懸架式の分類と違いが説明できる。	252	1
後期	5	浅野	本間	スプリング	リーフスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	252	1
後期	6	浅野	本間	スプリング	コイルスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	252	1
後期	7	浅野	本間	スプリング	トーションバースプリング、エアスプリングの名称、役目、特徴が説明できる。	252	1
後期	8	浅野	本間	スプリング	金属バネとエアスプリングの特徴、違いが説明できる。	252	1
後期	9	浅野	本間	ショックアブソーバ	モノチューブ、ツインチューブの役目、名称、特徴が説明できる。	252	1
後期	10	浅野	本間	ショックアブソーバ	モノチューブの作動が説明できる。	252	1
後期	11	浅野	本間	ショックアブソーバ	ツインチューブの作動が説明できる。	252	1
後期	12	浅野	本間	スタビライザー	名称、役目、特徴が説明できる。	252	1
後期	13	浅野	本間	サスペンション	車軸懸架式の構造が説明できる。（平行リーフ、コイル式）	252	1
後期	14	浅野	本間	（フロントサスペンション）	独立懸架式の構造が説明できる。（ストラット式、ウィッシュボーン式）	252	1
後期	15	浅野	本間	サスペンション	車軸、独立懸架式の構造の説明が出来る。（アクスルビーム、マルチリンク）	252	1
後期		浅野	本間	（リアサスペンション）			
後期	16～17	浅野	本間	電子制御サスペンション	概要、特徴が説明できる。	252	2
後期	18	浅野	本間	電子制御サスペンション	TEMSのシステムが説明できる。	252	1
後期	19	浅野	本間	平常試験	平常試験の得点率が60%以上	252	1
後期	20～21	浅野	本間	基礎復習	確認試験得点率60%以上	252	2

2023年度　シャシ実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	58

	シャシ実習ⅠA		シャシ実習ⅠB	
教員名 実務経験	中田　善之	中川　恵亮	浅野　忠伯	本間　滉太郎
		自動車販売店		自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ドラムブレーキについて学ぶ ・エア抜きについて学ぶ **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシ整備を学ぶ**		車両からのサスペンション脱着 単体サスペンションを使用し、分組及び構造研究。 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記実践技能を	
2.教科の到達目標	・ドラムブレーキの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる ・エア抜き作業ができる		サスペンションの脱着ができる。(フロント) フロントアクスルの構成部品が説明できる。 適切な工具選択と、トルク管理ができる。	
3.使用教科書、準備品	・自動車整備技術　シャシ2 ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入・1STEP)、及び、G3(2STEP) ・トヨタサービス技術テキスト　工具計測器整備機器編		TEAM-GP　技術テキスト　1STEP、2STEP 二級、三級自動車シャシ(日整連) 自動車整備技術　シャシ2	
4.授業時間	後期　30	－　0	後期　26	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験(80%) ＋ 平常点(20%) 定期試験の内容…シャシⅠ実習AとシャシⅠ実習Bで合算 平常点の内容…レポート、平常技術チェック、筆記試験の合計(シャシⅠ実習Aで10%、シャシⅠ実習Bで10%)			

授業計画表(実習:シャシ実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	中田	中川	ジャッキアップ	安全にジャッキアップできる	35	2
後期	3～5	中田	中川	ドラムブレーキ	座学の内容を実物で確認し、説明できる	35	3
後期	6～7	中田	中川	パーキングブレーキ	座学の内容を実物で確認し、説明できる	35	2
後期	8	中田	中川	ドラムブレーキ	正しい手順で分解ができる	35	1
後期	9	中田	中川	ドラムブレーキ	ブレーキシューの交換作業ができる(Cワッシャ脱着含む)	35	1
後期	10	中田	中川	ホイールシリンダ	ピストンカップを傷つけず、交換できる	35	1
後期	11～12	中田	中川	ドラムブレーキ	グリスの特徴を理解し、正しい組付け作業ができる	35	2
後期	13～16	中田	中川	ドラムブレーキ	分解組付け作業を時間内にできる(清掃、グリスアップ含む)	35	4
後期	17～21	中田	中川	調整作業	ブレーキシューとドラムのすき間調整をサービスホールからできる	35	5
後期	22～23	中田	中川	エア抜き作業	正しいエア抜き作業ができる	35	2
後期	24	中田	中川	ブレーキペダル	3つの点検の名称、方法、良否判定、調整または交換部品がわかる	35	1
後期	25	中田	中川	ジャッキダウン	安全にジャッキダウンできる	35	1
後期	26	中田	中川	ドラムブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
後期	27	中田	中川	ホイールシリンダ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
後期	28	中田	中川	パーキングブレーキ	試験(eチェック)に合格できる	35	1
後期	29	中田	中川	定期点検	試験(eチェック:定期点検)に合格できる	35	1
後期	30	中田	中川	復習(確認試験)		251	1

授業計画表(実習:シャシ実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	浅野	本間	ジャッキアップ	ジャッキアップ作業ができる。(危険予測含む)	35A	1
後期	2	浅野	本間	取り外し前点検	フロントおよびリヤの構造が説明できる。	35A	1
後期	3～6	浅野	本間	取り外し作業	ブレーキ、アクスルハブを含むショックアブソーバ取り外しができる。	35A	4
後期	7	浅野	本間	各部品構造研究	サスペンション周りの構成部品の名称および作動が答えられる。	35A	1
後期	8～9	浅野	本間	単体構造研究	ショックアブソーバ、スプリング、ロアアーム、アクスルハブ、ボールジョイント、スプリングの構成部品名称及び作動が答えられる。	35A	2
後期	10～11	浅野	本間	単体点検	ショックアブソーバの単体点検で良否判定ができる。	223	2
後期	12～13	浅野	本間	コイルスプリング脱着	コイルスプリングの脱着作業ができる。	223	2
後期	14～17	浅野	本間	取り付け作業	ブレーキ、アクスルハブを含むショックアブソーバ組み付けができる。	35A	4
後期	18	浅野	本間	ジャッキダウン	ジャッキダウン作業ができる。(危険予測含む)	35A	1
後期	19～20	浅野	本間	体感走行	アブソーバ不具合現象が走りで分かる。	テストコース	2
後期	21～22	浅野	本間	習熟作業	コイルスプリングの脱着作業が時間内に一人でできる。	223	2
後期	23	浅野	本間	ボールジョイント	ボールジョイントの種類、特徴が答えられる。	223	1
後期	24～25	浅野	本間	平常チェック	コイルスプリングの脱着作業が時間内に一人でできる。得点率60%以上	223	2
後期	26	浅野	本間	平常試験	平常試験得点率60%以上	252	1

2023年度　自動車性能・力学 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	10

	自動車性能・力学A		自動車性能・力学B	
教員名 実務経験	浅野　忠伯	本間　滉太郎 自動車販売店		
1.授業概要と履修前提	・自動車の諸元について学ぶ ・自動車性能について学ぶ			
2.教科の到達目標	・自動車の基礎用語、寸法用語について答えることができる ・動力性能の計算ができる ・性能線図を読み取ることができる			
3.使用教科書、準備品	・日整連　二級シャシ編 ・電卓(関数電卓　不可)			
4.授業時間	後期　9	－　0	後期　0	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験(80%)＋平常試験(20%)			

授業計画表(学科：自動車性能)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	浅野	本間	自動車の諸元	自動車の諸元、各部名称が理解できる	251	1
後期	2	浅野	本間	走行抵抗	走行抵抗の種類が分かり、計算ができる	251	1
後期	3～4	浅野	本間	速度変換、加速度	各種の計算ができる	251	2
後期	5～6	浅野	本間	平均速度、走行距離	各種の計算ができる	251	2
後期	7～8	浅野	本間	駆動力、トルク、出力	各種の計算ができる	251	2
後期	9	浅野	本間	走行性能線図、平常試験	線図を読み取り、各種計算ができる	251	1

授業計画表(学科：自動車性能・力学B)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　シャシ電装Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	30

	シャシ電装ⅠA		シャシ電装ⅠB	
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー	坂元　亮太	西谷　孝也	大前　宏貴
1.授業概要と履修前提	トランジスタを使用し、オシロスコープで電圧を測定する トランジスタの基本作動を学ぶ デジタルとアナログの違い、論理回路について学ぶ		・ディファレンシャル、各シャフトについて学ぶ ・タイヤ、ホイール、グリースについて学ぶ	
2.教科の到達目標	トランジスタの基本差動が説明できる オシロスコープの波形が読み取れる 論理回路が読め、2進数、10進数の変換読み取りが出来る。		・ディファレンシャルの必要性、役目、歯車の種類について答えることができる ・ユニバーサルジョイントの種類、特徴、使用箇所を答えることができる ・タイヤ、ホイールの構造、各部名称、トラブルについて答えることができる	
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト2STEP 基礎自動車工学（日整連）		日整連　三級シャシ編、二級シャシ編 トヨタサービス TEAM GP G4（導入編）、（1STEP）	
4.授業時間	後期　17	－　0	後期　11	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	（〇）・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている （◎）・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている （△）・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験点（80%）＋平常点（20%）　●TEAM-GPのeテスト：70%以上 定期試験の内容・・・シャシ電装ⅠAとシャシ電装ⅠBで合算 平常点の内容…平常試験（シャシ電装ⅠAで10%、シャシ電装ⅠBで10%）			

授業計画表(学科：シャシ電装ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	
後期	1	市位	坂元	トランジスタ	トランジスタの種類、記号、作動が説明できる	246	1
後期	2	市位	坂元	トランジスタ	スイッチング作動が理解でき、説明ができる	246	1
後期	3	市位	坂元	トランジスタ	電流増幅率の問題が解ける	246	1
後期	4	市位	坂元	デジタル	デジタル信号の基礎が解る	246	1
後期	5～7	市位	坂元	論理回路	論理回路の図記号や基本作動が解る	246	3
後期	8	市位	坂元	温度検出回路	実測時の基本ができる	246	1
後期	9～13	市位	坂元	灯火BOX	灯火BOXと使った故障診断の基礎が解る	246	4
後期	14～15	市位	坂元	スイッチング回路	スイッチング回路の波形観測ができる	246	2
後期	15～16	市位	坂元	回路確認	センサーに使われる回路部品の基礎が解る	246	2
後期	17	市位	坂元	平常試験	平常試験で得点率60%以上	246	1

授業計画表(学科：シャシ電装ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～3	西谷	大前	ディファレンシャル	概要、基本構造が理解できる	247	3
後期	4～5	西谷	大前	ディファレンシャル	ギヤ比、動力伝達順序、作動の動きが理解できる	247	2
後期	6	西谷	大前	プロペラシャフト	概要、構造、ジョイントの種類が理解できる	247	1
後期	7	西谷	大前	プロペラシャフト	危険回転速度、その他部品が理解できる	247	1
後期	8	西谷	大前	ﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｬﾌﾄ	概要、ねじり振動、トルクステアが理解できる	247	1
後期	9	西谷	大前	ﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｬﾌﾄ	ジョイントの種類が理解できる	247	1
後期	10	西谷	大前	グリース	グリースの特徴が理解できる	247	1
後期	11	西谷	大前	平常試験(ﾍﾟｰﾊﾟｰ)	授業内容が理解できている(学科、実技内容を実施)	247	1

2023年度　シャシ電装実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	68

	シャシ電装実習ⅠA		シャシ電装実習ⅠB	
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー	坂元　亮太	西谷　孝也	大前　宏貴
1.授業概要と履修前提	トランジスタを使用したスイッチング回路作成と電圧測定 断線ボックスにて電圧理解及びワイヤクリッパーの取り扱い		・ディファレンシャルについて学ぶ ・プロペラシャフト、ドライブシャフトについて学ぶ	
2.教科の到達目標	スイッチング回路作動中の各電圧、トランジスタ状態が説明できる 灯火ボックスにて電圧測定結果から断線箇所のt九艇ができる 配線の補修作業ができる(ワイヤクリッパー)		・ディファレンシャルの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・プロペラシャフトの実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・各種点検の実施、良否判定、調整作業ができる	
3.使用教科書、準備品	TEAM-GP　技術テキスト　2STEP 基礎自動車工学(日整連)		・自動車整備技術　シャシ1 ・トヨタサービス TEAM GP G4(導入・1STEP)及びG3(2STEP)	
4.授業時間	後期　30	－　0	後期　36	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	●定期試験(80%)＋平常点(20%) 定期試験の内容…シャシ電装Ⅰ実習Aとシャシ電装Ⅰ実習Bで合算 平常点の内容…レポート、平常技術チェック、筆記試験の合計(シャシ電装Ⅰ実習Aで10%、シャシ電装Ⅰ実習Bで10			

授業計画表(実習:シャシ電装ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	市位	坂元	スイッチング回路	トランジスタの特性、作動が説明できる。	255	2
後期	3～4	市位	坂元	温度検出回路	サーミスタ回路の基礎が解る	255	2
後期	5	市位	坂元	発振回路	発振回路の種類が解る	255	1
後期	6	市位	坂元	灯火BOX	灯火BOXの電圧測定ができる	255	1
後期	7～9	市位	坂元	スイッチング回路	トランジスタの基本と点検ができる	255	3
後期	10～12	市位	坂元	スイッチング回路	工作回路が完成している	255	3
後期	13～14	市位	坂元	スイッチング回路	回路説明ができる	255	2
後期	15～17	市位	坂元	スイッチング回路	波形予測ができる	255	3
後期	18～20	市位	坂元	センサー理解	ツェナD、ホールIC、フォトTr、距離センサの基本が解る	255	3
後期	21～22	市位	坂元	TEAM-GP	電気回路の復習として回路理解ができる	255	2
後期	23	市位	坂元	確認試験	実技部品の復習を通して理解を定着	255	1
後期	24～25	市位	坂元	ワイヤハーネス加工	ワイヤクリッパを使用できる	255	2
後期	2～27	市位	坂元	ワイヤハーネス加工	ワイヤハーネスを加工した配線修理ができる	255	2
後期	28～30	市位	坂元	平常試験	平常試験得点率60%以上	255	3

授業計画表(実習:シャシ電装ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	西谷	大前	ディファレンシャル	構造(全体)、歯当たり点検・良否判定が理解できる	211	2
後期	3～4	西谷	大前	ディファレンシャル	分解手順、注意点、構造(部品)が理解できる	211	2
後期	5～7	西谷	大前	ディファレンシャル	ﾃﾞﾌｹｰｽを分解、構造(部品)を理解できる	211	3
後期	8～9	西谷	大前	ディファレンシャル	ﾃﾞﾌｹｰｽの組立手順、注意点を理解できる	211	2
後期	10	西谷	大前	ディファレンシャル	ﾄﾞﾗｲﾌﾞﾋﾟﾆｵﾝ組付	211	1
後期	11～13	西谷	大前	ディファレンシャル	ﾌﾟﾚﾛｰﾄﾞ、及び、ﾊﾞｯｸﾗｯｼｭ点検・調整、発生不具合が理解できる	247	3
後期	14～15	西谷	大前	ディファレンシャル	プレロード点検、調整作業を習得する	211	2
後期	16～17	西谷	大前	ディファレンシャル	ﾊﾞｯｸﾗｯｼｭ点検、調整作業を習得する	211	2
後期	18	西谷	大前	ディファレンシャル	組付作業の注意点が理解できる	211	1
後期	19	西谷	大前	プロペラシャフト	座学の内容を実物で確認し、説明できる	211	1
後期	20～21	西谷	大前	ﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｬﾌﾄ	構造研究、ブーツ(スピージ)交換作業が理解できる	211	2
後期	22～23	西谷	大前	ホイール	概要、各部名称、各サイズ(呼び)、品質保証が理解できる	247	2
後期	24～25	西谷	大前	タイヤ	各部名称、構造、サイズ(呼び)が理解できる	247	2
後期	26～28	西谷	大前	タイヤ	種類、トレッドパターン、各諸元が理解できる	247	3
後期	29～30	西谷	大前	タイヤ	種類(テンパタイヤ、冬ﾀｲﾔ)が理解できる	247	2
後期	31～32	西谷	大前	タイヤ	不具合(振動、騒音、偏摩耗、発熱、各現象)が理解できる	247	2
後期	33	西谷	大前	タイヤ	現物を確認し、タイヤ・ホイールの理解度を深めることができる	211	1
後期	34	西谷	大前	タイヤ・ホイール	試験(eテスト)が合格できる	247	1
後期	35～36	西谷	大前	平常試験	平常技術チェックの作業を確実にできる	211	2

2023年度　電気装置Ⅰ　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	24

	電気装置ⅠA		電気装置ⅠB	
教員名 実務経験	佐々木　健太	加藤　健 自動車販売店	大橋　信夫	小山　真由子
1.授業概要と履修前提	・点火装置の種類、構造、作動を学ぶ ・灯火装置の種類、構造、作動を学ぶ ☆自動車販売店での整備経験者による授業		・磁気の基礎を理解したうえで、発電機の原理を理解する ・ｵﾙﾀﾈｰﾀの各機構について構造・作動・必要性を学ぶ	
2.教科の到達目標	・点火装置の構造、作動、特徴が説明できる ・灯火装置の構造、作動が説明できる		・オルタネータの発電原理を説明できる ・オルタネータの回路作動を説明できる ・オルタネータの構造・作動が説明できる	
3.使用教科書、準備品	整備振興会　3級ガソリン、2級ガソリン 整備振興会　3級シャシ、2級シャシ TEAM-GP　技術テキスト 導入編、1STEP、2STEP		整備振興会　3級ガソリン、2級ガソリン TEAM-GP　技術テキスト 導入編、1STEP、2STEP	
4.授業時間	後期　11	－　0	後期　11	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	定期試験:80%＋平常点:20% ・定期試験は、電気装置ⅠA(50%)と電気装置ⅠB(50%)との合算です ・平常点は、Aの平常試験(10%)＋Bの平常試験(10%)です			

授業計画表(学科:電気装置ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	佐々木	加藤	点火装置概要	点火装置の概要、仕組み、全体の構成が理解できる	248	2
後期	3～4	佐々木	加藤	点火(回路と構成部品)	回路図と構成部品を一致させることができる	248	2
後期	5～6	佐々木	加藤	点火時期	点火時期の必要性、作動が理解できる	248	2
後期	7	佐々木	加藤	灯火装置(ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾌﾟ)	概要、構造、種類が理解できる	248	1
後期	8	佐々木	加藤	灯火装置(その他)	その他ランプの特徴が理解できる	248	1
後期	9～10	佐々木	加藤	ｅ テスト	eテスト(ﾒﾝﾃﾅﾝｽ、外装ﾎﾞﾃﾞｨｰ、ライト、電気)に合格する	248	2
後期	11	佐々木	加藤	平常試験	平常試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける	248	1

授業計画表(学科:電気装置ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	大橋	小山	概要	目的、必要条件、機能が理解できる	249	1
後期	2	大橋	小山	発電の原理	電磁誘導作用、フレミング右手の法則が理解できる	249	1
後期	3	大橋	小山	オルタの構造	基本構造、交流発生原理	249	1
後期	4	大橋	小山	三相交流	三相交流波形が理解できる	249	1
後期	5	大橋	小山	結線の種類	結成方法と特徴が理解できる	249	1
後期	6	大橋	小山	基本回路(整流)	電流の流れが理解できる	249	1
後期	7	大橋	小山	ﾚｸﾃｨﾌｧｲﾔ	整流方法がりかいできる	249	1
後期	8～10	大橋	小山	eテスト	eテスト(充電装置、電源システム)に合格する	249	3
後期	11	大橋	小山	平常試験	平常試験(学科、及び、実技ペーパー)が解ける	249	1

2023年度　電気装置実習Ⅰ　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	68

	電気装置実習ⅠA				電気装置実習ⅠB			
教員名 実務経験	佐々木　健太		加藤　健 自動車販売店		大橋　信夫		小山　真由子	
1.授業概要と履修前提	・点火装置の構造研究、単体点検を行う ・灯火装置のバルブ交換、ヘッドライト交換、光軸調整を行 ☆自動車販売店での整備経験者による授業				・オルタネータの車上交換、点検を行う ・オルタネータ単体の分組、点検を行う			
2.教科の到達目標	・点火装置の各種点検ができ、良否判定ができる ・安全、確実に灯火装置のバルブ交換ができる ・不具合状況から起因故障を推測することができる				・安全、確実にオルタネータ車上交換、点検が行うことができる ・オルタネータの点検要領を理解し、測定値から良否判定ができる ・不具合状況から起因故障を推測することができる			
3.使用教科書、準備品	整備振興会　3級ｶﾞｿﾘﾝ、2級ｶﾞｿﾘﾝ、3級ｼｬｼ、2級ｼｬｼ 自動車整備技術　電気装置1－A TEAM-GP　技術テキスト 導入編、1STEP、2STEP				整備振興会　3級ｶﾞｿﾘﾝ、2級ｶﾞｿﾘﾝ 自動車整備技術　電気装置1－A TEAM-GP　技術テキスト 導入編、1STEP、2STEP			
4.授業時間	後期	36	－	0	後期	30	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	定期試験:80%＋平常点:20% ・定期試験は、電気装置実習ⅠAと電気装置実習ⅠBで技術チェック＋台上＋実技ペーパーを行い、AとBとの合算 ・平常点は、平常技術チェック＋平常試験(ﾍﾟｰﾊﾟｰ)＋レポート点で、A:10%分、B:10%分です							

授業計画表(実習:電気装置実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	4	佐々木	加藤	スパークプラグ	概要、特徴、及び、各種特徴を理解できる		4
後期	5～7	佐々木	加藤	スパークプラグ	交換・各種点検を行い、良否判断ができ、トラブルが理解できる	教室・35B	3
後期	8	佐々木	加藤	ﾃﾞｨｽﾄﾘﾋﾞｭｰﾀ(IIA)	構造研究(進角部、配電部)が理解できる	245	1
後期	9～10	佐々木	加藤	イグニッションコイル	検査基準、準備・点検作業を理解し、実施できる	245	2
後期	11～13	佐々木	加藤	スパークプラグ	プラグ脱着、各種点検が行うことができる	35B	3
後期	14～15	佐々木	加藤	点火時期点検	車両にて点火時期点検を行うことができる	35B	2
後期	16	佐々木	加藤	ヘッドライト	種類、構造が理解できる	248	1
後期	17	佐々木	加藤	ヘッドライト	各種機能(オートレベリング、コンライト)が理解できる	248	1
後期	18	佐々木	加藤	ターンシグナル	種類、基本作動が理解できる	248	1
後期	19	佐々木	加藤	ライト類	用語、保安基準の数値、測定方法を理解できる	248	1
後期	20～21	佐々木	加藤	ランプ脱着	ハロゲン式、HID(ﾃﾞｨｽﾁｬｰｼﾞ)式の交換作業ができる	35B	2
後期	22	佐々木	加藤	ランプ脱着	その他ランプの交換作業ができる	35B	1
後期	23～24	佐々木	加藤	ヘッドライトテスタ	検査基準、準備・点検作業を理解し、実施できる	35B	2
後期	25～26	佐々木	加藤	ヘッドライトテスタ	光軸調整が実施できる	35B	2
後期	27～29	佐々木	加藤	ヘッドライト	各端子での電圧測定が実施できる	35B	3
後期	30～33	佐々木	加藤	ヘッドライト、他ライト	不具合時の電気の流れと、各端子での電圧測定が実施できる	35B	4
後期	34	佐々木	加藤	eチェック2	ヘッドライトの光軸調整に合格できる	35B	1
後期	35～36	佐々木	加藤	平常技術チェック	スパークプラグの脱着が正しく行える(eチェック1)	35B	2

授業計画表(実習:電気装置実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～4	大橋	小山	オルタ脱着	車両にて、オルタネータ脱着作業ができる	35B	4
後期	5～7	大橋	小山	オルタ発生電圧	運転状態による発生電圧・電流の変化が理解できる	35B	3
後期	8	大橋	小山	ベルト脱着	車両にて、ベルト脱着作業ができる(反復練習)	35B	1
後期	9～10	大橋	小山	eチェック	eチェック(ベルト交換:ｵｰﾄﾃﾝｼｮﾅｰ無)が合格できる	35B	2
後期	11	大橋	小山	外観確認	各部名称、端子名が理解できる	233	1
後期	12	大橋	小山	分解	分解時の注意点を理解しながら、分解作業ができる	233	1
後期	13～16	大橋	小山	構造研究	部品名称、各端子名、特徴が理解できる	233	4
後期	17～20	大橋	小山	部品点検	各部品の点検が実施でき、良否判定ができる	233	4
後期	21	大橋	小山	組付け	組付時の注意点を理解しながら、組付作業ができる	233	1
後期	22	大橋	小山	中性点ダイオード	特徴と作動が理解できる	249	1
後期	23	大橋	小山	IC式ﾎﾞﾙﾃｰｼﾞﾚｷﾞｭﾚｰﾀ	発生電圧、電流の制御が理解できる	249	1
後期	24～27	大橋	小山	M・IC式	回路図が理解でき、各種作動(制御)が理解できる	249	4
後期	28	大橋	小山	復習(反復作業)	ﾛｰﾀ・ｽﾃｰﾀ・ﾚｸﾃｨﾌｧｲﾔなど点検が実施でき、良否判定ができる	233	1
後期	29～30	大橋	小山	平常チェック	各種部品の各点検が実施でき、良否判定ができる	233	2

2023年度　機械要素・製図　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	6

	製図							
教員名 実務経験	大橋　信夫		小山　真由子					
1.授業概要と履修前提	自動車整備における機械製図の一般知識を習得する							
2.教科の到達目標	製図を見て、部品の形状、各寸法を理解して、形状を説明(想像)できる							
3.使用教科書、準備品	整備振興会　ニ級講習用製図編							
4.授業時間	後期	6	－	0	後期	0	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	●定期試験(80%)＋平常試験(20%)							

授業計画表(学科：製図)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	大橋	小山	製図の基本	図形投影方法、用紙の大きさ、線の種類が理解できる	249	1
後期	2	大橋	小山	製図の基本	寸法記入、制度、及び、はめあい方式が理解できる	249	1
後期	3	大橋	小山	形体の精度	幾何公差方式、独立の原則、包絡の条件が理解できる	249	1
後期	4	大橋	小山	形体の精度、表面性状	最大実態公差(MMR)、除去加工の指示表面粗さが理解できる	249	1
後期	5	大橋	小山	機械要素部品の製図	各要素部品の製図の書き方が理解できる	249	1
後期	6	大橋	小山	平常試験	平常試験が解ける	249	1

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　エンジンⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科	1年
学・実区分	学科	定期試験時間 0
実施期	学年末	教科時間計 4

	エンジンⅠA		エンジンⅠB	
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店	加藤　洋	岡本　真城 自動車販売店	安池　孝夫
1.授業概要と履修前提	EFI・コンピュータ制御について学ぶ		安全作業・リフトの取扱いについて学ぶ	
2.教科の到達目標	EFI・コンピュータ制御の知識を深め、実技授業の故障探求に関連付けできる		安全作業・リフトの取扱いを理解し、実技授業の多頻度作業に関連付けできる	
3.使用教科書、準備品	・ガソリンエンジン構造 ・トヨタサービス技術テキスト　2STEP ・トヨタサービス技術テキスト　工具、計測機器編		・ガソリンエンジン構造 ・トヨタサービス技術テキスト　導入教育編	
4.授業時間	学年末 3	－ 0	学年末 1	－ 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科：エンジンⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1，2	森田	加藤	EFI・OBD	EFI・OBD2機能について理解する		2
学年末	3	森田	加藤	【eテスト】	筒内噴射(G41062-T01、G30072-T01)		1

授業計画表(学科：エンジンⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	岡本	安池	リフト	安全作業・リフトの取扱いを理解する		1

2023年度　エンジン実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	30

	エンジン実習ⅠA		エンジン実習ⅠB	
教員名 実務経験	森田　和也 自動車販売店	加藤　洋	岡本　真城 自動車販売店	安池　孝夫
1.授業概要と履修前提	外部診断機について学ぶ		安全作業・多頻度作業を習熟させる	
2.教科の到達目標	外部診断機(GTS)の基本的な機能を理解し、適切な操作ができる		エンジンに関する代表的な多頻度作業の必要性を理解したうえで、正確な作業ができる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　2STEP ・トヨタサービス技術テキスト　工具、計測機器編 ・自動車整備技術　ガソリンエンジン		・ガソリンエンジン構造 ・トヨタサービス技術テキスト　導入教育編 ・トヨタサービス技術テキスト　工具、計測機器編	
4.授業時間	学年末　14	－　0	学年末　16	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(実習:エンジン実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	森田	加藤	筒内噴射式エンジン1	筒内噴射式の概要を理解する	231	1
学年末	2	森田	加藤	筒内噴射式エンジン2	筒内噴射式の基本部品の役割をを理解する	231	1
学年末	3	森田	加藤	筒内噴射式エンジン3	筒内噴射式の構造・作動を理解する	231	1
学年末	4	森田	加藤	筒内噴射式エンジン4	筒内噴射式の構造・作動を理解する	231	1
学年末	5	森田	加藤	GTSの構成	主な装置(VIM、PC)の構成、正しい接続が理解できる	32実	1
学年末				GTSの接続	正しい接続、ソフトの起動・設定が理解できる		
学年末	6	森田	加藤	ヘルスチェック	操作方法を理解し、ヘルスチェックができる	32実	1
学年末	7	森田	加藤	ダイアグノーシス	機能を理解し、ダイアグコード表示・消去がができる	32実	1
学年末	8	森田	加藤	データモニター	機能を理解し、データ表示ができる	32実	1
学年末	9	森田	加藤	データモニター	機能を理解し、データ表示ができる	32実	1
学年末	10	森田	加藤	アクティブテスト	機能を理解し、基礎的なアクティブテストができる	32実	1
学年末	11	森田	加藤	アクティブテスト	機能を理解し、基礎的なアクティブテストができる	32実	1
学年末	12	森田	加藤	作業サポート	機能や基礎的なサポート内容の知識を深める	32実	1
学年末	13	森田	加藤	カスタマイズ	カスタマイズ項目の知識を深める	32実	1
学年末	14	森田	加藤	【チェックシート】	GTS取扱い【TEAM-GP】	32実	1

授業計画表(実習:エンジン実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	岡本	安池	車両	お客様の自動車を意識した丁寧な車両の取扱いができる	31実	1
学年末	2,3	岡本	安池	リフト	安全作業を意識したリフト操作ができる	31実	2
学年末	4,5	岡本	安池	エンジンオイル	点検・交換の必要性を理解し、車両にて正しい作業ができる (作業と同時に交換時期やお客様へのアドバイスができる)	31実	2
学年末	6	岡本	安池	オイルフィルター	異なる2種類の基本作業要領を理解し作業ができる	31実	1
学年末	7～10	岡本	安池	オイル＆フィルター1	カートリッジ交換式の車両で正確な作業ができる	31実	4
学年末	11～14	岡本	安池	オイル＆フィルター2	エレメント交換式の車両で正確な作業ができる	31実	4
学年末	15	岡本	安池	【eテスト】	安全2	232	1
学年末	16	岡本	安池	【チェックシート】	エンジンオイル・オイルフィルター交換作業【TEAM-GP】	31実	1

2023年度　シャシⅠ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	13

	シャシⅠA		シャシⅠB	
教員名 実務経験	中田　善之	中川　恵亮	浅野　忠伯	本間　滉太郎
		自動車販売店		自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ブレーキの種類、ブレーキブースタ、マスターシリンダの作 ・前期、後期授業で履修したブレーキ関係の復習。 **☆自動車販売店での整備経験者によりシャシを学ぶ**		・トランスアクスル(MT)について学ぶ ・駆動装置の復習を行い、理解をさらに深める	
2.教科の到達目標	ブレーキの種類と特徴、及びブレーキブースタ、マスターシリンダ作動が説明できる。 ブレーキの種類が理解でき、構造が説明できる。 国家試験の問題が解ける。		・トランスアクスル(MT)の実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・駆動装置の理解度を深め、不具合対応に活用できる	
3.使用教科書、準備品	日整連　3級シャシ編、2級シャシ編 TEAM-GP　技術テキスト　1STEP、2STEP		日整連　3級シャシ編、2級シャシ編 自動車整備技術　シャシ1 トヨタサービス TEAM GP G4(導入編)、(1STEP)	
4.授業時間	学年末　7	－　0	学年末　6	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシA:確認試験(100%)			

授業計画表(学科:シャシⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	中田	中川	ブレーキ	ドラムブレーキの種類と構造作動が説明できる。	242	1
学年末	2	中田	中川	ブレーキ	ディスクブレーキの種類と構造作動が説明できる。	242	1
学年末	3	中田	中川	ブレーキ	ドラムブレーキ隙間調整の構造、やり方及び必要性が説明できる。	242	1
学年末	4	中田	中川	ブレーキ	マスターシリンダの作動が説明できる。	242	1
学年末	5	中田	中川	ブレーキ	ブレーキブースタの作動が説明できる。	242	1
学年末	6～7	中田	中川	ブレーキ	てこ、油圧の計算問題が解ける。	242	2

授業計画表(学科:シャシⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	浅野	本間	クラッチ	クラッチの不具合箇所が判断できる。	241	1
学年末	2	浅野	本間	トランスミッション	トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	241	1
学年末	3	浅野	本間	デフ，シャフト	デフ，シャフトの不具合箇所が判断できる。	241	1
学年末	4	浅野	本間	タイヤ，ホイール	タイヤの不具合箇所が判断できる。	241	1
学年末	5	浅野	本間	タイヤ，ホイール	ホイールの不具合箇所が判断できる。	241	1
学年末	6	浅野	本間	確認試験		241	1

2023年度　シャシ実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	21

	シャシ実習ⅠA		シャシ実習ⅠB	
教員名 実務経験	中田　善之	中川　恵亮 自動車販売店	浅野　忠伯	本間　滉太郎 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・パンタグラフジャッキを使って応急用タイヤへの交換作業 ・パーキングブレーキの仕組みと調整作業の習得をする ・ドラムブレーキの復習を行い、作業を完熟する		・トランスアクスル(MT)について学ぶ ・駆動装置の復習を行い、理解をさらに深める	
2.教科の到達目標	・応急用タイヤへの交換ができる ・パーキングブレーキの調整ができる ・ドラムブレーキの分解組付けとすき間調整ができる		・トランスアクスル(MT)の実物を確認し、名称や役目を答えることができる ・駆動装置の理解度を深め、不具合対応に活用できる	
3.使用教科書、準備品	日整連　3級シャシ編、2級シャシ編 自動車整備技術　シャシ2 トヨタサービス TEAM GP G4(導入編)、(1STEP)		日整連　3級シャシ編、2級シャシ編 自動車整備技術　シャシ1 トヨタサービス TEAM GP G4(導入編)、(1STEP)	
4.授業時間	学年末　10	－　0	学年末　11	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(実習:シャシ実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1～3	中田	中川	タイヤ	パンタグラフジャッキを使用し、テンパータイヤに交換ができる。	35A	3
学年末	4	中田	中川	パーキングブレーキ	伝達経路および構成部品の説明ができる。	35A	1
学年末	5	中田	中川	パーキングブレーキ	踏みしろ(ノッチ)の調整ができる。	35A	1
学年末	6	中田	中川	ブレーキブースタ	ブースターテスタを見てなぜその油圧になるか説明ができる。	35A	1
学年末	7～9	中田	中川	ブレーキ	ドラムブレーキの分解組付けが時間内にできる。	35A	3
学年末	10	中田	中川	ブレーキ	ドラムブレーキの隙間調整が時間内にできる。	35A	1

授業計画表(実習:シャシ実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	浅野	本間	トランスアクスル	外観より、各部品が理解できる。	211	1
学年末	2～6	浅野	本間	トランスアクスル	トランスアクスルを分解、構造(部品)を理解できる	211	5
学年末	7～8	浅野	本間	トランスアクスル	トランスアクスルの組立手順、注意点を理解できる	211	2
学年末	9	浅野	本間	クラッチ	クラッチの不具合箇所が判断できる。	211	1
学年末	10	浅野	本間	トランスミッション	トランスミッションの不具合箇所が判断できる。	211	1
学年末	11	浅野	本間	デフ，シャフト	デフ，シャフトの不具合箇所が判断できる。	211	1

2023年度　シャシ電装Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		1年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	8

	シャシ電装ⅠA			
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー		坂元　亮太	
1.授業概要と履修前提	タイヤ空気充填作業安全講習内容			
2.教科の到達目標	タイヤ空気充填作業安全講習に関する知識を身に付ける			
3.使用教科書、準備品	三級自動車シャシ			
4.授業時間	学年末	8	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	学年末試験100%			

授業計画表(学科：シャシ電装Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1～2	市位	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	タイヤに関する知識を身に付ける	246	2
学年末	3	市位	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	作業用機器に関する知識を身に付ける	246	1
学年末	4～6	市位	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	タイヤ分組に関する知識を身に付ける	246	3
学年末	7	市位	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	充填作業に関する知識を身に付ける	246	1
学年末	8	市位	坂元	タイヤ空気圧充填作業安全講習	関係法令、災害事例に関する知識を身に付ける	246	1

2023年度　シャシ電装実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	9

	シャシ電装実習ＩＡ			
教員名 実務経験	市位　至 自動車メーカー		坂元　亮太	
1.授業概要と履修前提	タイヤ空気充填作業安全講習内容			
2.教科の到達目標	タイヤチェンジャー、ホイールバランサを取り扱うことができる			
3.使用教科書、準備品	保護メガネ、作業用グローブ			
4.授業時間	学年末	9	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	学年末試験100%			

授業計画表(実習:シャシ電装実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1～9	市位	坂元	タイヤ空気圧充填作業	タイヤチェンジャ・ホイールバランサが取り扱うことができる	34	9

2023年度　シャシ電装Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	4

	シャシ電装ⅠB			
教員名 実務経験	西谷　孝也		大前　宏貴	
1.授業概要と履修前提	ネームラベルとエアクリーナエレメント ドアミラー及び内装など脱着取り扱いについて			
2.教科の到達目標	ネームラベルについて理解を深める。エアクリーナの清掃方法がわかる 電子技術マニュアルの観かたの練度を向上させる。 ドアミラーを含め内装取り扱いについて理解を深める。			
3.使用教科書、準備品	teamgp　技術テキスト　導入編 teamgp　技術テキスト　1step			
4.授業時間	学年末	4	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
6.評価方法	学年末試験100%			

授業計画表(学科：シャシ電装Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	西谷	大前	板金塗装について	板金塗装について理解を深める	247	1
学年末	2	西谷	大前	板金塗装について		247	1
学年末	3	西谷	大前	板金塗装について		247	1
学年末	4	西谷	大前	ネームラベルと打刻		247	1

2023年度　シャシ電装実習Ⅰ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	13

	シャシ電装実習ⅠB			
教員名 実務経験	西谷　孝也		大前　宏貴	
1.授業概要と履修前提	バンパー補修基礎内容			
2.教科の到達目標	バンパーの簡易補修ができる			
3.使用教科書、準備品	保護メガネ、作業用グローブ			
4.授業時間	学年末	13	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	学年末試験100%			

授業計画表(実習:シャシ電装実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	西谷	大前	ネームラベルと打刻	ネームラベルの場所、打刻位置がわかる。	34B	1
学年末	2	西谷	大前	エアクリーナ	エアガン取り扱いエアクリーナエレメント取り外しと清掃ができる	34B	1
学年末	3	西谷	大前	アウタードアミラー脱着	電子技術マニュアルを操作しながらミラーの脱着方法　構造を理解する。	34B	1
学年末	4	西谷	大前	サイドターンシグナル脱着	電子技術マニュアルを操作しながら当該部品の脱着方法　構造を理解する。	34B	1
学年末	5	西谷	大前	サイドターンシグナル脱着	樹脂製部品の補修方法を知る	34B	1
学年末	6	西谷	大前	アウタードアミラーassy脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	7	西谷	大前	アウタードアミラーassy脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	8	西谷	大前	アウタードアミラーassy脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	9	西谷	大前	ルーフヘッドライニング脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	10	西谷	大前	ルーフヘッドライニング脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	11	西谷	大前	ルーフヘッドライニング脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	12	西谷	大前	ルーフヘッドライニング脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1
学年末	13	西谷	大前	ルーフヘッドライニング脱着	当該部品の脱着方法　及び部品取り扱い保管方法を理解する。	34B	1

2023年度　電気装置Ⅰ　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	11

	電気装置ⅠA				電気装置ⅠB			
教員名 実務経験	佐々木　健太		加藤　健 自動車販売店		大橋　信夫		小山　真由子	
1.授業概要と履修前提	・カーナビ、ETCの基礎知識を身に付ける				・各電気装置の復習を通して、理解度の向上を図る ・Ωの法則の計算の理解度を向上を図る			
2.教科の到達目標	・カーナビ、ETCの基礎知識を理解できる				・各種装置の構造、作動の理解がより深くできる			
3.使用教科書、準備品	振興会　2級ガソリン　2級シャシ TEAM-GP　G4(1STEP)　G3(2STEP) 簡易電卓				振興会　2級シャシ TEAM-GP　G4(導入、1STEP)　G3(2STEP)			
4.授業時間	学年末	7	－	0	学年末	4	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	平常試験							

授業計画表(学科:電気装置ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	佐々木	加藤	点火装置(復習)	点火装置の復習	248	1
学年末	2	佐々木	加藤	点火装置	電子制御式点火装置の制御を理解する	248	1
学年末	3～4	佐々木	加藤	カーナビ	カーナビ、ETCの構造が理解できる	248	2
学年末	5～6	佐々木	加藤	ホーン	ホーンの構造、作動、法規(保安基準)が理解できる	248	2
学年末	7	佐々木	加藤	平常試験	平常試験が解ける	248	1

授業計画表(学科:電気装置ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	大橋	小山	ワイパ概要、構造	概要、種類、構造を理解できる	249	1
学年末	2	大橋	小山	リンク機構	構造が理解できる	249	1
学年末	3	大橋	小山	ワイパ電気回路	速度制御の方法、作動(INT、LO、HI、自動停止)が理解できる	249	1
学年末	4	大橋	小山	eテスト	ワイパ、その他の項目が合格できる	249	1

2023年度　電気装置実習Ⅰ　シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　1年		
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	23

	電気装置実習ⅠA		電気装置実習ⅠB	
教員名 実務経験	佐々木　健太	加藤　健	大橋　信夫	小山　真由子
1.授業概要と履修前提	・TDIの構造・作動を学ぶ ・トラブルシュートの進め方を学ぶ ☆自動車販売店での整備経験者による授業		・拭取り装置の種類、作動、構造を学ぶ ・拭取り装置の各種点検を行い、良否判定を行う	
2.教科の到達目標	・スパークプラグの交換作業を身に付けることができる ・トラブルシュートの基礎を身に付けることができる		・拭取り装置の構造、作動が理解できる ・モータの回転速度の変化、回路が理解できる ・ワイパゴムの交換がスムーズにできる	
3.使用教科書、準備品	・手持ち工具　保護眼鏡・手袋　ウェス　サーキットテスタ ・振興会　2級ガソリンエンジン 自動車整備技術　電気装置1－A		・手持ち工具　保護眼鏡・手袋　ウェス　サーキットテスタ ・TEAM-GP　G4(導入、1STEP)　G3(2STEP) 自動車整備技術　電気装置1－A	
4.授業時間	学年末　10	－　0	学年末　13	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	レポート提出、または、平常試験、または、その両方			

授業計画表(実習:電気装置実習ⅠA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1～4	佐々木	加藤	点火装置(TDI)	TDI(ダイレクト式)の構造・作動が理解できる	248	4
学年末	5～7	佐々木	加藤	電圧測定Ⅰ	トヨ検BOXを使用した電圧測定、不具合特定ができる	255	3
学年末	8～10	佐々木	加藤	オーディオユニット脱着	オーディオユニットの各種操作、脱着要領が理解できる	35B	3

授業計画表(実習:電気装置実習ⅠB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	大橋	小山	ウォッシャ機能	概要、用途が理解できる	233	1
学年末	2	大橋	小山	ワイパモータ	モータ単体を分解、構造研究を行い、理解を深める	233	1
学年末	3	大橋	小山	ワイパモータ	単体点検を実施し、良否判定を行うことができる	233	1
学年末	4～6	大橋	小山	ワイパアーム脱着	車両にて、注意点を理解して、実施できる	35B	3
学年末	7	大橋	小山	ウォッシャ液噴射状態	点検、噴射方向の調整を行うことができる	35B	1
学年末	8	大橋	小山	ワイパラバー交換	車両にて、注意点を理解して、実施できる。	35B	4
学年末	9～12	大橋	小山	ワイパ回路電圧測定	ワイパの作動を理解しつつ、各ポイントの電圧測定が行える	35B	1
学年末	13	大橋	小山	平常試験(eチェック)	eチェック(ラバー交換、ワイパ点検)に合格できる	233	1

2023年度　エンジンⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	34

	エンジンⅡA		エンジンⅡB	
教員名 実務経験	深田　卓也	上田　貴洋	石原　宗明	抜井　克樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	可変バルブタイミング 過給機		ガソリンエンジン　電子制御燃料噴射装置(EFI) ガソリンエンジン　排気装置	
2.教科の到達目標	可変バルブタイミングの必要性を理解し作動説明できる 過給機の種類と特徴を理解し作動説明できる 国家試験問題を解くことができる		排出ガスの種類と発生原因を理解し説明できる センサー・コンピュータ制御の基礎を理解し説明できる 国家試験問題を解くことができる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP 2級ガソリン自動車エンジン編 2級ジーゼル自動車エンジン編		トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP 2級ガソリン自動車エンジン編	
4.授業時間	前期　14	－　0	前期　18	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジンⅡAの平常試験10%，エンジンⅡBの平常試験10% エンジンⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科：エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	深田	上田	エンジン本体	可変バルブタイミングの必要性・役目を理解する	231	1
前期	2	深田	上田	エンジン本体	VVT-iの構造・構成部品を理解する	231	1
前期	3	深田	上田	エンジン本体	VVT-iの作動を理解する	231	1
前期	4	深田	上田	エンジン本体	VVTL-iの構造・作動を理解する	231	1
前期	5	深田	上田	エンジン本体	VVT-iとiEの違いを理解する	231	1
前期	6	深田	上田	エンジン本体	バランサー機構の役目・構造を理解する	231	1
前期	7	深田	上田	吸排気装置	過給機の役目、種類を理解する	231	1
前期	8	深田	上田	吸排気装置	ターボチャージャの作動を理解する	231	1
前期	9	深田	上田	吸排気装置	ターボチャージャの過給圧制御、特徴を理解する	231	1
前期	10	深田	上田	吸排気装置	スーパーチャージャの特徴、作動を理解する	231	1
前期	11	深田	上田	吸排気装置	インタークーラの役目を理解する	231	1
前期	12	深田	上田	eテスト	eテスト(ガソリンエンジン2・エンジンメカニカル2)の内容を理解する	231	1
前期	13	深田	上田	eテスト	eテスト(ターボチャージャ・オーバーホール)の内容を理解する	231	1
前期	14	深田	上田	平常試験	授業内容全般を理解する	231	1

授業計画表(学科：エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	石原	抜井	エンジン本体	ガソリンエンジンの排出ガスを理解する	232	1
前期	2	石原	抜井	エンジン本体	排出ガス対策の酸化触媒・還元触媒・三元触媒を理解する	232	1
前期	3	石原	抜井	エンジン本体	排出ガス対策のEGR・ブローバイガス還元装置を理解する	232	1
前期	4	石原	抜井	電子制御装置	EFI装置の概要を理解する	232	1
前期	5	石原	抜井	電子制御装置	フューエルポンプの制御を理解する	232	1
前期	6	石原	抜井	電子制御装置	バキュームセンサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	7	石原	抜井	電子制御装置	エアフロメータの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	8	石原	抜井	電子制御装置	ｽﾛｯﾄﾙ・ｱｸｾﾙﾎﾟｼﾞｼｮﾝｾﾝｻの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	9	石原	抜井	電子制御装置	O_2・空燃比センサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	10	石原	抜井	電子制御装置	クランク角・カム角センサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	11	石原	抜井	電子制御装置	温度・ノックセンサの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	12	石原	抜井	電子制御装置	インジェクタの構造・特性・作動を理解する	232	1
前期	13	石原	抜井	電子制御装置	燃料噴射制御の概要を理解する	232	1
前期	14	石原	抜井	電子制御装置	同期・非同期噴射の種類を理解する	232	1
前期	15	石原	抜井	電子制御装置	フューエルカットを理解する	232	1
前期	16	石原	抜井	電子制御装置	空燃比F/B、学習制御を理解する	232	1
前期	17	石原	抜井	eテスト	eテスト(エンジンメカニカル3・4、ガソリンエンジン3)の内容を理解する	232	1
前期	18	石原	抜井	平常試験	授業内容全般を理解する	232	1

2023年度　エンジン実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	72

	エンジン実習ⅡA		エンジン実習ⅡB	
教員名 実務経験	深田　卓也	上田　貴洋	石原　宗明	抜井　克樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	可変バルブタイミング 過給機 エンジン計測作業		・外部診断機(GTS)の習熟 ・電子技術マニュアル取り扱い ・電子制御装置の構造構成制御理解	
2.教科の到達目標	可変バルブ装置の構造・作動が理解できる 正しい測定値を得るための計測器の取扱いができる 正しく測ることができ、結果を元に判定ができる		診断機を使用し、基本的な点検・計測作業ができる EFIの構成部品について、基礎的な知識が習得できる	
3.使用教科書、準備品	2級ガソリン自動車　エンジン編 トヨタサービス技術テキスト　工具、計測器、整備機器編		自動車整備技術　ガソリンエンジン 2級ガソリン自動車　エンジン編	
4.授業時間	前期　37	－　0	前期　33	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジン実習ⅡAの平常試験5%，エンジン実習ⅡBの平常試験5% エンジン実習ⅡAのレポート5%，エンジン実習ⅡBのレポート5% エンジン実習ⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習:エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～4	深田	上田	エンジン本体	可変バルブタイミングの構成・構造・作動を理解する	32A	4
前期	5～6	深田	上田	吸排気装置	ターボチャージャの構造を理解する	32A	2
前期	7	深田	上田	エンジン計測	正しい測定値を得るための注意事項を理解する	32A	1
前期	8	深田	上田	エンジン計測	オーバーホールの基礎や注意事項を理解する	32A	1
前期	9～11	深田	上田	エンジン計測	カムシャフト関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32A	3
前期	12～15	深田	上田	エンジン計測	バルブ関係の脱着・測定が正確にできるようになる	32A	4
前期	16	深田	上田	エンジン計測	カムシャフト脱着・振れ点検を習熟する	32A	1
前期	17	深田	上田	平常試験	チェックシート(カムシャフト脱着)が正確にできるようになる	32A	1
前期	18	深田	上田	平常試験	チェックシート(振れ測定)が正確にできるようになる	32A	1
前期	19～20	深田	上田	エンジン計測	ピストン/コンロッド脱着が正確にできるようになる	32A	2
前期	21～22	深田	上田	エンジン計測	エンジン計測機器の取り扱いを理解する	32A	2
前期	23～25	深田	上田	エンジン計測	シリンダー関係の測定が正確にできるようになる	32A	3
前期	26～30	深田	上田	エンジン計測	ピストン関係の測定が正確にできるようになる	32A	5
前期	31～33	深田	上田	エンジン計測	クランクシャフト関係の測定が正確にできるようになる	32A	3
前期	34	深田	上田	エンジン計測	各測定を習熟する	32A	1
前期	35～37	深田	上田	平常試験	チェックシート(エンジン計測全般)が正確にできるようになる	32A	3

授業計画表(実習:エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	石原	抜井	基本作業	危険予知ができるようになる	32B	1
前期	2～5	石原	抜井	EFI構成部品	EFI構成部品の種類・取り付き位置・役目等を理解する	32B	4
前期	6～8	石原	抜井	EFI構成部品	ECUの電源・アースについて理解する	32B	3
前期	9～10	石原	抜井	外部診断機	ダイアグ機能の概要、検出原理を理解する	32B	2
前期	11～13	石原	抜井	外部診断機	外部診断機の取り扱い(基礎)ができるようになる	32B	3
前期	14	石原	抜井	電子技術マニュアル	電子技術マニュアルの修理書にて調べることができるようになる	32B	1
前期	15	石原	抜井	電子技術マニュアル	修理書より正常データ収集ができるようになる	32B	1
前期	16～17	石原	抜井	電子技術マニュアル	解説書より各正常データ収集ができるようになる	32B	2
前期	18～19	石原	抜井	電子技術マニュアル	配線図より不具合時の値、現象確認ができるようになる	32B	2
前期	20～23	石原	抜井	EFI構成部品	データモニタにて正常データ収集ができるようになる	32B	4
前期	24～29	石原	抜井	EFI構成部品	各センサーの波形観測ができるようになる	32B	6
前期	30～31	石原	抜井	EFI構成部品	ダイアグコード読み取りや現象確認ができるようになる	32B	2
前期	32～33	石原	抜井	平常試験	授業内容全般を理解する	32B	2

2023年度　シャシⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		2年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	30

	シャシⅡA		シャシⅡB	
教員名 実務経験	小川　剛司	斉藤　和紀 自動車販売店	丹羽　暁彦 自動車販売店	神田　文仁
1.授業概要と履修前提	・定期点検の必要性，種類を理解する。 ・定期交換部品の商品知識，交換時期を理解する(復習) ☆自動車販売店での整備経験者により、上記専門知識を		車体の振動、バネ定数、固有振動数、エアサスペンション、エキゾースト・複合式・エアブレーキ，各スプリングのばね特性、各リターダーについて。	
2.教科の到達目標	・定期交換部品の商品知識，交換時期を説明できる。		走行性能、エアサスペンション、エキゾーストブレーキ、複合式ブレーキ、エアブレーキで各スプリングのばね特性、各リターダーについて説明できる。	
3.使用教科書、準備品	法令テキスト トヨタサービス技術テキスト　導入教育編		二級シャシ	
4.授業時間	前期　15	－　0	前期　15	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験10%、シャシⅡBの平常試験10% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科：シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～3	小川	斉藤	定期点検整備	定期点検の目的・必要性を理解する	222	3
前期	4	小川	斉藤	定期点検整備	車両・リフトの取り扱いを理解する	222	1
前期	5～6	小川	斉藤	基礎	エンジンオイルの知識を理解する	222	2
前期	7	小川	斉藤	基礎	ブレーキフルードの知識を理解する	222	1
前期	8	小川	斉藤	基礎	バッテリの知識を理解する	222	1
前期	9	小川	斉藤	基礎	エアクリーナ、LLCの知識を理解する	222	1
前期	10	小川	斉藤	基礎	タイヤの知識を理解する	222	1
前期	11	小川	斉藤	定期点検整備	パッド、ライニングの知識を理解する	222	1
前期	12.13	小川	斉藤	基礎	復習、まとめ	222	2
前期	14	小川	斉藤	基礎	国家試験対策(工学)	222	1
前期	15	小川	斉藤	定期点検整備	平常試験	222	1

授業計画表(学科：シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	丹羽	神田	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ性能	ばね定数，振動の特性グラフ，固有振動数，共振を理解する	237	1
前期	2	丹羽	神田	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ性能	車体の振動，揺動のローリング、各振動の発生原因のロールセンタもを理解する	237	1
前期	3	丹羽	神田	エアサス	概要，特性の長所，短所の金属ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞとの比較を理解する	237	1
前期	4	丹羽	神田	エアサス	構成部品の名称，配置，役目を理解する	237	1
前期	5	丹羽	神田	エアサス	エアスプリングの種類，構造，特徴を理解する	237	1
前期	6～7	丹羽	神田	複合式ブレーキ	概要の用途，構成部品を理解する	237	2
前期	8～10	丹羽	神田	エアブレーキ	概要，構成部品の用途，部品の名称と配置を理解する	237	3
前期	11～12	丹羽	神田	練習問題	ｴｱｻｽ，EXﾌﾞﾚｰｷ,複合ﾌﾞﾚｰｷ,ｴｱﾌﾞﾚｰｷの国家試験が解ける	237	2
前期	13.14	丹羽	神田	習熟	今回学んだことを想起し，抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	237	2
前期	15	丹羽	神田	平常試験	平常試験	237	1

2023年度　シャシⅡ実習 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	76

	シャシⅡ実習A		シャシⅡ実習B	
教員名 実務経験	小川　剛司	斉藤　和紀 自動車販売店	丹羽　暁彦 自動車販売店	神田　文仁
1.授業概要と履修前提	日常点検、プロケア10 12か月定期点検 ☆自動車販売店での整備経験者により、上記実践技能を		大型シャシ、エアサスペンション、複合型ブレーキ、エアブレーキについて	
2.教科の到達目標	安全な作業ができる 正確な点検、記録簿の正しい記載ができる 整備機器の正しい取り扱いができる		大型シャシ、エアサスペンション、複合型ブレーキ、エアブレーキについて説明できる。 車両を安全に取扱いできる	
3.使用教科書、準備品	トヨタ定期点検作業要領説明書 技術テキスト　導入教育編 教育用メンテナンスノート		二級シャシ 自動車整備技術　シャシ4	
4.授業時間	前期　37	－　0	前期　37	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている			
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験5%、シャシⅡBの平常試験5% シャシⅡAのレポート5%、シャシⅡBのレポート5% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習:シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	小川	斉藤	定期点検整備	エンジン始動、車両の取り扱いができるようになる	31A	1
前期	2	小川	斉藤	定期点検整備	リフトの取り扱いができるようになる	31A	1
前期	3～4	小川	斉藤	定期点検整備	日常点検ができるようになる	31A	2
前期	5～6	小川	斉藤	定期点検整備	タイヤ脱着ができるようになる	31A	2
前期	7～8	小川	斉藤	定期点検整備	1ヶ月無料点検と記録簿の記入ができるようになる	31A	2
前期	9	小川	斉藤	定期点検整備	6ヶ月無料点検と記録簿の記入ができるようになる	31A	1
前期	10～11	小川	斉藤	定期点検整備	プロケア10の点検項目確認・記載ができるようになる	31A	2
前期	12～13	小川	斉藤	定期点検整備	プロケア10ができるようになる	31A	2
前期	14～16	小川	斉藤	定期点検整備	12ヶ月定期点検項目の記録簿の記入ができるようになる	31A	3
前期	17～25	小川	斉藤	定期点検整備	12ヶ月定期点検整備ができるようになる(1～3ローテ)	31A	9
前期	26	小川	斉藤	定期点検整備	より効率の良い作業を話し合って考えることができる	31A	1
前期	27～34	小川	斉藤	定期点検整備	12ヶ月定期点検整備ができるようになる(4～6ローテ)	31A	8
前期	35～36	小川	斉藤	定期点検整備	平常試験(実技チェック)	31A	2
前期	37	小川	斉藤	定期点検整備	平常試験(実技ペーパー)	222	1

授業計画表(実習:シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～4	丹羽	神田	基礎	シューの組付けができるようになる，エアサス概要が説明できる	33B	4
前期	5～8	丹羽	神田	ｴｷｿﾞｰｽﾄﾌﾞﾚｰｷ	作動の説明ができるようになる	33B	4
前期	9～11	丹羽	神田	複合式ブレーキ	作動およびトラブルの説明ができるようになる	33B	3
前期	12～14	丹羽	神田	エアブレーキ	構造，作動が説明できる	33B	3
前期	15～24	丹羽	神田	エアブレーキ	ブレーキバルブ，ドライヤ，制動倍力装置，レベリングバルブが理解できる	33B	11
前期	25～35	丹羽	神田	トラック	リヤアクスル取り外し，ドラムの分解組付けができる	33B	10
前期	36	丹羽	神田	習熟	今回学んだことを想起し，抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	33B	1
前期	37	丹羽	神田	平常試験	平常試験	33B	1

2023年度　シャシ電装Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科		2年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	29

	シャシ電装ⅡA		シャシ電装ⅡB	
教員名 実務経験	河村　成俊 自動車販売店	古川　宰 自動車販売店	増田　靖隆	藤岡　昌平
1.授業概要と履修前提	・各ホイールアライメントの役目を理解する。 ・整備士に必要なお客様応対技術を身に付ける。		パワーステアリング、オイルポンプ、ロータリバルブ、 電子制御式パワーステアリング、電動パワーステアリングについて。	
2.教科の到達目標	・各ホイールアライメントの国家試験問題が解ける。		パワーステアリングを構成する部品の名称・役目、コントロールバルブの種類・作動を説明できる。 コーナリングフォースとスリップアングルが説明できる。	
3.使用教科書、準備品	二級シャシ 三級シャシ		二級シャシ 三級シャシ	
4.授業時間	前期　16	－　0	前期　13	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシ電装実習ⅡAの平常試験10%，シャシ電装実習ⅡBの平常試験10% シャシ電装ⅡAとBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科：シャシ電装ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1,2	河村	古川	国家試験対策	国家試験問題の練習	学科教室	2
前期	3	河村	古川	概要	アライメントの概要が理解できる	学科教室	1
前期	4	河村	古川	キャンバ	キャンバの目的、機能が理解できる	学科教室	1
前期	5	河村	古川	キャスタ	キャスタの目的、機能が理解できる	学科教室	1
前期	6	河村	古川	キングピンアングル	キングピンアングルの目的、機能が理解できる	学科教室	1
前期	7.8	河村	古川	業務教育	業務ステップの内容を理解する	学科教室	2
前期	9～14	河村	古川	業務教育	お客様応対の練習（インターンシップ対策）	学科教室	6
前期	15.16	河村	古川	まとめ	授業内容の復習	学科教室	2

授業計画表(学科：シャシ電装ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	増田	藤岡	パワーステアリング概要	動力、作動、制御装置を区別し、説明できる	学科教室	1
前期	2,3	増田	藤岡	オイルポンプ	ベーン型オイルポンプ、フローコントロールバルブ、プレッシャリリーフバルブの作動を理解する	学科教室	2
前期	4	増田	藤岡	種類	装置の取り付け位置、リンクによる種類の区別ができる	学科教室	1
前期	5	増田	藤岡	コントロールバルブ	油圧作動、作動切り替えの原理を理解する	学科教室	1
前期	6	増田	藤岡	ロータリバルブ	直進時、旋回時の部品の動き、油路の説明ができる　故障時の作動を説明できる	学科教室	1
前期	7	増田	藤岡	電子制御式パワーステアリング	必要性を理解し、油圧反力制御式の作動を説明できる	学科教室	1
前期	8	増田	藤岡	電動パワーステアリング	部品の取り付け位置による種類の分類、トルクセンサの特徴を押させ説明ができる	学科教室	1
前期	9	増田	藤岡	電動パワーステアリング制御	各種制御の概要を理解し、区別できる	学科教室	1
前期	10	増田	藤岡	復習	日々の内容を想起し、理解不足を把握する	学科教室	1
前期	11	増田	藤岡	毎日問題	今回学んだ内容を理解し、国家試験問題を解くことができる	学科教室	1
前期	12.13	増田	藤岡	習熟	今回学んだことを想起し、抜け、漏れ、理解不足を把握し、補う	学科教室	2

2023年度　シャシ電装実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科		2年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	77

	シャシ電装実習ⅡA		シャシ電装実習ⅡB	
教員名 実務経験	河村　成俊 自動車販売店	古川　宰 自動車販売店	増田　靖隆	藤岡　昌平
1.授業概要と履修前提	ホイールアライメント測定作業 ホイールアライメント調整作業		ステアリング機構基礎、パワーステアリング各部名称・役目 電動パワーステアリング、油圧式パワーステアリング車上点について	
2.教科の到達目標	CCKゲージの取り扱いと計測ができる 各点検及び測定作業の良否判断ができる		ロータリバルブ式・油圧反力制御式のパワーステアリングの構成部品名称、役目を説明できる 油圧式車上点検の、良否判断ができる	
3.使用教科書、準備品	自動車整備技術　シャシ2 三級シャシ 二級シャシ		二級シャシ 三級シャシ 自動車整備技術　シャシ4	
4.授業時間	前期　36	－　0	前期　39	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシ電装実習ⅡA、Bの平常試験，レポートでそれぞれ10% シャシ電装ⅡAとBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習:シャシ電装実習ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1,2	河村	古川	キャンバ	キャンバの測定作業が理解できる	教室	2
前期	3	河村	古川	キャスタ	キャスタの測定作業が理解できる	教室	1
前期	4,5	河村	古川	キングピンアングル	キングピンアングルの測定作業が理解できる	教室	2
前期	6,7	河村	古川	トーイン	トーインの測定、調整作業が理解できる	教室	2
前期	8	河村	古川	ターニングラジアス	ターニングラジアスの測定作業が理解できる	教室	1
前期	9	河村	古川	4輪アライメント	セットバック，スラスト角が理解できる	教室	1
前期	10～13	河村	古川	測定前点検	測定前点検が行える	33A	4
前期	14～18	河村	古川	各アライメント測定	CCKゲージが使用できる	33A	4
前期	19,20	河村	古川	不具合車両	不具合箇所を見つけることができる	33A	2
前期	21～23	河村	古川	不具合車両	不具合車両のトラブルを考察、発表	教室	3
前期	24～26	河村	古川	技術チェック	CCKゲージ取り扱い	33A	3
前期	27,28	河村	古川	トーイン点検	トーインの点検、調整ができる	33A	2
前期	29～32	河村	古川	国家試験練習	アライメントに関する設問が解ける	教室	4
前期	33～34	河村	古川	不具合車両	不具合車両を試乗、体感し不良箇所が分かる	走行確認路	3
前期	35	河村	古川	平常試験	実技平常試験	教室	1
前期	36	河村	古川	まとめ	定期試験のまとめ	教室	1

授業計画表(実習:シャシ電装実習ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1,2	増田	藤岡	パワーステアリング概要	3つの機構、要求される条件を説明できる	教室	2
前期	3,4	増田	藤岡	操作機構	ステアリングコラムの特徴、機能を説明できる	教室	2
前期	5～8	増田	藤岡	ギア機構、バリアブルギアレシオ	名称・作動が説明でき、ギヤ比を用いた計算ができる　国家試験問題を解くことが出来る	教室	3
前期	9	増田	藤岡	リンク機構	アッカーマンジャント理論を理解する	教室	1
前期	10,11	増田	藤岡	旋回性能	コーナリングフォースとスリップアングルについて理解し、旋回軌跡の違いを説明できる	教室	2
前期	12	増田	藤岡	4輪操舵機構	4輪操舵機構について理解し、各速度域での制御の違いを説明できる	教室	1
前期	13～16	増田	藤岡	オイルポンプ	分解・組付けを行い各部品の特徴を押さえ、フルードの流れを説明できる	212	4
前期	17,18	増田	藤岡	オイルポンプ	油圧、油量制御装置の作動を理解し、区別することができる	212	2
前期	19～22	増田	藤岡	ロータリバルブ	分解・組付けを行い、油路の切り替えについて実物で確認し理解を深める	212	4
前期	23	増田	藤岡	ロータリバルブ	故障時の作動部を実物で確認し、理解を深める	212	1
前期	24～27	増田	藤岡	新PPS	分解・組付けを行い、通常のロータリバルブとの物理的違いを把握し、理解を深める	212	4
前期	28～30	増田	藤岡	電動パワーステアリング	外観による種類の区別ができ、トルクセンサの種類の区別が説明できる	212	3
前期	31	増田	藤岡	GWT	トーションバーが無い場合の作動について	212	1
前期	32～34	増田	藤岡	車上油圧点検	車両での点検を確実に行い、良否判定ができる	33A	3
前期	35	増田	藤岡	体験走行	パワーステアリング故障時の車両の動きを体感し、理解を深める	走行確認路	2
前期	36	増田	藤岡	4S・毎日問題	今回学んだ内容を復習し、理解を深める	教室	1
前期	37	増田	藤岡	練習問題	今回学んだ内容を理解し、国家試験問題を解くことができる	教室	1
前期	38	増田	藤岡	まとめ	復習	教室	1
前期	39	増田	藤岡	平常試験	学科・実技ペーパー試験、実技試験	教室	1

2023年度　電気装置Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		2年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	35

	電気装置ⅡA				電気装置ⅡB			
教員名 実務経験	立山　耕司		與古田　裕樹 自動車販売店		飯田　貴文		官林　佳希 自動車メーカー	
1.授業概要と履修前提	アクティブセーフティー CAN通信 ECB				HVシステムの概要 低圧電気取扱者講習			
2.教科の到達目標	安全装置全般内容を理解し、将来お客様に説明できるようになる CAN通信を理解し国家試験問題が解ける ECBを理解し、作動が説明できる				HVシステムの概要を理解することで将来お客様に説明できるようになる（平常試験80%以上） 低圧電気取扱者講習が修了できる（60%で合格）			
3.使用教科書、準備品	2級シャシ				低圧電気取扱テキスト トヨタサービス　導入、1、2STEP			
4.授業時間	前期	17	－	0	前期	17	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	電装Aの平常試験10%、電装Bの平常試験10% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(学科：電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～6	立山	與古田	ABS	ABSの概要、構成、制御を理解する	235	6
前期	7	立山	與古田	TRC	TRCの概要、構成、制御を理解する	235	1
前期	8	立山	與古田	VSC	VSCの概要、構成、制御を理解する	235	1
前期	9～13	立山	與古田	CAN	CAN通信の概要、構成、制御を理解する	235	5
前期	13～16	立山	與古田	TSS	トヨタセーフティセンスの予防安全パッケージのセンサー及びカメラの知識のを理解する	235	3
前期		立山	與古田		予防安全パッケージ：PCS　BSM　LTA　AHBなど		
前期	17	立山	與古田	平常試験	得点率が80%以上取れる	235	1

授業計画表(学科：電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	飯田	官林	HV概要	HV車の必要性、種類が分かる	236	2
前期	3	飯田	官林	THSシステムの構成	HV車の特徴、エンジンの構造が分かる	236	1
前期	4	飯田	官林	THSシステムの構成	モータ、ジェネレータの構造が分かる	236	1
前期	5	飯田	官林	THSシステムの構成	PCUの構造が分かる	236	1
前期	6	飯田	官林	THSシステムの構成	パワーケーブル、HVバッテリの構造が分かる	236	1
前期	7	飯田	官林	THSシステムの構成	SMRの構造、作動が分かる	236	1
前期	8	飯田	官林	THSシステムの構成	サービスプラグの構造が分かる	236	1
前期	9～11	飯田	官林	共線図	共線図が理解できる	236	3
前期	12～14	飯田	官林	FCV概要	FCVの概要が分かる	236	3
前期	15～16	飯田	官林	低圧電気取扱者講習	低圧電気取扱者講習が修了（60%以上）できる	236	2
前期	17	飯田	官林	平常試験	得点率が80%以上取れる	236	1

.

2023年度　電気装置実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	58

	電気装置実習ⅡA				電気装置実習ⅡB			
教員名 実務経験	立山　耕司		與古田　裕樹 自動車販売店		飯田　貴文		官林　佳希 自動車メーカー	
1.授業概要と履修前提	アクティブセーフティー CAN通信 エーミング				交流同期式モータ、インバータの構造、作動 HV車の特徴と整備時の注意事項 HVバッテリ脱着、HV車の制御			
2.教科の到達目標	車両にてABS、TRCの構成部品が分かる ボデー多重通信の基本的な診断ができる				交流同期式モータ、インバータの構造、作動が理解でき将来お客様に説明できるようになる HV車の特徴と整備時の注意事項が理解でき、安全な整備ができるようにする （平常試験80％以上）			
3.使用教科書、準備品	電気装置2				トヨタサービス　導入、1、2STEP			
4.授業時間	前期	22	－	0	前期	34	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	電装実習Aの平常試験5%，電装実習Bの平常試験5% 電装実習Aのレポート5%，電装実習Bのレポート5% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(実習：電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～7	立山	與古田	ECB	ECB通信の概要、構成、制御を理解する	235	7
前期	8～9	立山	與古田	ABS	構成部品、制御を理解する	34	2
前期	10～11	立山	與古田	TRC	作動理解する	34	2
前期	12～13	立山	與古田	CAN	ボデー多重通信の基本的な診断ができる	34	2
前期	14～15	立山	與古田	車輪速センサ	基本構造、作動が理解できる	34	2
前期	16～19	立山	與古田	TSS	TSSの体験走行を行い、各作動が理解できる	テストコース	4
前期	20～22	立山	與古田	エーミング	エーミングの概要、作業手順が分かる	34	3

授業計画表(実習：電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	飯田	官林	交流同期式モータ	交流同期式モータの構造、作動が分かる	245	2
前期	3～4	飯田	官林	インバータ	インバータの構造、作動が分かる	245	2
前期	5～6	飯田	官林	診断機、技術マニュアル	HV車の取り扱いについてが分かる	34	2
前期	7～8	飯田	官林	HVバッテリ取り外し	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを取り外すことができる	34	2
前期	9	飯田	官林	HVバッテリ分解	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを分解することができる	34	1
前期	10～11	飯田	官林	HVバッテリ構造研究	HVバッテリの構造が分かる	34	2
前期	12	飯田	官林	HVバッテリ組み付け	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを組み付けすることができる	34	1
前期	13～14	飯田	官林	HVバッテリ取り付け	適切な保護具を着用し、安全かつ正確にHVバッテリを取り付けることができる	34	2
前期	15～17	飯田	官林	PCU構造研究	PCUの構造が分かる	34	3
前期	18～19	飯田	官林	クーリングブロワ制御	クーリングブロワの制御が分かる	34	2
前期	20～21	飯田	官林	共線図	共線図が分かる	34	2
前期	22～25	飯田	官林	eテスト	得点率が70%以上取れる	236	4
前期	26～28	飯田	官林	まとめ	授業内容の確認ができる	34	3
前期	29～31	飯田	官林	HV車乗り比べ	HV車を試乗し、体感走行させる	テストコース	3
前期	32～34	飯田	官林	平常試験	得点率が80%以上取れる	34	3

2023年度　エンジンⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	47

	エンジンⅡA		エンジンⅡB	
教員名 実務経験	深田　卓也	上田　貴洋	石原　宗明	抜井　克樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	ディーゼルエンジン コモンレール式ディーゼルエンジン 整備機器取り扱い		ガソリンエンジン　電子点火装置(ESA) アイドル回転速度制御装置・電子スロットル	
2.教科の到達目標	ディーゼルエンジンとガソリンエンジンの違いを説明できる コモンレール式の概要・各種制御を理解し説明できる 国家試験問題を解くことができる		電子点火装置の作動を理解し説明できる アイドル回転速度制御装置を理解し説明できる 国家試験問題を解くことができる	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP 2級ジーゼル自動車エンジン編		トヨタサービス技術テキスト　1STEP・2STEP 2級ガソリン自動車　エンジン編	
4.授業時間	後期　32	－　0	後期　13	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (○)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジンⅡAの平常試験10%，エンジンⅡBの平常試験10% エンジンⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科：エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	深田	上田	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの特徴を理解する	231	2
後期	3～4	深田	上田	ディーゼル本体	軽油の性状を理解する	231	2
後期	5	深田	上田	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの4行程について理解する	231	1
後期	6～7	深田	上田	ディーゼル本体	空気過剰率、体積効率について理解する	231	2
後期	8	深田	上田	ディーゼル本体	ディーゼルノックについて理解する	231	1
後期	9～10	深田	上田	ディーゼル本体	排気ガス中の有害ガス及び対策を理解する	231	2
後期	11～12	深田	上田	ディーゼル本体	ディーゼルエンジンの3要素を理解する	231	2
後期	13	深田	上田	ディーゼル本体	予熱装置について理解する	231	1
後期	14	深田	上田	燃料装置	近年のディーゼルエンジン事情を理解する	231	1
後期	15～16	深田	上田	燃料装置	コモンレール式の特徴・全体構成を理解する	231	2
後期	17～22	深田	上田	燃料装置	サポライポンプの種類・特徴を理解する	231	6
後期	23～25	深田	上田	燃料装置	ECUの内部構成及び制御を理解する	231	3
後期	26～27	深田	上田	吸排気装置	後処理装置について理解する	231	2
後期	28～30	深田	上田	エンジン本体	計測器取り扱いを理解する	231	3
後期	31	深田	上田	eテスト	eテスト(ディーゼルエンジン、尿素SCR)の内容を理解する	231	1
後期	32	深田	上田	平常試験	授業内容全般を理解する	231	1

授業計画表(学科：エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	石原	抜井	電子制御装置	点火制御装置の概要を理解する	232	1
後期	2	石原	抜井	電子制御装置	点火制御装置の役目・構造を理解する	232	1
後期	3	石原	抜井	電子制御装置	点火制御装置の回路・信号を理解する	232	1
後期	4	石原	抜井	電子制御装置	点火制御装置の作動を理解する	232	1
後期	5～6	石原	抜井	電子制御装置	点火制御装置の点火時期制御を理解する	232	2
後期	7	石原	抜井	電子制御装置	点火制御装置の点火補正を理解する	232	1
後期	8	石原	抜井	電子制御装置	アイドル回転制御装置の概要・役目・構造を理解する	232	1
後期	9	石原	抜井	電子制御装置	アイドル回転制御方法を理解する	232	1
後期	10	石原	抜井	電子制御装置	電子制御式スロットルの概要・特徴を理解する	232	1
後期	11	石原	抜井	電子制御装置	電子制御式スロットルの制御を理解する	232	1
後期	12	石原	抜井	eテスト	eテスト(エンジンの3要素・GTSの活用)の内容を理解する	232	1
後期	13	石原	抜井	平常試験	授業内容全般を理解する	232	1

2023年度　エンジン実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	59

	エンジン実習ⅡA		エンジン実習ⅡB	
教員名 実務経験	深田　卓也	上田　貴洋	石原　宗明	抜井　克樹 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	ディーゼルエンジン コモンレール式ディーゼルエンジン 整備機器取り扱い		ガソリンエンジンの故障探求 電子点火装置	
2.教科の到達目標	ディーゼルエンジンの特徴・構造等が理解できる コモンレール式燃料噴射装置の構成や役割が理解できる 正しい測定値を得るための計測器の取扱いができる		故障探求の手順・方法が理解できる 電子点火装置の作動が理解できる	
3.使用教科書、準備品	自動車整備技術　ディーゼルエンジン 2級ジーゼル自動車エンジン編 トヨタサービス技術テキスト　工具、計測器、整備機器編		自動車整備技術　ガソリンエンジン 2級ガソリン自動車　エンジン編	
4.授業時間	後期　19	－　0	後期　38	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	エンジン実習ⅡAの平常試験5%，エンジン実習ⅡBの平常試験5% エンジン実習ⅡAのレポート5%，エンジン実習ⅡBのレポート5% エンジン実習ⅡAとⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習：エンジンⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	深田	上田	エンジン本体	エンジンの全体構成・各部名称・取り付き位置を理解する	32A	1
後期	2	深田	上田	エンジン本体	各センサーの名称・取り付き位置を理解する	32A	1
後期	3	深田	上田	エンジン本体	燃料系統の取外しができ、コモンレールの構造を理解する	32A	1
後期	4	深田	上田	エンジン本体	燃料系統の取外しができ、インジェクタの構造を理解する	32A	1
後期	5	深田	上田	エンジン本体	本体部品の取外しができ、吸排気装置の構造を理解する	32A	1
後期	6	深田	上田	エンジン本体	分解・構造確認を通して、ディーゼルエンジン構造を理解する	32A	1
後期	7	深田	上田	エンジン本体	シリンダヘッドの取外しができ、燃焼室について理解する	32A	1
後期	8	深田	上田	エンジン本体	シリンダヘッドの組付けができるようになる	32A	1
後期	9	深田	上田	エンジン本体	エンジン本体のトルク管理・復元ができるようになる	32A	1
後期	10～11	深田	上田	エンジン本体	燃料系統のトルク管理・復元ができるようになる	32A	2
後期	12	深田	上田	エンジン本体	車両にて全体構成や取り付き状態を理解する	32A	1
後期	13	深田	上田	エンジン本体	車両にてエンジン始動・メータ表示を理解する	32A	1
後期	14	深田	上田	エンジン本体	車両にて外部診断機を用いたデータ確認を理解する	32A	1
後期	15	深田	上田	エンジン本体	車両にて外部診断機を用いた補正値登録を理解する	32A	1
後期	16	深田	上田	ディーゼル本体	大型車両の概要、構造を理解する(愛知日野自動車様講師)	51実	1
後期	17	深田	上田	ディーゼル本体	燃料系作業方法を理解する(愛知日野自動車様講師)	51実	1
後期	18	深田	上田	ディーゼル本体	燃欠時の対応を理解する(愛知日野自動車様講師)	51実	1
後期	19	深田	上田	平常試験	授業内容全般を理解する	32A	1

授業計画表(実習：エンジンⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	石原	抜井	点火制御装置	ESAの概要、構造を理解する	32B	1
後期	2	石原	抜井	点火制御装置	ESAの制御を理解し、波形観測ができるようになる	32B	1
後期	3	石原	抜井	点火制御装置	データモニタにて回転速度と負荷の関係を理解する	32B	1
後期	4～5	石原	抜井	故障探求	故障探求の5つのステージを理解する	32B	2
後期	6	石原	抜井	故障探求	故障探求のフローチャートを作成することができるようになる	32B	1
後期	7	石原	抜井	故障探求	パワーバランス点検ができるようになる	32B	1
後期	8	石原	抜井	故障探求	W/H、リレーの単体点検ができるようになる	32B	1
後期	9	石原	抜井	エンジントラブル	ECU、センサ電圧測定ができるようになる	32B	1
後期	10～12	石原	抜井	エンジントラブル	課題1の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	13～15	石原	抜井	エンジントラブル	課題2の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	16～18	石原	抜井	エンジントラブル	課題3の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	19～21	石原	抜井	エンジントラブル	課題4の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	22～24	石原	抜井	エンジントラブル	課題5の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	25～27	石原	抜井	エンジントラブル	課題6の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	28～30	石原	抜井	エンジントラブル	課題7の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	31～33	石原	抜井	エンジントラブル	課題8の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	34～36	石原	抜井	エンジントラブル	課題9の故障探求ができるようになる	32B	3
後期	37	石原	抜井	エンジントラブル	復習を通し、トラブルシュートについて理解する	32B	1
後期	38	石原	抜井	平常試験	授業内容全般を理解する	32B	1

2023年度　シャシⅡ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		2年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	24

	シャシⅡA		シャシⅡB	
教員名 実務経験	小川　剛司	斉藤　和紀	丹羽　暁彦	神田　文仁
		自動車販売店	自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	車検書類について 継続検査に関する保安基準と検査機器の取り扱い		トヨタ技術検定3級	
2.教科の到達目標	車検に必要な各書類の用途を説明できる 車検申請の流れを説明できる 継続検査の実施要領を説明できる		トヨタ検定3級に合格できる整備，技術知識の習得 学科，実技の両方でのペーパー問題が答えられる	
3.使用教科書、準備品	法令テキスト 技術テキスト　導入教育編		技術テキスト導入教育編、工具・計測器・整備機器編 技術テキスト1STEP、2STEP、	
4.授業時間	後期　15	－　0	後期　8	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験10%、シャシⅡBの平常試験10% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科：シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	小川	斉藤	車検整備	登録および検査の車の種別、検査の種類を理解する	222	2
後期	3～4	小川	斉藤	車検整備	継続検査の実施方法を理解する	222	2
後期	5	小川	斉藤	車検整備	検査申請書類を理解する	222	1
後期	6	小川	斉藤	車検整備	必要書類および税金、手数料を理解する	222	1
後期	7～8	小川	斉藤	車検整備	書類作成の継続検査書類作成方法を理解する	222	2
後期	9	小川	斉藤	車検整備	前期の復習	222	1
後期	10	小川	斉藤	基礎	トヨタ検定を理解する	222	1
後期	11～12	小川	斉藤	定期点検整備	実技の流し方、点検方法を理解する	222	2
後期	13	小川	斉藤	基礎	国家試験対策（工学）	222	1
後期	14	小川	斉藤	基礎	復習	222	1
後期	15	小川	斉藤	定期点検整備	平常試験	222	1

授業計画表(学科：シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	丹羽	神田	トヨタ検定3級	トヨタ検定3級の検定制度・概要の検定制度概要、目的を理解する	237	1
後期	2～6	丹羽	神田	トヨタ検定3級	テキストの内容を理解し，問題に対して正しく解答できる	237	5
後期	7	丹羽	神田	基礎	ペーパー問題の内容を復習する	237	1
後期	8	丹羽	神田	平常試験	理解度向上および平常試験	237	1

2023年度　シャシⅡ実習 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	81

	シャシⅡ実習A		シャシⅡ実習B	
教員名 実務経験	小川　剛司	斉藤　和紀 自動車販売店	丹羽　暁彦 自動車販売店	神田　文仁
1.授業概要と履修前提	24ヵ月定期点検 継続検査、検査ライン		トヨタ技術検定3級	
2.教科の到達目標	正確な点検、記録簿の正しい記載ができる 車検検査機器の取り扱い方を理解する トヨタ検定3級レベルの定期点検が正確にできる		トヨタ検定3級に合格できる整備，技術知識の習得 実習のペーパー問題が答えられる	
3.使用教科書、準備品	トヨタ定期点検作業要領説明書 技術テキスト　導入教育編 教育用メンテナンスノート		技術テキスト導入教育編、工具・計測器・整備機器編 技術テキスト1STEP、2STEP、電気装置1－A、テスター	
4.授業時間	後期　36	－　0	後期　43	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシⅡAの平常試験5%、シャシⅡBの平常試験5% シャシⅡAのレポート5%、シャシⅡBのレポート5% シャシⅡAとシャシⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習：シャシⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～3	小川	斉藤	公害発散防止	公害発散防止装置を理解し、点検ができるようになる	31A	3
後期	4～5	小川	斉藤	車検整備	24ヶ月定期点検の新規点検項目ができるようになる	31A	2
後期	6～13	小川	斉藤	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる(1ローテ目)	31A	8
後期	14～21	小川	斉藤	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる(2ローテ目)	31A	8
後期	22～29	小川	斉藤	車検整備	24ヶ月定期点検整備、多頻度作業ができるようになる(3ローテ目)	31A	8
後期	30～31	小川	斉藤	車検整備	検査機器の取り扱いができるようになる	31A	2
後期	32～33	小川	斉藤	車検整備	ブレーキフルードエア抜き(HV車)ができるようになる	31A	2
後期	34～35	小川	斉藤	定期点検整備	平常試験(実技チェック)	31A	2
後期	36	小川	斉藤	定期点検整備	平常試験(実技ペーパー)	222	1

授業計画表(実習：シャシⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～7	丹羽	神田	§1 ピストン脱着	作業時間を意識し，正確な値を出すことができる	33A	7
後期	8～14	丹羽	神田	§2 オルタネータ脱着	作業時間を意識し，安全に作業を行うことができる	34A	7
後期	15～21	丹羽	神田	§3 スタータ点検	本体点検，性能点検を正しく行い，良否判定ができる	34A	7
後期	22～28	丹羽	神田	§4 オルタネータ点検	本体点検，性能点検を正しく行い，良否判定ができる	34A	7
後期	29～35	丹羽	神田	§5 エンジン部品計測	計測機器の取り扱いを理解し、正確な計測ができる	34A	7
後期	36～39	丹羽	神田	§6 ペーパー問題	テキストの内容を理解し，問題に対して正しく解答できる	34A	4
後期	40～41	丹羽	神田	GWT	各セクションの作業効率向上について	34A	2
後期	42	丹羽	神田	習熟	今回学んだことを想起し，抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	34A	1
後期	43	丹羽	神田	平常試験	ペーパー試験		1

2023年度　シャシ電装Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科		2年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	35

	シャシ電装ⅡA		シャシ電装ⅡB	
教員名 実務経験	河村　成俊 自動車販売店	古川　宰 自動車販売店	増田　靖隆	藤岡　昌平
1.授業概要と履修前提	LSD、4WDについて　デファレンシャル、各駆動方式 **について理解しておく** **業務教育について**		ATについて　トルクコンバータ、ATの構造、部品名称について	
2.教科の到達目標	LSD分類、種類、ビスカス作動について説明できる 4WD概要、種類、必要性を説明できる 業務教育を説明できる。ボディ構造を説明できる		ATの国家試験問題が解ける(各レンジ作動問題) 業務教育を説明できる	
3.使用教科書、準備品	三級シャシ・二級シャシ トヨタサービス 業務テキスト1step＆2step		三級シャシ・二級シャシ トヨタサービス 業務テキスト1step＆2step	
4.授業時間	後期　14	－　0	後期　21	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシ電装ⅡAの平常試験10%、シャシ電装ⅡBの平常試験10% シャシ電装ⅡA及びⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科:シャシ電装ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～4	河村	古川	LSD	必要性、種類、作動が説明できる	学科教室	4
後期	5～7	河村	古川	4WD	必要性、種類、作動が説明できる	学科教室	3
後期	8～11	河村	古川	工場経営	部品業務と保証業務が説明できる	学科教室	4
後期	12	河村	古川	平常試験		学科教室	1
後期	13.14	河村	古川	習熟	今回学んだことを想起し,抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	学科教室	2

授業計画表(学科:シャシ電装ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1,2	増田	藤岡	AT概要	必要性を理解し、説明できる	学科教室	2
後期	3～6	増田	藤岡	トルクコンバータ	基本構造、ステータ、性能線図、ロックアップ機構を説明できる	学科教室	4
後期	7～9	増田	藤岡	プラネタリギヤ	基本構造を理解し、ギヤ比の計算ができる	学科教室	3
後期	10,11	増田	藤岡	4速AT　基礎構造	各クラッチ、ブレーキ等の区別ができ、説明できる	学科教室	2
後期	12,13	増田	藤岡	4速AT　構成、機能	構成部品、各機能を理解し、説明できる	学科教室	2
後期	14～17	増田	藤岡	4速AT　各レンジの作動	各レンジでの作動部品を理解し、作動が説明できる	学科教室	4
後期	18	増田	藤岡	復習	日々の内容を想起し、理解不足を把握する	学科教室	1
後期	19	増田	藤岡	国家試験問題	今回の内容国家試験問題を解くことができる	学科教室	1
後期	20.21	増田	藤岡	習熟	今回学んだことを想起し,抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	学科教室	2

2023年度　シャシ電装実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科		2年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	71

	シャシ電装実習ⅡA		シャシ電装実習ⅡB	
教員名 実務経験	河村　成俊 自動車販売店	古川　宰 自動車販売店	増田　靖隆	藤岡　昌平
1.授業概要と履修前提	LSD、4WDについて 車両実習（ﾊﾞﾝﾊﾟｰ,ﾗﾝﾌﾟASSY,内装,ﾄﾞｱﾐﾗｰ脱着）につい 業務教育について		ATについて トルクコンバータ、ATの構造、部品名称について 業務教育について	
2.教科の到達目標	LSD分類、種類、ビスカス作動について説明できる 4WD概要、種類、必要性を説明できる バンパー、シート脱着、ハブボルト交換ができる		ATの構造、作動について説明できる 業務教育を説明できる	
3.使用教科書、準備品	三級シャシ・二級シャシ 自動車整備技術　ｼｬｼ1・4 トヨタサービス 業務テキスト1step＆2step		三級シャシ・二級シャシ 自動車整備技術　ｼｬｼ3 トヨタサービス 業務テキスト1step＆2step	
4.授業時間	後期　38	－　0	後期　31	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	シャシ電装ⅡAの平常試験5%、シャシ電装ⅡBの平常試験5% シャシ電装ⅡAのレポート5%、シャシ電装ⅡBのレポート5% シャシ電装ⅡA及びⅡBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(実習:シャシ電装実習ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～7	河村	古川	LSD	摩擦式、ビスカス、トルセンを説明できる	223	7
後期	8,9	河村	古川	4WD	フリーホイールハブ、インタアクスルデフを説明できる	223	2
後期	10～17	河村	古川	工場経営	電子カタログ、ai21を使用できる	235	8
後期	18～34	河村	古川	ボディー脱着	バンパ、ランプ、内装、ドアミラーが脱着できる	33C	17
後期	35、36	河村	古川	機能確認	LSD、4WDの体験走行による機能確認	34C	2
後期	37	河村	古川	平常試験		学科教室	1
後期	38	河村	古川	習熟	今回学んだことを想起し,抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	学科教室	1

授業計画表(実習:シャシ電装実習ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	増田	藤岡	電子制御機構	各センサー・ソレノイドの区別ができ、必要性を説明できる	学科教室	1
後期	2	増田	藤岡	4速AT　変速線図	自動変速線図を読み取ることができる	学科教室	1
後期	3	増田	藤岡	安全装置	インヒビタスイッチ、急発進防止装置の必要性と作動が説明できる	学科教室	1
後期	4,5	増田	藤岡	トルクコンバータ	実物での作動説明ができる。ロックアップ時の作動説明ができる	212	2
後期	6	増田	藤岡	AT　オイルポンプ	オイルポンプの構造を把握し、クリアランス点検を確実に実施できる	212	1
後期	7	増田	藤岡	AT　外観構造研究	外観より各部品の名称を答えることができる	212	1
後期	8,9	増田	藤岡	AT　分解	安全、確実に分解することができる	212	2
後期	10～12	増田	藤岡	AT　内部構造研究	各部品の名称を把握し、必要性を説明できる	212	3
後期	13～15	増田	藤岡	プラネタリギヤユニ	プラネタリギヤの実物を確認し、作動理解を深める	212	3
後期	16	増田	藤岡	AT　組み付け	安全、確実に組付けをすることができる	212	1
後期	17	増田	藤岡	AT　点検	インヒビタスイッチの構造を理解し、確実に点検を行うことができる	212	1
後期	18～20	増田	藤岡	GWT、4S	各クラッチ、ブレーキが作動不良の場合の作動について	212	3
後期	21,22	増田	藤岡	CVT	構造を理解し、変速作動時の各備品、油圧の変化を説明できる	212	2
後期	23	増田	藤岡	車上点検	車上点検において良否判定ができる。故障部位の推定ができる	34B	1
後期	24,25	増田	藤岡	走行体験	ストールテストを確実に実施でき、良否判定ができる。故障部位の推測ができ	走行確認路	2
後期	26～29	増田	藤岡	電話応対	敬語、電話対応を適切に行うことができる	学科教室	4
後期	30	増田	藤岡	平常試験	学科・実技ペーパー試験、実技試験	学科教室	1
後期	31	増田	藤岡	習熟	今回学んだことを想起し,抜け，漏れ，理解不足を把握し，補う	学科教室	1

2023年度　電気装置Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科		2年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	21

	電気装置ⅡA		電気装置ⅡB	
教員名 実務経験	立山　耕司	與古田　裕樹 自動車販売店	飯田　貴文	官林　佳希 自動車メーカー
1.授業概要と履修前提	自動車エアコンの冷凍サイクルを学ぶ 教科書の実施範囲を事前に読んでおくことが望ましい		パッシブセーフティー 内装、外装ボデー	
2.教科の到達目標	冷凍サイクルの構成部品が分かることによって国家二級の知識が身に付く 冷凍サイクル内の状態が分かることによって国家二級の知識が身に付く		安全装置全般内容を理解し、将来お客様に説明できるようになる 内装、外装ボデーの部品、装置を理解し、説明できる	
3.使用教科書、準備品	2級シャシ		2級シャシ トヨタサービス　1、2STEP	
4.授業時間	後期　12	－　0	後期　8	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている (〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている			
6.評価方法	電装Aの平常試験10%、電装Bの平常試験10% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%			

授業計画表(学科：電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	立山	與古田	エアコン概要	冷房、暖房の概要を理解する	235	1
後期	2～3	立山	與古田	冷房装置概要	冷房の原理を理解する	235	2
後期	4～5	立山	與古田	構成部品	各部品の役目、作動を理解する	235	2
後期	6	立山	與古田	マニュアルエアコン	マニュアル、オートの違いをりかいする	235	1
後期	7～8	立山	與古田	オートエアコン	オートエアコン制御を理解する	235	2
後期	9～11	立山	與古田	復習	国家試験問題が解けるようになる	235	3
後期	12	立山	與古田	平常試験		235	1

授業計画表(学科：電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	飯田	官林	エアバッグ	エアバッグの概要、構成、制御を理解する	236	2
後期	3	飯田	官林	シートベルト	シートベルトの概要、構成、制御を理解する	236	1
後期	4～5	飯田	官林	内装ボデー	シート、アクセサリーソケットの概要、構成、制御を理解する	236	2
後期	6～7	飯田	官林	外装ボデー	ミラー、ドアロックの概要、構成、制御を理解する	236	2
後期	8	飯田	官林	平常試験	得点率が80%以上取れる	236	1

2023年度　電気装置実習Ⅱ シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	75

	電気装置実習ⅡA				電気装置実習ⅡB			
教員名 実務経験	立山　耕司		與古田　裕樹 自動車販売店		飯田　貴文		官林　佳希 自動車メーカー	
1.授業概要と履修前提	冷凍サイクルの状態をを理解し、ゲージマニホールドの取り扱い及び充填方法を学ぶ				パッシブセーフティー 内装、外装ボデー 故障診断			
2.教科の到達目標	ゲージマニホールドの取扱いが出来る クリーンエアフィルタの交換が出来る 冷媒の抜き取り、充填が出来る				車両にて故障診断ができる 診断機や技術マニュアルの取り扱いができる お客様に対して的確な問診ができる			
3.使用教科書、準備品	電気装置2				2級シャシ トヨタサービス1、2STEP			
4.授業時間	後期	30	－	0	後期	43	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	電装実習Aの平常試験5%，電装実習Bの平常試験5% 電装実習Aのレポート5%，電装実習Bのレポート5% 電装AとBの内容を合わせた定期試験80%							

授業計画表(実習：電気装置ⅡA)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～2	立山	與古田	エアコンユニット構成	実車による取り付け位置の確認	34	2
後期	3～4	立山	與古田	冷媒について	互換性、注意事項、点検要領が分かる	34	2
後期	5～6	立山	與古田	ゲージマニホールド	取り扱いが出来る	34	2
後期	7～8	立山	與古田	冷媒回収	回収機が使用できる	34	2
後期	9	立山	與古田	真空引き、気密チェック	必要性が理解できる	34	1
後期	10	立山	與古田	ガス漏れ点検	点検要領を理解する	34	1
後期	11～13	立山	與古田	冷媒充填	作業要領を理解する	34	3
後期	14～15	立山	與古田	クリーンエアフィルタ	交換できる	34	2
後期	16～17	立山	與古田	車両配線	オートエアコン配線を理解する	34	2
後期	18～19	立山	與古田	コンプレッサ	コンプレッサの比較できる	34	2
後期	20～21	立山	與古田	練習	ゲージマニホールド、クリーンエアフィルタ取り扱い	34	2
後期	22～23	立山	與古田	技術チェック	ゲージマニホールド、クリーンエアフィルタ車両取り付け	34	2
後期	24～25	立山	與古田	復習	国家試験対策問題	34	2
後期	26～29	立山	與古田	パワーウィンドウ	レギュレータ脱着	34	4
後期	30	立山		平常試験		235	1

授業計画表(実習：電気装置ⅡB)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～4	飯田	官林	回路理解	回路図をみて各電圧値が予測できる	245	4
後期	5～8	飯田	官林	§1	灯火パネルにて故障診断ができる	34	4
後期	9～12	飯田	官林	§2	灯火パネルにて故障診断ができる	34	4
後期	13～16	飯田	官林	§3	車両にて故障診断ができる(エアバッグ)	34	4
後期	17～20	飯田	官林	§4	車両にて故障診断ができる(ドアロック)	34	4
後期	21～24	飯田	官林	§5	車両にて故障診断ができる(ミラー)	34	4
後期	25～28	飯田	官林	§6	お客様に対して的確な問診ができる	34	4
後期	29～31	飯田	官林	解説	トヨタ検定2級レベルの内容が理解できる	34	3
後期	32～36	飯田	官林	まとめ	レポート課題・授業内容が理解できる	34	5
後期	37～39	飯田	官林	eテスト	得点率が70%以上取れる	236	3
後期	40～42	飯田	官林	技術チェック	得点率が80%以上取れる	34	3
後期	43	飯田	官林	平常試験	得点率が80%以上取れる	236	1

2023年度　法規 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	13

	法規A				法規B			
教員名 実務経験	官林　佳希 自動車メーカー							
1.授業概要と履修前提	道路運送車両法を理解する							
2.教科の到達目標	国家試験問題が解ける							
3.使用教科書、準備品	法令教本（公論出版）							
4.授業時間	前期	12	－	0	前期	0	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	平常試験20% 定期試験80%							

授業計画表(学科：法規A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～11	官林	道路運送車両法		235	11
前期	12	官林	平常試験	得点率が80%以上取れる	235	1

授業計画表(学科：法規B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　法規 シラバス

課程・学年	自動車整備科及び高度自動車科　2年		
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	後期	教科時間計	10

	法規A				法規B			
教員名 実務経験	官林　佳希 自動車メーカー							
1.授業概要と履修前提	保安基準を理解する							
2.教科の到達目標	国家試験問題が解ける							
3.使用教科書、準備品	法令教本（公論出版）							
4.授業時間	後期	9	－	0		0	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている							
6.評価方法	平常試験20％ 定期試験80％							

授業計画表(学科：法規A)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1～8	官林	保安基準	国家試験問題が解けるようになる	235	8
	1	官林	平常試験	得点率が80％以上取れる	235	1

授業計画表(学科：法規B)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間

2023年度　ｴﾝｼﾞﾝ電子制御 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	17

	ｴﾝｼﾞﾝ電子制御	
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー	豆田　千尭
1.授業概要と履修前提	ｴﾝｼﾞﾝ電子制御における各センサ、アクチュエータの構造、作動を詳細まで学び、故障探求ができるまでの基礎作りをする。	
2.教科の到達目標	各センサ、アクチュエータの構造、作動を詳細まで理解し、基礎的な故障探求が回路上で行えるようになる。	
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス技術テキスト　2・3STEP　、1級自動車整備士エンジン編	
4.授業時間	前期　17	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (○)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験(10%)、定期試験(90%)	

授業計画表(学科:ｴﾝｼﾞﾝ電子制御)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	久保田	豆田	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ制御	ｾﾝｻ、ｱｸﾁｭｴｰﾀ、配線、ECUの関係を理解する。	教室	1
前期	2	久保田	豆田	燃料噴射制御(EFI)	EFIﾆ関わるｾﾝｻ・ｱｸﾁｭｴｰﾀの配置や名称を書けるようになる。	教室	1
前期	3	久保田	豆田	進角ｼｽﾃﾑ(ESA)	2級の内容を基に点火時期が移動する要件を知る。	教室	1
前期	4	久保田	豆田	ｱｲﾄﾞﾙ回転制御(ISC)	ｴﾝｼﾞﾝの状況により変化するISC制御の理解。	教室	1
前期	5	久保田	豆田	異常時の制御	ﾌｪｲﾙ、ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟの制御が理解できる	教室	1
前期	6	久保田	豆田	異常時の制御	各ﾌｪｲﾙ制御の詳細が分かる。	教室	1
前期	7	久保田	豆田	ﾀｰﾎﾞﾁｬｰｼﾞｬ	ﾀｰﾎﾞﾁｬｰｼﾞｬｰ・ｳｴｽﾄｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ・ﾀｰﾋﾞﾝ・ｺﾝﾌﾟﾚｯｻの復習	教室	1
前期	8	久保田	豆田	ＶＶＴ－ｉ	始動時、ｱｲﾄﾞﾙ時のVVT－iの制御と目的が理解できる。	教室	1
前期	9	久保田	豆田	ＶＶＴ－ｉ	低回転時、高速回転時のVVT－iの制御と目的が理解できる。	教室	1
前期	10	久保田	豆田	ＴＤＩ	点火指示、確認信号の基本と役割を説明できるようになる。	教室	1
前期	11	久保田	豆田	ｾﾝｻの断線、短絡	水温系統に関し、断線・短絡時の電圧と、フェイルを理解できる。	教室	1
前期	12	久保田	豆田	ｾﾝｻの断線、短絡	ｸﾗﾝｸ系統に関し、断線・短絡時の電圧と、フェイルを理解できる。	教室	1
前期	13	久保田	豆田	ｱｸﾁｭｴｰﾀの断線	TDI系統、インジェクタ系統に関して、断線時電圧とﾌｪｲﾙの理解	教室	1
前期	14	久保田	豆田	ｱｸﾁｭｴｰﾀの短絡	TDI系統、インジェクタ系統に関して、短絡時電圧とﾌｪｲﾙの理解	教室	1
前期	15	久保田	豆田	ＥＣＵ内の不具合	ECU内断線・短絡時の電圧、ﾌｪｲﾙ・故障診断ができる。	教室	1
前期	16～17	久保田	豆田	定期試験		教室	2

2023年度 シャシ電子制御（1）シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	19

	シャシ電子制御（1）	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・トヨタサービス技術検定2級レベル及び一級自動車整備士レベルのオートマチックトランスミッション知識を習得する ・プラネタリギヤユニットの歯数と回転数の証明ができる知識の習得 **☆自動車メーカーでの整備経験者により整備士に必要な構造・作動の知識を身につける**	
2.教科の到達目標	・トヨタA42DL4速オートマチックトランスミッションの1～4速の変速作動（動力伝達経路含む）と変速比計算，各運転状態の制御方法が説明できる ・ホイールアライメントの各要素とそれぞれの役割，異常発生時の現象を予測できる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　第2・3ステップ ・一級自動車整備士（シャシ電子制御）	
4.授業時間	前期　17	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%，定期試験80%	

授業計画表(学科：シャシ電子制御（1））

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	AT	ATのﾄﾙｸｺﾝﾊﾞｰﾀの概要を理解する	523	1
前期	2	伊藤	小林	AT	ATのﾌﾟﾗﾈﾀﾘｷﾞﾔの概要と回転数の関係を理解する	523	1
前期	3	伊藤	小林	AT	ATのﾌﾟﾗﾈﾀﾘｷﾞﾔのｷｬﾘﾔの仮想歯数の証明を理解する	523	1
前期	4	伊藤	小林	AT	ATのﾌﾟﾗﾈﾀﾘｷﾞﾔの各車両状態時のｷﾞﾔの作動を理解する	523	1
前期	5	伊藤	小林	AT	ATのﾌﾟﾗﾈﾀﾘｷﾞﾔの各車両状態時のｷﾞﾔの作動を理解する	523	1
前期	6	伊藤	小林	AT	ATのﾊｲﾄﾞﾛﾘｯｸｺﾝﾄﾛｰﾙの概要と作動制御を理解する	523	1
前期	7	伊藤	小林	AT	ATのECTのしくみの制御ｼｽﾃﾑを理解する	523	1
前期	8	伊藤	小林	AT	ATのﾗｲﾝ油圧制御の制御ｼｽﾃﾑを理解する	523	1
前期	9	伊藤	小林	AT	ATのﾌﾚｯｸｽﾛｯｸｱｯﾌﾟ制御の制御ｼｽﾃﾑを理解する	523	1
前期	10	伊藤	小林	AT	ATの登降坂変速制御の制御ｼｽﾃﾑを理解する	523	1
前期	11	伊藤	小林	AT	ATのECTの故障と点検を理解する	523	1
前期	12	伊藤	小林	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄ	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄの概要のを理解する	523	1
前期	13	伊藤	小林	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄ	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄの働きのｷｬﾝﾊﾞ/ｷｬｽﾀを理解する	523	1
前期	14	伊藤	小林	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄ	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄの働きのｷﾝｸﾞﾋﾟﾝｱﾝｸﾞﾙを理解する	523	1
前期	15	伊藤	小林	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄ	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄの働きのﾄｰｲﾝ/ﾀｰﾆﾝｸﾞﾗｼﾞｱｽを理解する	523	1
前期	16	伊藤	小林	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄ	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄの働きのRｱﾗｲﾒﾝﾄの必要性を理解する	523	1
前期	17	伊藤	小林	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄ	ﾎｲｰﾙｱﾗｲﾒﾝﾄの点検調整の国家一級を理解する	523	1

2023年度 シャシ電子制御実習（1） シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	34

	シャシ電子制御実習（1）	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ATの整備方法と重整備時における安全作業の修得し補修部品を正確に発注できる ・与えられた整備目標に対してグループ内で作業内容や手順を摺り合わせ，少人数内での調整力を養う **☆自動車メーカー，販売店での整備経験者により整備士に必要な構造・作動の知識を身につける**	
2.教科の到達目標	・安全に重整備が実施できる。（安全な作業方法の考案と実施） ・次の作業の流れを考えた整備ができる。（作業手順・段取りなどの後工程を踏まえ，作業内容の工夫ができる）	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト2ステップ　オートマチックトランスミッション ・一級自動車整備士（シャシ電子制御）	
4.授業時間	前期　32	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%，定期試験80%	

授業計画表(実習：シャシ電子制御実習（1）)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の準備の作業時の安全作業を理解する	51実	1
前期	2	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検の各点検作業を理解する	51実	1
前期	3	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検の各点検作業を理解する	51実	1
前期	4	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検の各点検作業を理解する	51実	1
前期	5	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の周辺部品の室内、ﾏﾌﾗｰ取外しを理解する	51実	1
前期	6	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の周辺部品の室内、ﾏﾌﾗｰ取外しを理解する	51実	1
前期	7	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の周辺部品のﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ取外しを理解する	51実	1
前期	8	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ切離しを理解する	51実	1
前期	9	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ切離しを理解する	51実	1
前期	10	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の車両よりAT取外しを理解する	51実	1
前期	11	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の車両よりAT取外しを理解する	51実	1
前期	12	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の車両よりAT取外しを理解する	51実	1
前期	13	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT構造研究の含むﾄﾙｺﾝ単体点検を理解する	51実	1
前期	14	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT構造研究の含むﾄﾙｺﾝ単体点検を理解する	51実	1
前期	15	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の車両にAT組付けを理解する	51実	1
前期	16	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の車両にAT組付けを理解する	51実	1
前期	17	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の車両にAT組付けを理解する	51実	1
前期	18	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄとの接続を理解する	51実	1
前期	19	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄとの接続を理解する	51実	1
前期	20	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のﾄﾞﾗｲﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄとの接続を理解する	51実	1
前期	21	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の周辺部品のﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ組付けを理解する	51実	1
前期	22	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の周辺部品の室内、ﾏﾌﾗｰ組付けを理解する	51実	1
前期	23	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着の周辺部品の室内、ﾏﾌﾗｰ組付けを理解する	51実	1
前期	24	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検の油量調整を理解する	51実	1
前期	25	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検のｽﾄｰﾙ/ﾗｲﾝﾌﾟﾚｯｼｬを理解する	51実	1
前期	26	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検の油圧確認を理解する	51実	1
前期	27	伊藤	小林	A/T脱着	A/T脱着のAT車上点検のﾀｲﾑﾗｸﾞ/走行ﾃｽﾄを理解する	51実	1
前期	28	伊藤	小林	ﾁｰﾑGP	ﾁｰﾑGPのG20056～73を理解する	51実	1
前期	29	伊藤	小林	ﾁｰﾑGP	ﾁｰﾑGPのG20056～73を理解する	51実	1
前期	30	伊藤	小林	ﾁｰﾑGP	ﾁｰﾑGPのG20056～73を理解する	51実	1
前期	31	伊藤	小林	ﾁｰﾑGP	ﾁｰﾑGPのG20056～73のを理解する	51実	1
前期	32	伊藤	小林	片付け	片付けし次の作業がし易い環境を作ることができる	51実	1

2023年度 プレゼンテーション技術 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	
実施期	前期	教科時間計	15

	プレゼンテーション技術	
教員名 実務経験	担任 1	担任 2
1.授業概要と履修前提	・高度自動車科教育の特色の一つである「プレゼンテーション技術」を習得する	
2.教科の到達目標	・文書作成ソフト，表計算ソフトを用いてプレゼンテーションを行うことができる ・プレゼンテーションを実施し，まとめる力を養い発表することができる	
3.使用教科書、準備品	・パソコン	
4.授業時間	前期 15	－ 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート50％、プレゼンテーション50％	

授業計画表(学科:プレゼンテーション技術)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	担任	担任	概要	プレゼンテーションとは何か説明できる	52F	1
前期	2	担任	担任	概要	上手なプレゼンを見てみる	52F	1
前期	3	担任	担任	聴き手の心理	聴き手の心理、気持ちの変化を体験する	52F	1
前期	4	担任	担任	ﾃﾞｰﾀの活用法	ﾃﾞｰﾀを活用できる	52F	1
前期	5	担任	担任	感情の込め方	ｱｲｺﾝﾀｸﾄ/ｼﾞｪｽﾁｬｰができる	52F	1
前期	6	担任	担任	感情の込め方	感情の込め方を理解する	52F	1
前期	7	担任	担任	パワーポイント	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄの取扱いのを理解する	52F	1
前期	8	担任	担任	パワーポイント	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄのﾌﾟﾚｾﾞﾝ資料作成のを理解する	52F	1
前期	9	担任	担任	ロールプレイング	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝのﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞを実施できる	52F	1
前期	10	担任	担任	ロールプレイング	ロールプレイング後に発表資料を改善できる	52F	1
前期	11	担任	担任	発表	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの発表を体験する	52F	1
前期	12	担任	担任	発表	ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝの発表を体験する	52F	1
前期	13	担任	担任	聴講	他人のﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表を聴講する	52F	1
前期	14	担任	担任	聴講	他人のﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表に対して意見を言うことができる	52F	1
前期	15	担任	担任	評価	他人のﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ発表を評価することができる	52F	1

2023年度　英語 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	授業時間計	15

	英語	
教員名 実務経験	外部　講師 専門家	
1.授業概要と履修前提	一般教養科目の一つとして英語を様々な形で学ぶ。 講義形式, グループワーク	
2.教科の到達目標	簡単な日常会話の復習を通して英語の必要性を理解する。 グループワークを通して他者の理解を深める。 カナダ留学、ヨーロッパ研修で活かす。	
3.使用教科書、準備品	オリジナルテキスト(配布)、辞書	
4.授業時間	前期　15	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (△)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (△)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	定期試験100%、リスニングとリーディングで60%以上で合格	

授業計画表(学科：英語)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	外部	外部	必要性と役割	自動車業界の英語の必要性と役割が理解できる	教室	1
前期	2	外部	外部	必要性と役割	自動車業界の英語の必要性と役割が理解できる	教室	1
前期	3	外部	外部	自動車用語（英語）	欧米式の自動車用語意味と使い分けが分かる。	教室	1
前期	4	外部	外部	自動車用語（英語）	欧米式の自動車用語意味と使い分けが分かる。	教室	1
前期	5	外部	外部	英会話の基礎	挨拶ができ、目を見て話せる。	教室	1
前期	6	外部	外部	英会話の基礎	自己紹介、出身、趣味などを相手に伝えられる。	教室	1
前期	7	外部	外部	英会話の基礎	学校での勉強に関し英語で説明できる。	教室	1
前期	8	外部	外部	英会話の基礎	海外での入国審査、飛行機内での英語が理解できる。	教室	1
前期	9	外部	外部	英会話の基礎	海外での入国審査、飛行機内での英語が理解できる。	教室	1
前期	10	外部	外部	英会話の基礎	ホームステイやレストランでの会話をおおむね理解する。	教室	1
前期	11	外部	外部	英会話を利用したCS	お客様に英語対応する手法を学ぶ。	教室	1
前期	12	外部	外部	英会話を利用したCS	お客様に英語対応する手法を学ぶ。	教室	1
前期	13	外部	外部	英会話を利用したCS	お車のトラブルを英語で説明できる。	教室	1
前期	14	外部	外部	英会話を利用したCS	代金清算や請求などを伝えられるようになる。	教室	1
前期	15	外部	外部	英会話を利用したCS	簡単なトラブルや部品注文	教室	1
				定期試験		教室	1

2023年度　応用計測実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	34

	応用計測実習			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	ｴﾝｼﾞﾝやｼｬｼ系の観測や故障探求に欠かせない、各種計測器や故障診断装置に関し、取り扱いを通して学ぶ。			
2.教科の到達目標	各機器の基本的な使用方法をマスターし、1人で接続から波形観測、付属機能までを使えるようになる。			
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス工具・計測器編、各装置説明書（紙・またはVドライブ内pdfファイル）			
4.授業時間	前期	34	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけて (〇) いる (△)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基			
6.評価方法	レポート点10%,定期試験90%			

授業計画表(実習:応用計測実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	久保田	豆田	TaSCANの取り扱い	DGｺｰﾄﾞ出力及び消去ができる。		1
前期	2	久保田	豆田	TaSCANの取り扱い	ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀ出力ができ、内容を理解できる。		1
前期	3	久保田	豆田	TaSCANの取り扱い	ECUﾃﾞｰﾀ出力をして、各ﾃﾞｰﾀが何を指すのかが分かる。		1
前期	4	久保田	豆田	TaSCANの取り扱い	ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄの実施ができる、実行できない条件も学ぶ。		1
前期	5	久保田	豆田	TaSCANの取り扱い	DGﾓｰﾄﾞ選択ができる。		1
前期	6	久保田	豆田	TaSCANの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、2現象まで測定。		1
前期	7	久保田	豆田	GTSの取り扱い	DGｺｰﾄﾞ出力及び消去ができる。		1
前期	8	久保田	豆田	GTSの取り扱い	ﾌﾘｰｽﾞﾌﾚｰﾑﾃﾞｰﾀ出力ができ、内容を理解できる。		1
前期	9	久保田	豆田	GTSの取り扱い	ECUﾃﾞｰﾀ出力をして、各ﾃﾞｰﾀが何を指すのかが分かる。		1
前期	10	久保田	豆田	GTSの取り扱い	ｱｸﾃｨﾌﾞﾃｽﾄの実施ができる、実行できない条件も学ぶ。		1
前期	11	久保田	豆田	GTSの取り扱い	DGﾓｰﾄﾞ選択ができる。		1
前期	12	久保田	豆田	GTSの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、４現象まで測定。		1
前期	13	久保田	豆田	GTSの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、４現象まで測定。		1
前期	14	久保田	豆田	GTSの取り扱い	汎用計測ﾏﾙﾁﾃｽﾀ/ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟを使用し、４現象まで測定。		1
前期	15	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	8855の取り扱いを学ぶ		1
前期	16	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	8855で波形観測までできる		1
前期	17	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	8807の取り扱いを学ぶ		1
前期	18	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	8807で波形観測までできる。		1
前期	19	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	8855、8807でｱﾅﾛｸﾞとﾛｼﾞｯｸのどちらの波形も出せる。		1
前期	20	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ取り、点火・噴射・ｸﾗﾝｸ・ｶﾑ角の信号を出力		1
前期	21	久保田	豆田	ﾒﾓﾘｰﾊｲｺｰﾀﾞ取り扱い	ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ取り、点火・噴射・ｸﾗﾝｸ・ｶﾑ角の信号を出力		1
前期	22	久保田	豆田	チームＧＰ	Ｇ２０００１～Ｇ２０００５		1
前期	23	久保田	豆田	チームＧＰ	Ｇ２０００１～Ｇ２０００５		1
前期	24	久保田	豆田	チームＧＰ	Ｇ２０２７０～Ｇ２０２７１		1
前期	25	久保田	豆田	チームＧＰ	Ｇ２０２７０～Ｇ２０２７１		1
前期	26	久保田	豆田	ｼﾘﾝﾀﾞ計測習熟	計測作業		1
前期	27	久保田	豆田	ｼﾘﾝﾀﾞ計測習熟	計測作業		1
前期	28	久保田	豆田	ｼﾘﾝﾀﾞ計測習熟	計測作業		1
前期	29	久保田	豆田	ｼﾘﾝﾀﾞ計測習熟	計測作業		1
前期	30	久保田	豆田		定期試験		2
前期	31	久保田	豆田		解答公開		1
前期	32	久保田	豆田		準備・片付け		2
							34

2023年度　基礎数学 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	18

	基礎数学	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・力学を学ぶ上で必要な数学の基礎を学ぶ	
2.教科の到達目標	・2次関数，三角比，三角関数，指数・対数，微分積分の基本的解法を身に付ける ・速度，加速度，距離の相関関係を理解する	
3.使用教科書、準備品	・1,2年次「工学のための基礎数学」テキスト ・関数電卓	
4.授業時間	前期　16	－
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験10% 定期試験90% 合計で60%以上取得すること	

授業計画表(学科：基礎数学)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	関数	関数とは何かを理解する	教室	1
前期	2	伊藤	小林	2次関数	2次関数とは何かを理解する。様々な面積を2次関数で求め	教室	1
前期	3	伊藤	小林	三角関数	正弦、余弦、正接を直角三角形を使って理解する	教室	1
前期	4	伊藤	小林	三角関数	度数法、弧度法、扇形の面積を求めることができる	教室	1
前期	5	伊藤	小林	指数関数	指数の定義、指数法則を理解する	教室	1
前期	6	伊藤	小林	指数関数	累乗根や有理数の計算をすることができる	教室	1
前期	7	伊藤	小林	対数関数	対数の必要性を理解できる。指数と対数の定義を理解する	教室	1
前期	8	伊藤	小林	対数関数	対数の性質を理解する。常用対数表から数値を読み取る	教室	1
前期	9	伊藤	小林	微分積分	平均変化率、極限を理解する。微分の計算ができる	教室	1
前期	10	伊藤	小林	微分積分	不定積分、定積分の計算ができる	教室	1
前期	11	伊藤	小林	点の運動	位置、速度、加速度を理解する。放物線運動が計算できる	教室	1
前期	12	伊藤	小林	点の運動	円運動、角速度、角加速度、周速度、法線加速度を理解する	教室	1
前期	13	伊藤	小林	練習問題	2次関数、三角関数、指数関数、対数関数の計算ができる	教室	1
前期	14	伊藤	小林	練習問題	微分積分、点の運動の計算問題ができる	教室	1
前期	15	伊藤	小林	平常試験	平常試験で70%以上の点数を取る	教室	1
前期	16	伊藤	小林	解答公開		教室	1

2023年度　診断機・測定機器 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	19

	診断機・測定機器			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	・外部診断機（GTS、TaSCAN、メモリハイコーダ）の取扱い ・データ解析（PC2000pro）の要領取得 **☆自動車メーカーでの整備経験者により整備士に必要な構造・作動の知識を身につける**			
2.教科の到達目標	・車載故障診断機の仕組みを理解する ・外部診断機の機能、取り扱いを習得する ・取得データを利用した故障診断ができる			
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　3STEP ・トヨタサービス　技術テキスト　工具、計測器、整備機器編			
4.授業時間	前期	17	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験（10%）、定期試験（90%）、で、合計60%以上で合格			

授業計画表(学科：診断機・測定機器)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	車載故障診断機の概要	541	1
前期	2	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	ダイアグノーシス	541	1
前期	3	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	新ダイアグノーシス	541	1
前期	4	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	新ダイアグノーシス	541	1
前期	5	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	新ダイアグ（J-OBDⅡ）	541	1
前期	6	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	新ダイアグ（J-OBDⅡ）	541	1
前期	7	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	ECU端子電圧	541	1
前期	8	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの機能	541	1
前期	9	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの操作	541	1
前期	10	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの操作	541	1
前期	11	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの操作	541	1
前期	12	久保田	豆田	外部診断器(GTS)	GTSの概要	541	1
前期	13	久保田	豆田	外部診断器(GTS)	GTSの取り扱い	541	1
前期	14	久保田	豆田	メモリハイコーダ	特徴/取り扱い	541	1
前期	15	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの応用操作	541	1
前期	16	久保田	豆田	外部診断器(TaSCAN)	TaSCANの応用操作	541	1
前期	17	久保田	豆田	解答公開		541	1

2023年度　総合診断（1）シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	前期	授業時間計	15

	総合診断（1）	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	・就職活動時の基本的な社会人マナーを習得する ・電子技術マニュアル、電子カタログの検索能力を向上する	
2.教科の到達目標	・電子技術マニュアル（新型解説資料・修理書・配線図・艤装図）の取扱いができるようになる ・電子カタログ（UOEによる部品発注業務を除く）の取扱いができるようになる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス業務テキスト　第1ステップ　・トヨタサービス技術テキスト　導入教育編 ・PC	
4.授業時間	前期　15	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている	
	(〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている	
	・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている	
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート70％ eTest60%	

授業計画表(学科：総合診断（1））

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	金子	加藤	配線図1	配線図の基本構造について人に説明できる	教室	1
前期	2	金子	加藤	配線図2	配線図(概要)のプレeTEST(小テスト)80%	教室	1
前期	3	金子	加藤	配線図3	配線図の回路図の意味と見方を説明できる	教室	1
前期	4	金子	加藤	配線図4	配線図の艤装図の意味と見方を説明できる	教室	1
前期	5	金子	加藤	配線図5	配線図(見方)のプレeTEST(小テスト)80%	教室	1
前期	6	金子	加藤	電子技術マニュアル1	解説書を参考にお客様からの質問課題に回答できる①	教室	1
前期	7	金子	加藤	電子技術マニュアル2	解説書を参考にお客様からの質問課題に回答できる②	教室	1
前期	8	金子	加藤	電子技術マニュアル3	修理書を参考に整備に必要な事前知識を調べることができる①	教室	1
前期	9	金子	加藤	電子技術マニュアル4	修理書を参考に整備に必要な事前知識を調べることができる②	教室	1
前期	10	金子	加藤	電子技術マニュアル5	修理書を参考に整備に必要な事前知識を調べることができる③	教室	1
前期	11	金子	加藤	電子パーツカタログ1	電子カタログで部品の価格を検索できる	CAI	1
前期	12	金子	加藤	電子パーツカタログ2	電子カタログで部品を検索できる	CAI	1
前期	13	金子	加藤	電子パーツカタログ3	電子カタログの演習問題を解くことができる	CAI	1
前期	14	金子	加藤	電子パーツカタログ4	電子カタログの演習問題を解くことができる	CAI	1
前期	15	金子	加藤	TEAM-GP eTEST	eTESTの結果70点以上	教室	1

2023年度 総合診断実習（2）シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	1
実施期	前期	授業時間計	32

	総合診断実習(2)			
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー		加藤　直人	
1.授業概要と履修前提	各種の電子制御を理解するために、マイコン、プログラミング、電子工学の基礎的な知識を履修する。			
2.教科の到達目標	マイコンを使用した入出力回路が理解できる プログラミングの基礎が理解できる ブレッドボードを使用した電子工作ができる。			
3.使用教科書、準備品	振興会一級テキスト　エンジン電子制御＆シャシ電子制御			
4.授業時間	前期	32	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート 定期試験			

授業計画表(実習:総合診断実習(2))

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	金子	加藤	リニア信号センサ	可変抵抗を使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	2	金子	加藤	リニア信号センサ	可変抵抗を使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	3	金子	加藤	リニア信号センサ	可変抵抗を使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	4	金子	加藤	リニア信号センサ	光センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	5	金子	加藤	リニア信号センサ	光センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	6	金子	加藤	リニア信号センサ	光センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	7	金子	加藤	リニア信号センサ	距離センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	8	金子	加藤	リニア信号センサ	距離センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	9	金子	加藤	リニア信号センサ	距離センサを使用した信号入力回路が理解できる	教室	1
前期	10	金子	加藤	アクチュエータ	FETを使用した出力回路が理解できる	教室	1
前期	11	金子	加藤	アクチュエータ	FETを使用した出力回路が理解できる	教室	1
前期	12	金子	加藤	アクチュエータ	FETを使用した出力回路が理解できる	教室	1
前期	13	金子	加藤	アクチュエータ	FETを使用した出力回路が理解できる	教室	1
前期	14	金子	加藤	アクチュエータ	FETを使用した出力回路が理解できる	教室	1
前期	15	金子	加藤	センサとモータ	光センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	16	金子	加藤	センサとモータ	光センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	17	金子	加藤	センサとモータ	光センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	18	金子	加藤	センサとモータ	可変抵抗との組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	19	金子	加藤	センサとモータ	可変抵抗との組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	20	金子	加藤	センサとモータ	可変抵抗との組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	21	金子	加藤	アクチュエータ	距離センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	22	金子	加藤	アクチュエータ	距離センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	23	金子	加藤	アクチュエータ	距離センサとの組み合わせ回路が理解できる	教室	1
前期	24	金子	加藤	IC回路	モータドライバICを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
前期	25	金子	加藤	IC回路	モータドライバICを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
前期	26	金子	加藤	IC回路	モータドライバICを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
前期	27	金子	加藤	IC回路	モータドライバICを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
前期	28	金子	加藤	IC回路	モータドライバICを使用してブラシモータを駆動できる	教室	1
前期	29	金子	加藤	IC回路	ブラシモータをPWM駆動できる	教室	1
前期	30	金子	加藤	IC回路	ブラシモータをPWM駆動できる	教室	1
前期	31	金子	加藤	チームGPIC回路	G20254～G20255	教室	1
前期	32	金子	加藤	試験		教室	1

2023年度　電気電子工学 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	20

	電気電子工学	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	各種の電子制御を理解するために、マイコン、プログラミング、電子工学の基礎的な知識を履修する。	
2.教科の到達目標	マイコンを使用した入出力回路が理解できる プログラミングの基礎が理解できる ブレッドボードを使用した電子工作ができる。	
3.使用教科書、準備品	振興会一級テキスト　エンジン電子制御＆シャシ電子制御	
4.授業時間	前期　20	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験、定期試験（ともに筆記試験）	

授業計画表(学科：電気電子工学)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	2	金子	加藤	1.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎	Scratch言語を理解する	教室	2
前期	3	金子	加藤	1.ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ基礎	Scratch言語を理解する	教室	1
前期	4	金子	加藤	2.ﾏｲｺﾝ基礎	マイコンボード（Arduino）を理解する	教室	1
前期	5	金子	加藤	3.ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（LED点灯回路を理解する）	教室	1
前期	6	金子	加藤	3.ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（LED点灯回路を理解する）	教室	1
前期	7	金子	加藤	3.ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（LED点灯回路を理解する）	教室	1
前期	9	金子	加藤	3.ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（LED点灯回路を理解する）	教室	2
前期	11	金子	加藤	3.ｱｸﾁｭｴｰﾀ	アクチュエータ（LED点灯回路を理解する）	教室	2
前期	13	金子	加藤	4. 論理信号ｾﾝｻ	ハイアクティブ回路を理解する	教室	2
前期	15	金子	加藤	4. 論理信号ｾﾝｻ	ハイアクティブ回路を理解する	教室	2
前期	17	金子	加藤	4. 論理信号ｾﾝｻ	ローアクティブ回路を理解する	教室	2
前期	19	金子	加藤	定期試験		教室	2
前期	20	金子	加藤	解答公開		教室	1

2023年度　品質管理 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	17

	品質管理	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	品質管理の考え方や取り組み方を学ぶことで、問題意識をもって行動し解決できる人材の育成 課題設定能力や問題解決能力の養成	
2.教科の到達目標	自ら課題設定や解決ができ卒業研究や、普段の授業管理などで活用できる 就職後、職場でのサービス品質の向上、業務改善などで活用できる	
3.使用教科書、準備品	配布プリント 関数電卓	
4.授業時間	前期　16	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験10% 定期試験90% 合計60%以上取得すること	

授業計画表(学科：品質管理)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	1. 品質管理の概要	企業の役割が理解できる	542	1
前期	2	伊藤	小林	1. 品質管理の概要	品質管理の定義が理解できる	542	1
前期	3	伊藤	小林	2. 品質の考え方	目標・企画・製造・使用品質が理解できる	542	1
前期	4	伊藤	小林	3. 管理	管理ｻｲｸﾙを理解できる	542	1
前期	5	伊藤	小林	3. 管理	標準化を理解できる	542	1
前期	6	伊藤	小林	4. 改善	生産の4要素を理解できる	542	1
前期	7	伊藤	小林	4. 改善	改善活動(QCｻｰｸﾙ)を理解できる	542	1
前期	8	伊藤	小林	4. 改善	QC的な考え方を理解できる	542	1
前期	9	伊藤	小林	5. ﾃﾞｰﾀ処理	データ処理の目的を理解できる	542	1
前期	10	伊藤	小林	5. ﾃﾞｰﾀ処理	ﾁｪｯｸｼｰﾄ/ﾊﾟﾚｰﾄ図を作成できる	542	1
前期	11	伊藤	小林	5. ﾃﾞｰﾀ処理	特性要因図/散布図を作成できる	542	1
前期	12	伊藤	小林	5. ﾃﾞｰﾀ処理	度数分布/管理図を作成できる	542	1
前期	13	伊藤	小林	5. ﾃﾞｰﾀ処理	正規分布について理解できる	542	1
前期	14	伊藤	小林	5. ﾃﾞｰﾀ処理	ﾋｽﾄｸﾞﾗﾑの作成・不良率の計算ができる	542	1
前期	15	伊藤	小林	6. 平常試験		542	1
前期	16	伊藤	小林	解答公開		542	1

2023年度 ｴﾝｼﾞﾝ故障診断実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	37

	ｴﾝｼﾞﾝ故障診断実習			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	・単体エンジンを用いてTCCSシステムエンジンにおける故障診断技術を学ぶ			
2.教科の到達目標	・故障診断の基礎（基本DTCあり）を身につけ、生かせるように訓練する ・フローチャート作成を実施し故障診断のテクニックを身に着ける ・プレゼンテーションを実施し、まとめる力と発表する話術や資料整理のテクニックを学ぶ			
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御、　・トヨタサービス　2～4STEP ・テスタ（ピンリードやミノムシ必須）、工具 ・電子技術マニュアル等（PCは必須）			
4.授業時間	前期	35	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート点（10%）、プレゼン能力（10%）定期試験（80%）、で、合計60%以上で合格			

授業計画表(実習：ｴﾝｼﾞﾝ故障診断実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	久保田	豆田	1.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	1
前期	2	久保田	豆田	1.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	1
前期	3	久保田	豆田	1.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	1
前期	4	久保田	豆田	1.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	1
前期	5	久保田	豆田	2.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	1
前期	6	久保田	豆田	2.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調の原因を探せる。	実習場	1
前期	7	久保田	豆田	3.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（旧1G）	実習場	1
前期	8	久保田	豆田	3.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（旧1G）	実習場	1
前期	9	久保田	豆田	4.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ラフアイドル	実習場	1
前期	10	久保田	豆田	4.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ラフアイドル	実習場	1
前期	11	久保田	豆田	5.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
前期	12	久保田	豆田	5.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
前期	13	久保田	豆田	6.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
前期	14	久保田	豆田	6.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
前期	15	久保田	豆田	7.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（TDI）	実習場	1
前期	16	久保田	豆田	7.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可（TDI）	実習場	1
前期	17	久保田	豆田	8.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
前期	18	久保田	豆田	8.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
前期	19	久保田	豆田	9.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
前期	20	久保田	豆田	9.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
前期	21	久保田	豆田	10.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	アイドル不調	実習場	1
前期	22	久保田	豆田	10.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	アイドル不調	実習場	1
前期	23	久保田	豆田	11.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
前期	24	久保田	豆田	11.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	エンジン不調	実習場	1
前期	25	久保田	豆田	12.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動困難（すぐとまる）	実習場	1
前期	26	久保田	豆田	12.DG別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動困難（すぐとまる）	実習場	1
前期	27	久保田	豆田	プレゼンテーション準備	発表用パワーポイントを作成する、（現象、回路図、不具合、	実習場	1
前期	28	久保田	豆田	プレゼンテーション準備	発表用パワーポイントを作成する、（現象、回路図、不具合、	実習場	1
前期	29	久保田	豆田	プレゼンテーション準備	発表用パワーポイントを作成する、（現象、回路図、不具合、	実習場	1
前期	30	久保田	豆田	プレゼンテーション準備	発表用パワーポイントを作成する、（現象、回路図、不具合、	実習場	1
前期	31	久保田	豆田	プレゼンテーション	聴講者が理解できるプレゼンを行う、5段階評価	実習場	1
前期	32	久保田	豆田	プレゼンテーション	聴講者が理解できるプレゼンを行う、5段階評価	実習場	1
前期	33	久保田	豆田	G20286、G20301～G20303	チームgp	実習場	3
				定期試験		実習場	2
				準備・片付け		実習場	2

2023年度　故障診断技術 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	20

	故障診断技術			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	・故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。			
2.教科の到達目標	・故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする			
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　3・4STEP			
4.授業時間	前期	18	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験(10%)、定期試験(90%)、で、合計60%以上で合格			

授業計画表(学科：故障診断技術)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1～2	久保田	豆田	1. 故障探求の基本	故障診断の基本と故障診断の進め方	教室	2
前期	3～4	久保田	豆田	2. 故障探求の手順	故障探求の手順、現象の確認	教室	2
前期	5	久保田	豆田	2. 故障探求の手順	現象の確認と再現、不具合原因の推定	教室	1
前期	6	久保田	豆田	2. 故障探求の手順	推定個所の点検と原因の発見、再発防止	教室	1
前期	7	久保田	豆田	2. 故障探求の手順	ｴﾝｼﾞﾝでの故障診断とﾀﾞｲｱｸﾞﾉｰｼｽ	教室	1
前期	8	久保田	豆田	3. エンジン始動困難	始動困難での作業の流れ	教室	1
前期	9	久保田	豆田	3. エンジン始動困難	ｸﾗﾝｷﾝｸﾞ点検からの作業	教室	1
前期	10	久保田	豆田	3. エンジン始動困難	ﾀﾞｲｱｸﾞﾉｰｼｽ有りからの作業の流れ	教室	1
前期	11	久保田	豆田	3. エンジン始動困難	ｸﾗﾝｷﾝｸﾞ有りからの作業の流れ	教室	1
前期	12	久保田	豆田	4. アイドル不調	ｱｲﾄﾞﾙ不調の状況確認	教室	1
前期	13	久保田	豆田	4. アイドル不調	ﾗﾌｱｲﾄﾞﾙでの作業の流れ	教室	1
前期	14	久保田	豆田	4. アイドル不調	ｱｲﾄﾞﾙ回転数不良での作業の流れ	教室	1
前期	15	久保田	豆田	5. エンスト	エンストでの作業の流れ	教室	1
前期	16	久保田	豆田	5. エンスト	FFDの活用とECUﾃﾞｰﾀの活用	教室	1
前期	17	久保田	豆田	6. 息つき	各項目に関し、理解ができるようになる。	教室	1
前期	18			解答公開		教室	1

2023年度　工業力学 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	教科時間計	17

	工業力学	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・力学分野の基礎としての学習 ・物の考え方や，物を証明する切り口を増やし，視野を広げる。	
2.教科の到達目標	・文字列が何を表しているかを分かるようになる。 ・配布問題のレベルを習得する。 ・各内容の使い所を理解する。	
3.使用教科書、準備品	・基礎数学の資料 ・関数電卓	
4.授業時間	前期　16	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験(10%)、定期試験(90%)、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科：工業力学)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	1.力/ﾍﾞｸﾄﾙ	力/ﾍﾞｸﾄﾙを理解する	教室	1
前期	2	伊藤	小林	2.力の合成と分解	力の合成と分解を理解する	教室	1
前期	3	伊藤	小林	3.着力点の異なる合力	着力点の異なる合力を理解する	教室	1
前期	4	伊藤	小林	4.ﾓｰﾒﾝﾄ/偶力	ﾓｰﾒﾝﾄ/偶力を理解する	教室	1
前期	5	伊藤	小林	5.重心	重心を理解する	教室	1
前期	6	伊藤	小林	5.重心	重心の計算ができる	教室	1
前期	7	伊藤	小林	6.直線、円、放物運動	直線、円運動を理解する	教室	1
前期	8	伊藤	小林	6.直線、円、放物運動	放物線運動を理解する	教室	1
前期	9	伊藤	小林	7.運動と力	運動と力を理解する	教室	1
前期	10	伊藤	小林	8.遠心力と向心力	遠心力を理解する	教室	1
前期	11	伊藤	小林	8.遠心力と向心力	向心力を理解する	教室	1
前期	12	伊藤	小林	9.運動方程式	運動方程式を理解する	教室	1
前期	13	伊藤	小林	9.運動方程式	運動方程式が計算できる	教室	1
前期	14	伊藤	小林	10.仕事とｴﾈﾙｷﾞｰ	仕事とｴﾈﾙｷﾞｰを理解する	教室	1
前期	15	伊藤	小林	11.平常試験	平常試験で履修度を判断する	教室	1
前期	16	伊藤	小林	定期試験	定期試験で履修度を判断する	教室	1

2023年度 自動車検査・検査機器 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	教科時間計	20

	自動車検査・検査機器	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・点検に当たっての正しい知識を得る，トヨタサービス技術2級レベルのホイールアライメント知識の復習 ・説明資料をまとめ、その内容を相手に理解しやすいよう教えるスキルを身に付ける **☆自動車メーカーでの整備経験者により,専門知識を身につける**	
2.教科の到達目標	・自動車の点検整備の目的などの理解を深め、指定整備記録簿の記入方法を理解する ・自家用乗用車の各装置の点検のポイント，劣化のメカニズム，メンテナンスの必要性を理解する ・ホイールアライメントの各要素とそれぞれの役割，異常発生時の現象を予測できる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト導入教育編 ・トヨタ営業サービステキスト新ここが知りたい ・自動車整備士法令教本　，　教育用メンテナンスノート	
4.授業時間	前期　18	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート40%，定期試験（発表）60%	

授業計画表(学科：自動車検査・検査機器)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	点検要領	点検要領の点検・検査の概要の目的,実施時期を理解する	教室	1
前期	2	伊藤	小林	点検要領	点検要領の点検・検査の概要のｼﾋﾞｱｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝを理解する	教室	1
前期	3	伊藤	小林	点検要領	点検要領の原動機のｵｲﾙを理解する	教室	1
前期	4	伊藤	小林	点検要領	点検要領の原動機のﾍﾞﾙﾄ,LLCを理解する	教室	1
前期	5	伊藤	小林	点検要領	点検要領の制動装置のﾌﾙｰﾄﾞ,ｶｯﾌﾟを理解する	教室	1
前期	6	伊藤	小林	点検要領	点検要領の制動装置のﾊﾟｯﾄﾞ,ﾗｲﾆﾝｸﾞ,PKBを理解する	教室	1
前期	7	伊藤	小林	点検要領	点検要領の走行装置のﾎｲｰﾙﾍﾞｱﾘﾝｸﾞを理解する	教室	1
前期	8	伊藤	小林	点検要領	点検要領の走行装置のﾀｲﾔを理解する	教室	1
前期	9	伊藤	小林	点検要領	点検要領の緩衝装置のｼｮｯｸｱﾌﾞｿｰﾊﾞを理解する	教室	1
前期	10	伊藤	小林	点検要領	点検要領の舵取り装置のﾍﾞﾙﾄ,ﾎﾟﾝﾌﾟを理解する	教室	1
前期	11	伊藤	小林	点検要領	点検要領の電気装置のﾊﾞｯﾃﾘを理解する	教室	1
前期	12	伊藤	小林	点検要領	点検要領の灯火装置のﾍｯﾄﾞﾗﾝﾌﾟを理解する	教室	1
前期	13	伊藤	小林	点検要領	点検要領のその他の装置のﾜｲﾊﾟｰ,ｳｫｯｼｬｰを理解する	教室	1
前期	14	伊藤	小林	練習問題	練習問題の点検要領の試験問題を理解する	教室	1
前期	15	伊藤	小林	練習問題	練習問題の点検要領の試験問題を理解する	教室	1
前期	16	伊藤	小林	定期試験	定期試験で履修度を判断する	教室	1
前期	17	伊藤	小林	定期試験	定期試験で履修度を判断する	教室	1
前期	18	伊藤	小林	解答公開		教室	1

2023年度　心理学概論 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	前期	授業時間計	16

	心理学概論			
教員名 実務経験	波多野　佑樹 専門家		0	
1.授業概要と履修前提	心理学を通じ、お客様や職場での人間関係を円滑にすることを学ぶ。			
2.教科の到達目標	心理学の基本と種類を理解し、自身の心理と相手の心理を理解できるようになる。			
3.使用教科書、準備品	配布テキスト			
4.授業時間	前期	16	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(△)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(△)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(学科：心理学概論)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	波多野	心理学概論	心理学の基礎が理解できる。		1
前期	2	波多野	心理学概論	心理学とは？が説明できる。		1
前期	3	波多野	心理学概論	心理学がどのようなところで使われるのか。		1
前期	4	波多野	発達心理学・創造性開発	発達心理の基礎を理解する1		1
前期	5	波多野	発達心理学・創造性開発	発達心理の基礎を理解する2		1
前期	6	波多野	発達心理学・創造性開発	発達心理の基礎を理解する3		1
前期	7	波多野	臨床心理学・健康心理学	臨床心理学とは		1
前期	8	波多野	臨床心理学・健康心理学	臨床心理学・健康心理学の違い。		1
前期	9	波多野	臨床心理学・健康心理学	臨床心理学・健康心理学を理解する。		1
前期	10	波多野	人格心理学	人格心理学とは1		1
前期	11	波多野	人格心理学	人格心理学とは2		1
前期	12	波多野	人格心理学	人格心理学とは3		1
前期	13	波多野	社会心理学・教育心理学	社会心理学と教育心理学		1
前期	14	波多野	社会心理学・教育心理学	社会心理学と教育心理学の違いを理解する。		1
前期	15	波多野	定期試験			1
前期	16	波多野	解答公開			1

2023年度 整備機器・検査実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	前期	教科時間計	32

	整備機器・検査実習			
教員名 実務経験	伊藤　亮		小林　治彦	
			自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・整備機器の取り扱いを取扱説明書及び現物で理解できる能力の育成,パソコンにて資料の作成方法の修得 ・就職後，後輩や新人に教えることを想定した説明能力の育成 **☆自動車ﾒｰｶｰ及び販売店での整備経験者により、実践技能を学ぶ**			
2.教科の到達目標	・後輩や新人に対して，適切に指導及び教育ができる ・授業で使用する機器の取り扱いができ，各自が必要に応じて適時使用できる			
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト工具計測機器，整備機器編 ・手持ち工具			
4.授業時間	前期	32	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート40%，定期試験(プレゼン)60%			

授業計画表(実習:整備機器・検査実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	伊藤	小林	整備機器取り扱い	準備	51	1
前期	2	伊藤	小林	整備機器取り扱い	準備	51	1
前期	3	伊藤	小林	整備機器取り扱い	準備	51	1
前期	4	伊藤	小林	整備機器取り扱い	準備	51	1
前期	5	伊藤	小林	整備機器取り扱い	準備	51	1
前期	6	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	7	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	8	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	9	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	10	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	11	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	12	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	13	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	14	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	15	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	16	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	17	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	18	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	19	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	20	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	21	伊藤	小林	整備機器	使い方説明	51	1
前期	22	伊藤	小林	整備機器	習熟	51	1
前期	23	伊藤	小林	整備機器	習熟	51	1
前期	24	伊藤	小林	整備機器	習熟	51	1
前期	25	伊藤	小林	整備機器	習熟	51	1
前期	26	伊藤	小林	整備機器	習熟	51	1
前期	27	伊藤	小林	整備機器	取扱いマニュアル作成	51	1
前期	28	伊藤	小林	整備機器	取扱いマニュアル作成	51	1
前期	29	伊藤	小林	整備機器	取扱いマニュアル作成	51	1
前期	30	伊藤	小林	整備機器	取扱いマニュアル作成	51	1
前期	31	伊藤	小林	整備機器取り扱い	片付け	51	1
前期	32	伊藤	小林	整備機器取り扱い	片付け	51	1

2023年度　電装品電子制御 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	33

	電装品電子制御	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	・エアコンとオルタネータ(ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ技術ﾃｷｽﾄ3STEP),テスタの知識(国家一級) ・国家2級及び2stepまでのオルタネータ及びマニュアルエアコンの構造作動を理解していること	
2.教科の到達目標	・トヨタ検定問題(オルタネータ、エアコン)を解くことができる。 ・SCオルタネータ、充電制御システム、スマートストップを説明できる。 ・エジェクタサイクル、ガスインジェクションヒートポンプについて説明できる。 ・デジタルサーキットテスタの性能、理論値と計測値(表示値)の違いを理解でき、それに伴う諸計算ができる。	
3.使用教科書、準備品	・PC　　・技術テキスト3STEP ・国家一級エンジン電子制御　　・関数電卓	
4.授業時間	前期　31	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (○)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%(eTest)、定期試験80%	

授業計画表(学科:電装品電子制御)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	金子	加藤	オートエアコン1	ｵｰﾄｴｱｺﾝの概要を理解する	523	1
前期	2	金子	加藤	オートエアコン2	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御のTAOについて理解する	523	1
前期	3	金子	加藤	オートエアコン3	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御の吹き出し口温度制御を理解する	523	1
前期	4	金子	加藤	オートエアコン4	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御の風量制御のを理解する	523	1
前期	5	金子	加藤	オートエアコン5	ｵｰﾄｴｱｺﾝ制御の吹き出し口切り替え制御のを理解する	523	1
前期	6	金子	加藤	オートエアコン6	ﾆｭｰﾗﾙﾈｯﾄﾜｰｸ制御を理解する	523	1
前期	7	金子	加藤	オートエアコン7	国家1級のエアコンに関わる問題が解けるようになる	523	1
前期	8	金子	加藤	オートエアコン8	eTest(オートエアコン部門)で80点以上得点する	523	1
前期	9	金子	加藤	オルタネータ1	オルタネータの基本作動を想起する1	523	1
前期	10	金子	加藤	オルタネータ2	オルタネータの基本作動を想起する2	523	1
前期	11	金子	加藤	オルタネータ3	オルタネータの基本作動を想起する3	523	1
前期	12	金子	加藤	オルタネータ4	充電制御の概要を理解し、お客様に説明ができる	523	1
前期	13	金子	加藤	オルタネータ5	充電制御の構成部品を理解し制御を説明できる1	523	1
前期	14	金子	加藤	オルタネータ6	充電制御の構成部品を理解し制御を説明できる2	523	1
前期	15	金子	加藤	オルタネータ7	eTest(充電制御部門)で80点以上得点する	523	1
前期	16	金子	加藤	安全装置1	エアバッグに関わる国家1級試験問題が解ける	523	1
前期	17	金子	加藤	安全装置2	エアバッグ以外の安全装置に関わる国家1級試験問題が解ける	523	1
前期	18	金子	加藤	サーキットテスタ1	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の概要(性能)を理解する	523	1
前期	19	金子	加藤	サーキットテスタ2	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の交流の平均値、実行値を理解する	523	1
前期	20	金子	加藤	サーキットテスタ3	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の交流の波形率、波高率を理解する	523	1
前期	21	金子	加藤	サーキットテスタ4	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の交流の波形率、波高率を理解する	523	1
前期	22	金子	加藤	サーキットテスタ5	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の分解能と内部抵抗・確度を理解する	523	1
前期	23	金子	加藤	サーキットテスタ6	ｻｰｷｯﾄﾃｽﾀの活用の基本測定技術を理解する	523	1
前期	24	金子	加藤	サーキットテスタ7	ｵｼﾛｽｺｰﾌﾟの活用ができる	523	1
前期	25	金子	加藤	サーキットテスタ8	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
前期	26	金子	加藤	サーキットテスタ9	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
前期	27	金子	加藤	サーキットテスタ10	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
前期	28	金子	加藤	サーキットテスタ11	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
前期	29	金子	加藤	サーキットテスタ12	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
前期	30	金子	加藤	サーキットテスタ13	サーキットテスタの国家試験問題が解ける	523	1
前期	31			解答公開			1

2023年度 電装品電子制御実習（1） シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	34

	電装品電子制御実習(1)	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	・オートエアコン、エアバッグ、オルタネータの整備方法修得及び、電装品新機構の構造作動を理解する	
2.教科の到達目標	・冷媒充填作業を安全確実に実施できる ・エアコンパネルダイアグ作業を行うことができる。 ・トヨタ検定3級オルタネータ脱着を20分以内に実施できる。 ・SCオルタネータとⅢ型の違いを説明できる ・エアバッグ脱着を安全確実に実施できる。	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　工具・計測機器・整備機器編、2ステップ、3ステップ　・国家1級テキスト　新技術 ・自動車整備技術電気装置(エアコン)　・工具　・デジタルテスタ	
4.授業時間	前期　34	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%、定期試験80%	

授業計画表(実習:電装品電子制御実習(1))

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	金子	加藤	準備	準備		1
前期	2	金子	加藤	準備	準備		1
前期	3	金子	加藤	エアコン脱着	各種サーボモータの脱着および作動点検ができる		1
前期	4	金子	加藤	エアコン脱着	各種サーボモータの脱着および作動点検ができる		1
前期	5	金子	加藤	エアコン脱着	各種サーボモータの脱着および作動点検ができる		1
前期	6	金子	加藤	エアコン脱着	各種サーボモータの脱着および作動点検ができる		1
前期	7	金子	加藤	エアコン脱着	各種サーボモータの脱着および作動点検ができる		1
前期	8	金子	加藤	エアコン新技術	新冷媒、エジェクタサイクル、ｶﾞｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟの理解		1
前期	9	金子	加藤	エアコン新技術	新冷媒、エジェクタサイクル、ｶﾞｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟの理解		1
前期	10	金子	加藤	エアコン新技術	新冷媒、エジェクタサイクル、ｶﾞｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟの理解		1
前期	11	金子	加藤	エアコン新技術	新冷媒、エジェクタサイクル、ｶﾞｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟの理解		1
前期	12	金子	加藤	エアコン新技術	新冷媒、エジェクタサイクル、ｶﾞｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟの理解		1
前期	13	金子	加藤	エアバック	SRSｴｱﾊﾞｯｸﾞの脱着ができるようになる		1
前期	14	金子	加藤	エアバック	SRSｴｱﾊﾞｯｸﾞの脱着ができるようになる		1
前期	15	金子	加藤	エアバック	SRSｴｱﾊﾞｯｸﾞの脱着ができるようになる		1
前期	16	金子	加藤	シートベルト	ﾌﾟﾘﾃﾝｼｮﾅｰｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの脱着ができるようになる		1
前期	17	金子	加藤	シートベルト	ﾌﾟﾘﾃﾝｼｮﾅｰｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの脱着ができるようになる		1
前期	18	金子	加藤	シートベルト	ﾌﾟﾘﾃﾝｼｮﾅｰｼｰﾄﾍﾞﾙﾄの脱着ができるようになる		1
前期	19	金子	加藤	オルタネータ	ｵﾙﾀﾈｰﾀ脱着の基本点検/充電方式確認ができるようになる		1
前期	20	金子	加藤	オルタネータ	ｵﾙﾀﾈｰﾀ脱着の基本点検/充電方式確認ができるようになる		1
前期	21	金子	加藤	オルタネータ	ｵﾙﾀﾈｰﾀ脱着の基本点検/充電方式確認ができるようになる		1
前期	22	金子	加藤	オルタネータ	ｵﾙﾀﾈｰﾀ脱着の基本点検/充電方式確認ができるようになる		1
前期	23	金子	加藤	オルタネータ	ｵﾙﾀﾈｰﾀ脱着の基本点検/充電方式確認ができるようになる		1
前期	24	金子	加藤	オルタネータ	ｵﾙﾀﾈｰﾀ脱着の基本点検/充電方式確認ができるようになる		1
前期	25	金子	加藤	チームGP	G20168～G20170		1
前期	26	金子	加藤	チームGP	G20168～G20170		1
前期	27	金子	加藤	チームGP	G20168～G20170		1
前期	28	金子	加藤	チームGP	G20168～G20170		1
前期	29	金子	加藤	チームGP	G20168～G20170		1
前期	30	金子	加藤	チームGP	G20168～G20170		1
前期	31	金子	加藤	チームGP	G20137		1
前期	32	金子	加藤	チームGP	G20137		1
前期	33	金子	加藤	定期試験			1
前期	34	金子	加藤	定期試験			1

2023年度 ｴﾝｼﾞﾝ故障診断実習2 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	47

	ｴﾝｼﾞﾝ故障診断実習2			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	・単体エンジンを用いてTCCSシステムエンジンにおける故障診断技術を学ぶ			
2.教科の到達目標	・故障診断の基礎（基本DTCあり）を身につけ、生かせるように訓練する ・フローチャート作成を実施し故障診断のテクニックを身に着ける ・プレゼンテーションを実施し、まとめる力と発表する話術や資料整理のテクニックを学ぶ			
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御、　・トヨタサービス　2～4STEP ・テスタ（ピンリードやミノムシ必須）、工具 ・電子技術マニュアル等（PCは必須）			
4.授業時間	後期	45	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート点（10%）、プレゼン能力（10%）定期試験（80%）、で、合計60%以上で合格			

授業計画表(学科：ｴﾝｼﾞﾝ故障診断実習2)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
後期	2	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
後期	3	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	4	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	5	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	6	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	7	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	8	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	9	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費不良	実習場	1
後期	10	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費不良	実習場	1
後期	11	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ不良	実習場	1
後期	12	久保田	豆田	DC別ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ不良	実習場	1
後期	13	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
後期	14	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	加速不良	実習場	1
後期	15	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	16	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	17	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	18	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	19	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	20	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	21	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	22	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	23	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	24	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	始動不可	実習場	1
後期	25	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾋﾞﾘﾃｨ不良	実習場	1
後期	26	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾋﾞﾘﾃｨ不良	実習場	1
後期	27	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費,ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
後期	28	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	燃費,ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
後期	29	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
後期	30	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾟﾜｰﾊﾞﾗﾝｽ不良	実習場	1
後期	31	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	冷間時不良	実習場	1
後期	32	久保田	豆田	DC無しﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	冷間時不良	実習場	1
後期	33	久保田	豆田	プレゼン準備		実習場	1
後期	34	久保田	豆田	プレゼン準備		実習場	1
後期	35	久保田	豆田	プレゼン準備		実習場	1
後期	36	久保田	豆田	プレゼン準備		実習場	1
後期	38	久保田	豆田	プレゼン発表		実習場	2
後期	40	久保田	豆田	プレゼン発表		実習場	2
後期	42	久保田	豆田	定期試験		実習場	2
後期	45	久保田	豆田	準備片付け		実習場	3

2023年度 シャシ電子制御（2）シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	23

	シャシ電子制御（2）	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ABS，TRC，VSC，CVT，VGRSの構造，作動，制御内容の習得 ・CVTの構造、制御、整備内容の習得 **☆自動車ﾒｰｶｰおよび販売店での整備経験者により、専門知識を学ぶ**	
2.教科の到達目標	・国家一級自動車整備士試験が合格できる水準の内容理解できている ・車両安定制御装置の構造，作動，制御内容を説明できる ・CVTの構造，作動，制御内容を説明できる	
3.使用教科書、準備品	・1級自動車整備士　自動車新技術 ・トヨタサービス3ステップ	
4.授業時間	後期　21	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート40％，定期試験60％	

授業計画表(学科：シャシ電子制御（2））

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のABSの構造と役目を理解する	教室	1
後期	2	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のABSの基本作動を理解する	教室	1
後期	3	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のEBD付きABSの構造と役目を理解する	教室	1
後期	4	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のEBD付きABSの基本作動を理解する	教室	1
後期	5	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のBAの構造と役目を理解する	教室	1
後期	6	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のBAの基本作動を理解する	教室	1
後期	7	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のTRCの構造と役目を理解する	教室	1
後期	8	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のTRCの基本作動を理解する	教室	1
後期	9	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のVSCの構造と役目を理解する	教室	1
後期	10	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のVSCの基本作動を理解する	教室	1
後期	11	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のVSCのOS・VSの判定・構成部品を理解する	教室	1
後期	12	伊藤	小林	車両制御装置	車両制御装置のVSCのOS・VSの判定・構成部品を理解する	教室	1
後期	13	伊藤	小林	無断変速機構(CVT)	無断変速機構(CVT)の特徴及び構造を理解する	教室	1
後期	14	伊藤	小林	無断変速機構(CVT)	無断変速機構(CVT)の特徴及び構造を理解する	教室	1
後期	15	伊藤	小林	無断変速機構(CVT)	無断変速機構(CVT)のCVTﾌﾙｰﾄﾞを理解する	教室	1
後期	16	伊藤	小林	無断変速機構(CVT)	無断変速機構(CVT)のCVTﾌﾙｰﾄﾞを理解する	教室	1
後期	17	伊藤	小林	無断変速機構(CVT)	無断変速機構(CVT)の電子制御機構を理解する	教室	1
後期	18	伊藤	小林	無断変速機構(CVT)	無断変速機構(CVT)の電子制御機構を理解する	教室	1
後期	19	伊藤	小林	電子制御ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ	電子制御ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝの構造・作動を理解する	教室	1
後期	20	伊藤	小林	電子制御ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ	電子制御ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝの構造・作動を理解する	教室	1
後期	21	伊藤	小林	定期試験	解答公開で未履修内容を理解する	教室	1
後期	22	伊藤	小林	定期試験	解答公開で未履修内容を理解する	教室	1
後期	23	伊藤	小林	解答公開		教室	1

2023年度 シャシ電子制御実習（2） シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	45

	シャシ電子制御実習（2）	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦
		自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ABS，TRC，VSC，CVTのシャシ電子制御系の各構造，作動を習得 ・ABS，TRC，VSC，CVTのシャシ電子制御系の制御，点検方法及び初期設定を習得	
2.教科の到達目標	・シャシ電子制御の故障診断を行うための基礎知識や正常作動を理解できる ・各機構を理解することで，お客様に対して商品説明できる知識を身につける ・各機構の波形観測ができ、フェイルセーフやトラブルシュートが理解できる	
3.使用教科書、準備品	・手持ち工具 ・ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ3・4STEP ・国家一級シャシ電子制御及び新技術	
4.授業時間	後期　43	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート40％，定期試験60％	

授業計画表(実習：シャシ電子制御実習（2）)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	車両安定制御装置	実習説明	51	1
後期	2	伊藤	小林	車両安定制御装置	実習説明	51	1
後期	3	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション1	51	1
後期	4	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション1	51	1
後期	5	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション1	51	1
後期	6	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション1	51	1
後期	7	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション1	51	1
後期	8	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション1	51	1
後期	9	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション2	51	1
後期	10	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション2	51	1
後期	11	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション2	51	1
後期	12	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション2	51	1
後期	13	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション2	51	1
後期	14	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション2	51	1
後期	15	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション3	51	1
後期	16	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション3	51	1
後期	17	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション3	51	1
後期	18	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション3	51	1
後期	19	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション3	51	1
後期	20	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション3	51	1
後期	21	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション4	51	1
後期	22	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション4	51	1
後期	23	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション4	51	1
後期	24	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション4	51	1
後期	25	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション4	51	1
後期	26	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション4	51	1
後期	27	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション5	51	1
後期	28	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション5	51	1
後期	29	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション5	51	1
後期	30	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション5	51	1
後期	31	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション5	51	1
後期	32	伊藤	小林	車両安定制御装置	セクション5	51	1
後期	33	伊藤	小林	EHPS	セクション6	51	1
後期	34	伊藤	小林	EHPS	セクション6	51	1
後期	35	伊藤	小林	EHPS	セクション6	51	1
後期	36	伊藤	小林	AVS	セクション6	51	1
後期	37	伊藤	小林	AVS	セクション6	51	1
後期	38	伊藤	小林	AVS	セクション6	51	1
後期	39	伊藤	小林	ﾁｰﾑGP	G20104，20105	51	1
後期	40	伊藤	小林	ﾁｰﾑGP	G20106	51	1
後期	41～43	伊藤	小林	準備片付け	0	51	3

2023年度 環境保全・安全管理 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	23

	環境保全・安全管理	
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー	豆田　千尭
1.授業概要と履修前提	自動車に関する環境保全の知識を身に付ける。 自動車整備における安全管理の知識を身につける。	
2.教科の到達目標	・自動車に関する環境保全の対応の理解を深める。 ・自動車整備における安全管理の知識を深める。	
3.使用教科書、準備品	一級自動車整備士　総合診断・環境保全・安全管理	
4.授業時間	後期　21	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験(10%)、定期試験(90%)、で、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科:環境保全・安全管理)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	久保田	豆田	安全管理の意義と重要性	意義と重要性・安全管理と作業能率	教室	1
後期	2	久保田	豆田	災害のあらまし	災害発生のしくみ・不安全行動と不安全状態	教室	1
後期	3	久保田	豆田	災害のあらまし	災害の起こる要件・災害防止の急所/災害調査法	教室	1
後期	4	久保田	豆田	災害防止	安全のルール・整理整頓の要点・作業上の注意事項	教室	1
後期	5	久保田	豆田	電気災害	電気災害の特徴	教室	1
後期	6	久保田	豆田	電気災害	災害とその防止策	教室	1
後期	7	久保田	豆田	職場における防火・防災	防火・防災の知識	教室	1
後期	8	久保田	豆田	職場における防火・防災	危険物の貯蔵と取り扱い	教室	1
後期	9	久保田	豆田	救急処置についての心得	救急処置の意義	教室	1
後期	10	久保田	豆田	救急処置についての心得	一般的な注意事項/応急処置	教室	1
後期	11	久保田	豆田	地球環境	環境保全の現況、必要性	教室	1
後期	12	久保田	豆田	自動車にかかわる問題	地球規模、広域的、局地的な環境問題	教室	1
後期	13	久保田	豆田	3R・リサイクル実例	3Rのための手法	教室	1
後期	14	久保田	豆田	ﾄﾖﾀの5R活動	5R活動	教室	1
後期	15	久保田	豆田	関連法規,種類・ﾏﾆﾌｪｽﾄ	産業廃棄物の処理	教室	1
後期	16	久保田	豆田	自動車リサイクル法	概要	教室	1
後期	17	久保田	豆田	適正処理方法	ｴｱﾊﾞｯｸﾞ,ﾌﾛﾝ・ｼｭﾚｯﾀﾞｰﾀﾞｽﾄ	教室	1
後期	18	久保田	豆田	適正処理方法	油脂類・ﾀｲﾔ,ﾊﾞｯﾃﾘ・ﾀｲﾔ,ﾊﾞｯﾃﾘ	教室	1
後期	19	久保田	豆田	整備工場の環境問題	対応および処理	教室	1
後期	20	久保田	豆田	PRTR法	概要	教室	1
後期	22	久保田	豆田	定期試験		教室	2
後期	23	久保田	豆田	解答公開		教室	1

2023年度　材料力学Ⅰ シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	18

	材料力学Ⅰ			
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー		加藤　直人	
1.授業概要と履修前提	力(荷重)が材料に及ぼす影響を考え、強度や設計の基礎を学ぶ。			
2.教科の到達目標	材料・部品にかかる力から破壊されやすい部分を予測できる。 教科書の例題を解くことができる。			
3.使用教科書、準備品	「三訂　材料力学」 関数電卓			
4.授業時間	後期	16	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験、定期試験(ともに筆記試験)			

授業計画表(学科:材料力学Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子	加藤	荷重	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	2	金子	加藤	応力	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	3	金子	加藤	ひずみ	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	4	金子	加藤	応力とひずみの関係	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	5	金子	加藤	材料の機械的性	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	6	金子	加藤	材料の強さ	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	7	金子	加藤	許容応力	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	8	金子	加藤	力の合成	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	9	金子	加藤	引っ張り・圧縮応力/ひずみ	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	10	金子	加藤	ポアソン比	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	11	金子	加藤	弾性係数	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	12	金子	加藤	垂直応力と剪断	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	13	金子	加藤	熱応力	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	14	金子	加藤	動荷重/応力集中	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	15	金子	加藤	ﾘﾍﾞｯﾄ継ぎ手/溶接継ぎ手	概要を理解し教科書の例題を解くことができる	教室	1
後期	16	金子	加藤	解答公開		教室	1

2023年度　自動車材料 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	18

	自動車材料	
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー	豆田　千尭
1.授業概要と履修前提	自動車に使われている、金属、樹脂、燃料、油脂等の知識を身に付ける。	
2.教科の到達目標	・自動車に使用されている材料の種類や性質を理解を深める。(メンテ、リペア、レストア等で知識が役立ちます。) ・燃料・油脂の知識を深め、お客様対応力を向上させる。(実際の仕事でアドバイスetcで活用必須です)	
3.使用教科書、準備品	・全国自動車整備専門学校協会　自動車材料　と　内燃機関、燃料・油脂	
4.授業時間	後期　16	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験(10%)、定期試験(90%)、で、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科:自動車材料)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	久保田	豆田	自動車に使用される鋼板材料	熱冷間圧延鋼板の特徴を理解する。	教室	1
後期	2	久保田	豆田	自動車に使用される鋼板材料	高張力鋼板・防錆鋼板の車両への使用場所が分かる。	教室	1
後期	3	久保田	豆田	自動車に使用される鋼板材料	特殊鋼板とは何か説明できる。	教室	1
後期	4	久保田	豆田	自動車に使用される非金属材料	樹脂の使用場所を理解できる。	教室	1
後期	5	久保田	豆田	自動車に使用される非金属材料	ｺﾞﾑの種類と使用箇所を理解できる。	教室	1
後期	6	久保田	豆田	自動車に使用される非金属材料	接着剤、ｼｰﾘﾝｸﾞ剤使用箇所を理解できる。	教室	1
後期	7	久保田	豆田	自動車に使用される非金属材料	ｶﾞﾗｽの種類と使用箇所を理解できる。	教室	1
後期	8	久保田	豆田	自動車補修用材料	塗料の種類と使用箇所を理解できる。	教室	1
後期	9	久保田	豆田	自動車補修用材料	ﾊﾟﾃ・ﾌﾟﾗｲﾏｻｰﾌｪｰｻの種類が理解できる。	教室	1
後期	10	久保田	豆田	油脂類	ｵｲﾙの種類と特徴を理解できる。	教室	1
後期	11	久保田	豆田	油脂類	ﾌﾙｰﾄﾞの種類と特徴を理解できる。	教室	1
後期	12	久保田	豆田	油脂類	ｸﾞﾘｰｽの種類と特徴を理解できる。	教室	1
後期	13	久保田	豆田	油脂類	ﾊﾞｯﾃﾘ液・ｳｨﾝﾄﾞｳｫｯｼｬ液の種類と特徴を理解できる。	教室	1
後期	14	久保田	豆田	油脂類・燃料	LLC・燃料・代替燃料・CNGの理解ができる。	教室	1
後期	15	久保田	豆田	油脂類・燃料	LLC・燃料・代替燃料・CNGの理解ができる。	教室	1
後期	17	久保田	豆田	定期試験	0	教室	2
後期	18	久保田	豆田	解答公開	0	教室	1

2023年度　自動車性能 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	18

	自動車性能	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・自動車の各種性能，特性を学ぶ，工学的にその現象を学び，また，工学と具体的な現象のつながりを学ぶ ・自動車に要求される動力性能，走行性能，タイヤ性能などの特性を工学的に捉え， **☆自動車ﾒｰｶｰでの整備経験者により、専門知識を学ぶ**	
2.教科の到達目標	・力学で学んだ各種理論を自動車を通して具体的に活用できる ・自動車の性能，特性を理論的に説明できる ・上記に伴う諸計算ができる	
3.使用教科書、準備品	ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ技術ﾃｷｽﾄ3STEP JAMCA シャシ構造Ⅱ 関数電卓	
4.授業時間	後期　16	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験（10%）、定期試験（90%）、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科：自動車性能)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	駆動力と走行抵抗	走行性能曲線図の理解をする	教室	1
後期	2	伊藤	小林	車速と駆動力	走行性能曲線図を読み取れる	教室	1
後期	3	伊藤	小林	走行抵抗の種類	転がり抵抗を計算できる	教室	1
後期	4	伊藤	小林	走行抵抗の種類	空気抵抗を計算できる	教室	1
後期	5	伊藤	小林	走行抵抗の種類	登坂抵抗を計算できる	教室	1
後期	6	伊藤	小林	走行抵抗の種類	加速抵抗及び加速力を計算できる	教室	1
後期	7	伊藤	小林	燃費	10・15ﾓｰﾄﾞ及び燃費率を理解できる	教室	1
後期	8	伊藤	小林	タイヤの転動	ころがり抵抗を理解できる	教室	1
後期	9	伊藤	小林	タイヤの転動	旋回時にﾀｲﾔに働く力を理解できる	教室	1
後期	10	伊藤	小林	旋回性能	遠心力を計算できる	教室	1
後期	11	伊藤	小林	旋回性能	c.f.について理解できる	教室	1
後期	12	伊藤	小林	ブレーキ性能	減速状態の荷重輪の変化を計算できる	教室	1
後期	13	伊藤	小林	ブレーキ性能	運動ｴﾈﾙｷﾞｰを計算できる	教室	1
後期	14	伊藤	小林	ブレーキ性能	前後輪の制動力分配を計算できる	教室	1
後期	15	伊藤	小林	平常試験	平常試験で履修度を判断する	教室	1
後期	16	伊藤	小林	定期試験		教室	1
後期	17	伊藤	小林	定期試験		教室	1
後期	18	伊藤	小林	解答公開		教室	1

2023年度　総合診断（2）シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	33

	総合診断（2）	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	・サービス活動や接客応対について理解し、フロント業務全般の知識を習得	
2.教科の到達目標	・トヨタサービスの基本理念・3S精神・基本7項目を覚え、それぞれの意味を言う事ができる ・サービスの分類、マナー、CS、ホスピタリティについて意味・必要性を言う事ができる ・自分のタイプを理解し、それに合ったお客様対応ができる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス業務テキスト　1STEP　及び　2STEP ・一級自動車整備士テキスト　総合診断・環境保全・安全管理	
4.授業時間	後期　31	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%、定期試験80%	

授業計画表(学科：総合診断（2））

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子		国家試験	サーキットテスタの種類、概要理解	教室	1
後期	2	金子		国家試験	性能表の見方	教室	1
後期	3	金子		国家試験	内部抵抗の計算	教室	1
後期	4	金子		国家試験	確度の計算	教室	1
後期	5	金子		国家試験	ホームファクタの概要を理解する	教室	1
後期	6	金子		国家試験	ホームファクタの計算ができる	教室	1
後期	7	金子		国家試験	クレストファクタの概要を理解する	教室	1
後期	8	金子		国家試験	クレストファクタの計算ができる	教室	1
後期	9	金子		国家試験	正弦波の測定ができる	教室	1
後期	10	金子		国家試験	三角波の測定ができる	教室	1
後期	11	金子		国家試験	方形波の測定ができる	教室	1
後期	12	金子		国家試験	オシロスコープの基本用語の理解	教室	1
後期	13	金子		国家試験	オシロスコープのモード選択がわかる	教室	1
後期	14	金子		国家試験	オシロスコープの読み方がわかる	教室	1
後期	15	金子		国家試験	オシロスコープの活用方法	教室	1
後期	16		加藤	アドバイザー	ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰの役割を理解する	教室	1
後期	17		加藤	エンジニアリーダー	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘｰﾀﾞの役割を理解する	教室	1
後期	18		加藤	技術情報	技術情報のサ技報,市技報を理解する	教室	1
後期	19		加藤	フロント業務	CSとは何かを理解する	教室	1
後期	20		加藤	フロント業務	受付/問診/診断/見積もり/作業管理/作業進行/を理解する	教室	1
後期	21		加藤	フロント業務	整備内容説明・引渡し・納車・ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟができる	教室	1
後期	22		加藤	フロント業務	苦情対応の基本を理解する	教室	1
後期	23		加藤	フロント業務	関係法令等の知識の道路運送車両法を理解する	教室	1
後期	24		加藤	診断アドバイス	ｱﾄﾞﾊﾞｲｽとｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞを理解する	教室	1
後期	25		加藤	診断アドバイス	診断ｱﾄﾞﾊﾞｲｽの商品知識・提案を理解する	教室	1
後期	26		加藤	診断アドバイス	診断ｱﾄﾞﾊﾞｲｽの商品知識・提案を理解する	教室	1
後期	27		加藤	診断アドバイス	FSV話法・苦情対応を理解する	教室	1
後期	28		加藤	診断アドバイス	FSV話法・苦情対応を理解する	教室	1
後期	29		加藤	診断アドバイス	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸができる	教室	1
後期	30		加藤	診断アドバイス	ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸができる	教室	1
後期	31		加藤	平常試験		教室	1
後期	32		加藤	定期試験		教室	1
後期	33		加藤	定期試験		教室	1

2023年度 総合診断実習（2）シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	後期	授業時間計	33

	総合診断実習（2）	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	・コンサルティング技術の習得。アドバイザ業務の実践。国家1級ロ述試験対策の基礎。	
2.教科の到達目標	・FSV話法を用いたコンサルティングがどのようなものか説明できる ・アドバイザ業務の受付、引渡しの内容をチェック項目に対し9割以上できる ・1級ロ述試験の過去問題を全て8割以上できる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス業務テキスト　1STEP　及び　2STEP　　・診断・アドバイスマニュアル　及び　技術テキスト導入教育 ・新ここが知りたい　～クルマのプロをめざして～ ・振興会一級テキスト　総合診断	
4.授業時間	後期　33	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (△)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	ロールプレイング30%、平常試験40%、レポート30%	

授業計画表(実習：総合診断実習（2）)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子	加藤		準備	54	1
後期	2	金子	加藤		準備	54	1
後期	3	金子	加藤	業務の流れ	ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽの理念が説明できる	54	1
後期	4	金子	加藤	業務の流れ	ｻｰﾋﾞｽｽﾀｯﾌの心得が説明できる	54	1
後期	5	金子	加藤	業務の流れ	ｻｰﾋﾞｽ業務の流れ、要点説明ができる	54	1
後期	6	金子	加藤	受付業務	受付の要点説明ができるようになる	54	1
後期	7	金子	加藤	受付業務	受付(ご用命応対)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	8	金子	加藤	受付業務	受付(問診,診断)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	9	金子	加藤	受付業務	受付(問診,診断)の要点説明ができるようになる	54	1
後期	10	金子	加藤	受付業務	受付(問診,診断)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	11	金子	加藤	受付業務	受付(問診,診断)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	12	金子	加藤	引き渡し業務	引き渡しの要点説明ができるようになる	54	1
後期	13	金子	加藤	引き渡し業務	引き渡しの要点説明ができるようになる	54	1
後期	14	金子	加藤	引き渡し業務	引き渡し(整備内容説明)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようにな	54	1
後期	15	金子	加藤	引き渡し業務	引き渡し(整備内容説明)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようにな	54	1
後期	16	金子	加藤	引き渡し業務	引き渡し(精算,お見送り)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようにな	54	1
後期	17	金子	加藤	引き渡し業務	引き渡し(精算,お見送り)のお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようにな	54	1
後期	18	金子	加藤	フォロー業務	1ﾌｫﾛｰの要点説明ができるようになる	54	1
後期	19	金子	加藤	フォロー業務	1ﾌｫﾛｰの要点説明ができるようになる	54	1
後期	20	金子	加藤	フォロー業務	1ﾌｫﾛｰの電話対応の基本ができるようになる	54	1
後期	21	金子	加藤	フォロー業務	1ﾌｫﾛｰの電話対応の基本ができるようになる	54	1
後期	22	金子	加藤	フォロー業務	1ﾌｫﾛｰのお客様対応ﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	23	金子	加藤	苦情対応	苦情対応の心得ができるようになる	54	1
後期	24	金子	加藤	苦情対応	苦情対応の心得ができるようになる	54	1
後期	25	金子	加藤	苦情対応	苦情対応のﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	26	金子	加藤	苦情対応	苦情対応のﾛｰﾙﾌﾟﾚｲﾝｸﾞができるようになる	54	1
後期	27	金子	加藤	口述試験	口述試験の内容を30%言うことができる	54	1
後期	28	金子	加藤	口述試験	口述試験の内容を40%言うことができる	54	1
後期	29	金子	加藤	口述試験	口述試験の内容を50%言うことができる	54	1
後期	30	金子	加藤	口述試験	口述試験の内容を60%言うことができる	54	1
後期	31	金子	加藤	口述試験	口述試験の内容を70%言うことができる	54	1
後期	32	金子	加藤	口述試験	口述試験の内容を80%言うことができる	54	1
後期	33	金子	加藤		片付け	54	1

2023年度　点検整備実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	後期	教科時間計	32

	点検整備実習		
教員名 実務経験	3年担当		
1.授業概要と履修前提	定期点検整備の技術を、上級生からのOJTにより学び、知識・技術の向上を図る。 **☆自動車メーカーおよび販売店での整備経験者により、専門知識を学ぶ**		
2.教科の到達目標	12ヶ月点検が一人で作業ができるようになる。 トヨタ検定3級の実技試験が合格できる。		
3.使用教科書、準備品	トヨタサービス導入編、STEP1、2		
4.授業時間	後期	32	－ 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている		
6.評価方法	トヨタ技術力検定の評価基準に準ずる		

授業計画表(実習：点検整備実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	3年教員全員	準備		51	1
後期	2	3年教員全員	準備		51	1
後期	3	3年教員全員	12ヶ月点検作業	①FF車両点検の基本技能修得	51	1
後期	4	3年教員全員	12ヶ月点検作業	①FF車両点検の基本技能修得	51	1
後期	5	3年教員全員	12ヶ月点検作業	①FF車両点検の基本技能修得	51	1
後期	6	3年教員全員	12ヶ月点検作業	①FF車両点検の基本技能修得	51	1
後期	7	3年教員全員	12ヶ月点検作業	②FR点検の基本技能修得	51	1
後期	8	3年教員全員	12ヶ月点検作業	②FR点検の基本技能修得	51	1
後期	9	3年教員全員	12ヶ月点検作業	③4WD点検の基本技能修得	51	1
後期	10	3年教員全員	12ヶ月点検作業	③4WD点検の基本技能修得	51	1
後期	11	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
後期	12	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
後期	13	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
後期	14	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第1回)	51	1
後期	15	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
後期	16	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
後期	17	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
後期	18	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第1回)ﾄﾖ検2,3級	51	1
後期	19	3年教員全員	12ヶ月点検作業	作業内容確認	51	1
後期	20	3年教員全員	12ヶ月点検作業	作業内容確認	51	1
後期	21	3年教員全員	12ヶ月点検作業	作業内容確認	51	1
後期	22	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
後期	23	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
後期	24	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
後期	25	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
後期	26	3年教員全員	12ヶ月点検作業	基本作業習熟練習ﾄﾖ検2,3級内容(第2回)	51	1
後期	27	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
後期	28	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
後期	29	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
後期	30	3年教員全員	12ヶ月定期点検確認試験	技術ﾁｪｯｸ(第2回)ﾄﾖ検2,3級内容	51	1
後期	31	3年教員全員	フォロー	0	51	1
後期	32	3年教員全員	フォロー	0	51	1

2023年度　EV・HV技術 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	24

	EV・HV技術			
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー		加藤　直人	
1.授業概要と履修前提	ハイブリッド、ECB、FCV			
2.教科の到達目標	・ハイブリッドの基本を説明できる ・ハイブリッドの専門知識を深化し、技術力を高める ・商品知識をつける ・国家試験1級筆記試験に必要な知識を身につける			
3.使用教科書、準備品	・1級自動車整備士　新技術　　・PC			
4.授業時間	後期	24	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験20%、定期試験80%			

授業計画表(学科:EV・HV技術)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子	加藤	THSの基礎	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両の概要を理解する	教室	1
後期	2	金子	加藤	THSの基礎	THS機構上の特徴を理解する	教室	1
後期	3	金子	加藤	THSの基礎	THSの基礎のTHS作動の基本的考え方を理解する	教室	1
後期	4	金子	加藤	THSの基礎	THSの基礎のTHS(HV ECU)の基本制御を理解する	教室	1
後期	5	金子	加藤	構成部品	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両のﾓｰﾀ､ｼﾞｪﾈﾚｰﾀを理解する	教室	1
後期	6	金子	加藤	構成部品	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両のHVﾊﾞｯﾃﾘを理解する	教室	1
後期	7	金子	加藤	構成部品	HVの構成部品のｲﾝﾊﾞｰﾀ,ｺﾝﾊﾞｰﾀを理解する	教室	1
後期	8	金子	加藤	構成部品	安全機構のｻｰﾋﾞｽﾌﾟﾗｸﾞ/ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝなどを理解する	教室	1
後期	9	金子	加藤	構成部品	安全機構のｻｰﾋﾞｽﾌﾟﾗｸﾞ/ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝなどを理解する	教室	1
後期	10	金子	加藤	低電圧取扱者	低圧電気取扱者特別講習の内容を復習する	教室	1
後期	11	金子	加藤	低電圧取扱者	低圧電気取扱者特別講習の内容を復習する	教室	1
後期	12	金子	加藤	THSの種類	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両のｼｽﾃﾑの特徴のTHSⅡを理解する	教室	1
後期	13	金子	加藤	THSの種類	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両のｼｽﾃﾑの特徴のTHSⅡを理解する	教室	1
後期	14	金子	加藤	THSの種類	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両のｼｽﾃﾑの特徴のTHS-Cを理解する	教室	1
後期	15	金子	加藤	THSの種類	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ車両のｼｽﾃﾑの特徴のTHS-Cを理解する	教室	1
後期	16	金子	加藤	ECB	車両制御装置のECBを理解する	教室	1
後期	17	金子	加藤	ECB	車両制御装置のECBを理解する	教室	1
後期	18	金子	加藤	EPS	車両制御装置のEPSを理解する	教室	1
後期	19	金子	加藤	EPS	車両制御装置のEPSを理解する	教室	1
後期	20	金子	加藤	FCV	FCVの概要を理解する	教室	1
後期	21	金子	加藤	FCV	FCVの概要を理解する	教室	1
後期	22	金子	加藤	定期試験		教室	1
後期	23	金子	加藤	定期試験		教室	1
後期	24	金子	加藤	解答公開		教室	1

2023年度　EV・HV実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	36

	EV・HV実習			
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー		加藤　直人	
1.授業概要と履修前提	・HV理解 ・FCV基本理解			
2.教科の到達目標	・20、30プリウスの共線図をデータから書け、トルクと充放電について説明できる ・HVバッテリの脱着作業が安全に行うことができる ・ECBのエア抜き作業ができる。データから協調制御について説明できる ・HV特有の異常について体感し、それぞれについて概要を説明できる ・FCVの各部品の位置、作動、特徴を説明できる			
3.使用教科書、準備品	・国家一級新技術			
4.授業時間	後期	36	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(○)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験20%、定期試験80%			

授業計画表(実習:EV・HV実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子	加藤	準備	準備	51実	1
後期	2	金子	加藤	HVの基礎	HV作動の基礎できるようになる	51実	1
後期	3	金子	加藤	HVの基礎	HV作動の基礎が理解できるようになる	51実	1
後期	4	金子	加藤	HVの基礎	HV作動の基礎が理解できるようになる	51実	1
後期	5	金子	加藤	共線図	HVの作動中の共線図の作図ができるようになる	51実	1
後期	6	金子	加藤	共線図	HVの作動中の共線図の作図ができるようになる	51実	1
後期	7	金子	加藤	共線図	HVの作動中の共線図の作図ができるようになる	51実	1
後期	8	金子	加藤	HVバッテリ	HVバッテリ脱着ができるようになる	51実	1
後期	9	金子	加藤	HVバッテリ	HVバッテリ脱着ができるようになる	51実	1
後期	10	金子	加藤	HVバッテリ	HVバッテリ脱着ができるようになる	51実	1
後期	11	金子	加藤	HVバッテリ	HVバッテリ脱着ができるようになる	51実	1
後期	12	金子	加藤	HVバッテリ	HVバッテリ脱着ができるようになる	51実	1
後期	13	金子	加藤	構造研究	30系プリウスの構造研究および商品知識習得ができるようになる	51実	1
後期	14	金子	加藤	構造研究	30系プリウスの構造研究および商品知識習得ができるようになる	51実	1
後期	15	金子	加藤	構造研究	30系プリウスの構造研究および商品知識習得ができるようになる	51実	1
後期	16	金子	加藤	HVの種類	HVシステムの歴代HVの違いを確認ができるようになる	51実	1
後期	17	金子	加藤	HVの種類	HVシステムの歴代HVの違いを確認ができるようになる	51実	1
後期	18	金子	加藤	HVの種類	HVシステムの歴代HVの違いを確認ができるようになる	51実	1
後期	19	金子	加藤	他頻度作業	HVシステムの他頻度作業の基礎習得ができるようになる	51実	1
後期	20	金子	加藤	他頻度作業	HVシステムの他頻度作業の基礎習得ができるようになる	51実	1
後期	21	金子	加藤	他頻度作業	HVシステムの他頻度作業の基礎習得ができるようになる	51実	1
後期	22	金子	加藤	EPS	EPSの構造のﾗｯｸｱｼｽﾄのﾃﾞｰﾀﾓﾆﾀ及び0点取得ができるようになる	51実	1
後期	23	金子	加藤	EPS	EPSの構造のﾗｯｸｱｼｽﾄのﾃﾞｰﾀﾓﾆﾀ及び0点取得ができるようになる	51実	1
後期	24	金子	加藤	EPS	EPSの構造のﾗｯｸｱｼｽﾄのﾃﾞｰﾀﾓﾆﾀ及び0点取得ができるようになる	51実	1
後期	25	金子	加藤	EHPS	EHPSの電動ﾎﾟﾝﾌﾟ油圧ｱｼｽﾄの構造研究ができるようになる	51実	1
後期	26	金子	加藤	EHPS	EHPSの電動ﾎﾟﾝﾌﾟ油圧ｱｼｽﾄの構造研究ができるようになる	51実	1
後期	27	金子	加藤	EHPS	EHPSの電動ﾎﾟﾝﾌﾟ油圧ｱｼｽﾄの構造研究ができるようになる	51実	1
後期	28	金子	加藤	FCV	FCVの概要が説明できるようになる	51実	1
後期	29	金子	加藤	FCV	FCVの概要が説明できるようになる	51実	1
後期	30	金子	加藤	FCV	FCVの概要が説明できるようになる	51実	1
後期	31	金子	加藤	チームGP	G20038～G20041	教室	1
後期	32	金子	加藤	チームGP	G20038～G20041	教室	1
後期	33	金子	加藤	チームGP	G20038～G20041	教室	1
後期	34			定期試験			1
後期	35			定期試験			1
後期	36			片付け			1

2023年度 ｴﾝｼﾞﾝ電子制御（新技術） シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	24

	ｴﾝｼﾞﾝ電子制御（新技術）	
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー	豆田　千尭
1.授業概要と履修前提	ｴﾝｼﾞﾝ新技術（筒内噴射、ｺﾓﾝﾚｰﾙ等）に関する知識を身に付ける。 国家一級試験に必要な知識を身につける。	
2.教科の到達目標	・ｴﾝｼﾞﾝ新技術に関する理解を深める。 ・国家一級国家試験に必要な知識を深める。	
3.使用教科書、準備品	一級自動車整備士　新技術	
4.授業時間	後期　24	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている	
	(〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている	
	(〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている	
	(△)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験（10%）、定期試験（90%）、で、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科：ｴﾝｼﾞﾝ電子制御（新技術））

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	D-4ｴﾝｼﾞﾝ概要が理解できる	教室	2
後期	2	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	燃焼方式　成層/均質が理解できる	教室	1
後期	3	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	燃焼方式　弱成層が理解できる	教室	1
後期	4	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	ﾌｭｰｴﾙｼｽﾃﾑが理解できる	教室	1
後期	5	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	インテークｼｽﾃﾑ、気流制御が理解できる	教室	1
後期	6	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	エキゾーストｼｽﾃﾑ、触媒が理解できる	教室	1
後期	7	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	ｴﾝｼﾞﾝｺﾝﾄﾛｰﾙｼｽﾃﾑが理解できる	教室	2
後期	8	久保田	豆田	筒内噴射ｴﾝｼﾞﾝ	その他の制御が理解できる	教室	1
後期	9	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	概要、構成、燃料装置が理解できる	教室	2
後期	10	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射量制御が理解できる	教室	1
後期	11	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	アイドル回転数制御が理解できる	教室	1
後期	12	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	E-EGR制御、電子吸気制御が理解できる	教室	1
後期	13	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	燃料噴射時期制御	教室	2
後期	14	久保田	豆田	ｺﾓﾝﾚｰﾙ	概要が理解できる	教室	2
後期	15	久保田	豆田	ｺﾓﾝﾚｰﾙ	構造機能が理解できる	教室	1
後期	16	久保田	豆田	ｺﾓﾝﾚｰﾙ	噴射量、噴射時期が理解できる	教室	1
後期	17	久保田	豆田	定期試験		教室	2
後期	18	久保田	豆田	解答公開		教室	1

2023年度 ｴﾝｼﾞﾝ電子制御実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	38

	ｴﾝｼﾞﾝ電子制御実習	
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー	豆田　千尭
1.授業概要と履修前提	・ｶﾞｿﾘﾝ直噴(D-4)ｴﾝｼﾞﾝ、ｺﾓﾝﾚｰﾙﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ、EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ、ﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞﾀｰﾎﾞなど新機構	
2.教科の到達目標	・エンジン電子制御の学科で学んだことを、今回の実習を通して確認し理解度を増す。 ・波形観測やデータモニターから何が解るのか、また正常か異常の判断ができるようにする。 波形観測は**細かい時間の変化に気をつけながら観測**する。(制御が短時間のため変化が小さい)	
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　3・4STEP ・パソコン(技術マニュアル)　GTS(TaSCAN)	
4.授業時間	後期　36	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート(10%)、定期試験(90%)、で、合計60%以上で合格	

授業計画表(実習:ｴﾝｼﾞﾝ電子制御実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	高圧ﾌｭｰｴﾙﾎﾟﾝﾌﾟ制御のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	2	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	高圧ﾌｭｰｴﾙﾎﾟﾝﾌﾟ制御を理解し、まとめられる	実習場	1
後期	3	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	燃料噴射形態の検証、ﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	4	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	燃料噴射形態をまとめることができる。	実習場	1
後期	5	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	ｲﾝｼﾞｪｸﾀの駆動波形のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	6	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	点火波形のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	7	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	点火波形の検証	実習場	1
後期	8	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	回転負荷と燃焼状態のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	9	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	電子制御ｽﾛｯﾄﾙ波形のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	10	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	EGRﾊﾞﾙﾌﾞ作動,制御のﾃﾞｰﾀ取り	実習場	1
後期	11	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	次世代D-4との比較	実習場	1
後期	12	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	直噴のみと、筒内噴射との使い分けを学ぶ	実習場	1
後期	13	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	D-4Sとの比較、OBDの違いを理解	実習場	1
後期	14	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝﾃﾞｰﾀ収集	D-4Sとの比較、ペンディングコード、ﾀﾞｲｱｸﾞ消去、復帰	実習場	1
後期	15	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙﾃﾞｰﾀ収集1KD	燃料噴射量制御、EDUの場所、役割が分かる。	実習場	1
後期	16	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙﾃﾞｰﾀ収集1KD	燃料噴射量制御＃10、INJF	実習場	1
後期	17	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙﾃﾞｰﾀ収集1KD	燃料噴射量制御、パイロット・メイン噴射	実習場	1
後期	18	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙﾃﾞｰﾀ収集1KD	燃料噴射量制御PM強制再生中の波形の理解	実習場	1
後期	19	久保田	豆田	EFIﾃﾞｨｰｾﾞﾙﾃﾞｰﾀ収集1KD	排気絞り弁の働きが分かる。	実習場	1
後期	20	久保田	豆田	G20006、G20007, G20024	チームGP	実習場	1
後期	21	久保田	豆田	G20020～G20023	チームGP	実習場	1
後期	22	久保田	豆田	G20020～G20023	チームGP	実習場	1
後期	23	久保田	豆田	G20020～G20023	チームGP	実習場	1
後期	24	久保田	豆田	G20020～G20023	チームGP	実習場	1
後期	25	久保田	豆田	G20020～G20023	チームGP	実習場	1
後期	26	久保田	豆田	構造・特徴確認	ﾌｭｰｴﾙｼｽﾃﾑ、ﾀﾞｲﾅｴﾝｼﾞﾝで部品配置	実習場	1
後期	27	久保田	豆田	構造・特徴確認	ﾌｭｰｴﾙｼｽﾃﾑDPF装置の関係の理解	実習場	1
後期	28	久保田	豆田	構造・特徴確認	ｴﾝｼﾞﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ/ｸﾞﾛｰｼｽﾃﾑ、1KZのグローと水温の関係が分	実習場	1
後期	29	久保田	豆田	構造・特徴確認	ｴﾝｼﾞﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ/ｸﾞﾛｰｼｽﾃﾑ	実習場	1
後期	30	久保田	豆田	制御波形観測	噴射量/噴射時期がそれぞれのｴﾝｼﾞﾝで理解できる。	実習場	1
後期	31	久保田	豆田	ﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞﾀｰﾎﾞ	部品配置、構造	実習場	1
後期	32	久保田	豆田	D－4s	J-OBD Ⅱのﾀﾞｲｱｸﾞ判定	実習場	1
後期	34	久保田	豆田	**定期試験**	0	実習場	2
後期	36	久保田	豆田	**準備片付け**	0	実習場	2

2023年度 材料力学（選択応用力学） シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	18

	材料力学（選択応用力学）	
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー	加藤　直人
1.授業概要と履修前提	力（荷重）が材料に及ぼす影響を考え、強度や設計の基礎を学ぶ。	
2.教科の到達目標	はりに加わるせん断力、モーメント、応力、たわみが計算できる。 せん断力、曲げモーメントが計算できる。せん断力図、曲げモーメント図が描ける。 教科書の例題を解くことができる。	
3.使用教科書、準備品	「三訂　材料力学」 関数電卓	
4.授業時間	後期　16	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験、定期試験（ともに筆記試験）	

授業計画表(学科：材料力学（選択応用力学))

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子	加藤	はりとつりあい	せん断力、曲げモーメントの概要が理解できる	教室	1
後期	2	金子	加藤	はりとつりあい	せん断力、曲げモーメントの計算が理解できる	教室	1
後期	3	金子	加藤	はりとつりあい	せん断力図、曲げモーメント図をかくことができる	教室	1
後期	4	金子	加藤	片持ちばり	せん断力、曲げモーメントの計算が理解できる	教室	1
後期	5	金子	加藤	片持ちばり	せん断力図、曲げモーメント図をかくことができる	教室	1
後期	6	金子	加藤	単純ばり	せん断力、曲げモーメントの計算が理解できる	教室	1
後期	7	金子	加藤	単純ばり	せん断力図、曲げモーメント図をかくことができる	教室	1
後期	8	金子	加藤	はりに生じる応力	曲げ応力が理解できる	教室	1
後期	9	金子	加藤	はりに生じる応力	断面二次モーメントが理解できる	教室	1
後期	10	金子	加藤	はりに生じる応力	断面係数を含めた計算が理解できる	教室	1
後期	11	金子	加藤	はりの強さを求める基本式	はりの断面形状と強さの概要が理解できる	教室	1
後期	12	金子	加藤	はりの強さを求める基本式	はりの断面形状と強さの計算が理解できる	教室	1
後期	13	金子	加藤	はりとたわみ	たわみの計算が理解できる	教室	1
後期	14	金子	加藤	はりとたわみ	たわみの計算が理解できる	教室	1
後期	15	金子	加藤	練習問題	全ての問題を解くことができる	教室	1
後期	16	金子	加藤	解答公開		教室	1

2023年度 振動騒音診断技術 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	24

	振動騒音診断技術			
教員名 実務経験	伊藤　亮		小林　治彦	
			自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・官能的な表現で表す振動・騒音の基礎知識を身につける，一級自動車整備士の振動騒音知識を修得する ・お客様の官能的要素の振動・騒音についてトラブルシュートができる **☆自動車ﾒｰｶｰおよび販売店での整備経験者により、専門知識を学ぶ**			
2.教科の到達目標	・振動・騒音の発生のメカニズムを理解できる ・振動・騒音の防止，抑制策を作ることができる ・一級自動車整備士の振動騒音問題を理解できる			
3.使用教科書、準備品	・1級テキスト　シャシ電子制御　　・関数電卓 ・トヨタサービス　技術テキスト　STEP4 ・トヨタのテキスト　自動車の振動　騒音			
4.授業時間	後期	22	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(△)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験20%，定期試験80%			

授業計画表(学科：振動騒音診断技術)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	振動と騒音	基礎知識の概要/振動と音を理解する	教室	1
後期	2	伊藤	小林	振動と騒音	基礎知識の概要/振動と音を理解する	教室	1
後期	3	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の振動の性質を理解する	教室	1
後期	4	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の振動の性質を理解する	教室	1
後期	5	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の自由振動を理解する	教室	1
後期	6	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の固有振動を理解する	教室	1
後期	7	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の振動強制力を理解する	教室	1
後期	8	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の共振を理解する	教室	1
後期	9	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の剛体振動を理解する	教室	1
後期	10	伊藤	小林	振動と騒音	振動の表し方の弾性振動を理解する	教室	1
後期	11	伊藤	小林	振動と騒音	音(騒音)の表し方の音の3要素を理解する	教室	1
後期	12	伊藤	小林	振動と騒音	音の感じ方の可聴範囲を理解する	教室	1
後期	13	伊藤	小林	振動と騒音	音の感じ方の共鳴/音圧ﾚﾍﾞﾙを理解する	教室	1
後期	14	伊藤	小林	振動と騒音	振動と騒音の防止の振動強制力を理解する	教室	1
後期	15	伊藤	小林	振動と騒音	振動と騒音の防止の各ﾀﾞﾝﾊﾟを理解する	教室	1
後期	16	伊藤	小林	振動と騒音	振動と騒音の防止の対策部品を理解する	教室	1
後期	17	伊藤	小林	振動と騒音	計測機器の振動,騒音計を理解する	教室	1
後期	18	伊藤	小林	振動と騒音	防止実用例のｴﾝｼﾞﾝでの対応を理解する	教室	1
後期	19	伊藤	小林	振動と騒音	防止実用例のｴﾝｼﾞﾝでの対応を理解する	教室	1
後期	20	伊藤	小林	振動と騒音	防止実用例のｼｬｼでの対応を理解する	教室	1
後期	21	伊藤	小林	振動と騒音	防止実用例の車体での対応を理解する	教室	1
後期	22	伊藤	小林	解答公開	解答公開で未履修内容を理解する	教室	1

2023年度 振動騒音診断実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	34

	振動騒音診断実習	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・振動騒音発生のメカニズムから、音の発生源を考える能力 ・与えられた整備目標に対してグループ内で作業内容や手順を摺り合わせ，少人数内での調整力 **☆自動車ﾒｰｶｰおよび販売店での整備経験者により、実践技能を学ぶ**	
2.教科の到達目標	・人によって違う振動・騒音レベルを官能で感じ取れる能力を養う ・自動車の振動・騒音の現象を計測機器を用いて振動発生原因を追究するプロセスを理解する ・振動騒音を再現し，振動騒音が発生する原因を突き止め，そのレベルがどのような原因なのかを知る	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト2ステップ　オートマチックトランスミッション ・一級自動車整備士（シャシ電子制御）	
4.授業時間	後期　32	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (〇)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験20%，定期試験80%	

授業計画表(実習：振動騒音診断実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	振動騒音	故障原因探求の準備車両移動、諸注意	51	1
後期	2	伊藤	小林	振動騒音	故障原因探求の準備車両移動、諸注意	51	1
後期	3	伊藤	小林	振動騒音	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
後期	4	伊藤	小林	振動騒音	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
後期	5	伊藤	小林	振動騒音	振動騒音分析器取扱いを理解する	51	1
後期	6	伊藤	小林	故障原因探求	ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	7	伊藤	小林	故障原因探求	ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	8	伊藤	小林	故障原因探求	ﾎｲｰﾙﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	9	伊藤	小林	故障原因探求	ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨを理解する	51	1
後期	10	伊藤	小林	故障原因探求	ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨを理解する	51	1
後期	11	伊藤	小林	故障原因探求	ﾕﾆﾌｫﾐﾃｨを理解する	51	1
後期	12	伊藤	小林	故障原因探求	ﾄﾙｸﾛｯﾄﾞすわり不良を理解する	51	1
後期	13	伊藤	小林	故障原因探求	ﾄﾙｸﾛｯﾄﾞすわり不良を理解する	51	1
後期	14	伊藤	小林	故障原因探求	ﾄﾙｸﾛｯﾄﾞすわり不良を理解する	51	1
後期	15	伊藤	小林	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	16	伊藤	小林	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	17	伊藤	小林	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝ2次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	18	伊藤	小林	故障原因探求	ﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	19	伊藤	小林	故障原因探求	ﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ1次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	20	伊藤	小林	故障原因探求	ﾌﾟﾛﾍﾟﾗｼｬﾌﾄ2次ｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	21	伊藤	小林	故障原因探求	冷却ﾌｧﾝｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	22	伊藤	小林	故障原因探求	冷却ﾌｧﾝｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	23	伊藤	小林	故障原因探求	冷却ﾌｧﾝｱﾝﾊﾞﾗﾝｽを理解する	51	1
後期	24	伊藤	小林	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝﾏｳﾝﾄ不良を理解する	51	1
後期	25	伊藤	小林	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝﾏｳﾝﾄ不良を理解する	51	1
後期	26	伊藤	小林	故障原因探求	ｴﾝｼﾞﾝﾏｳﾝﾄ不良を理解する	51	1
後期	27	伊藤	小林	故障原因探求	ｻﾎﾟｰﾄﾌﾟﾚｰﾄ不良を理解する	51	1
後期	28	伊藤	小林	故障原因探求	ｻﾎﾟｰﾄﾌﾟﾚｰﾄ不良を理解する	51	1
後期	29	伊藤	小林	故障原因探求	ｻﾎﾟｰﾄﾌﾟﾚｰﾄ不良を理解する	51	1
後期	30	伊藤	小林	故障原因探求	加振機取り扱いを理解する	51	1
後期	31	伊藤	小林	故障原因探求	加振機取り扱いを理解する	51	1
後期	32	伊藤	小林	故障原因探求	加振機取り扱いを理解する	51	1

2023年度　熱力学 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	授業時間計	19

	熱力学			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	・内燃機関に欠かせない熱力学の基礎を学び、ｴﾝｼﾞﾝの理解度をさらに向上させる。			
2.教科の到達目標	・熱力学の第0から第3法則までを学び、内燃機関のサイクルと熱変化を理解できる。 ・熱エネルギーと運動・位置エネルギーの関係性を理解し、計算することができる。			
3.使用教科書、準備品	・オリジナルテキスト			
4.授業時間	後期	17	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験（10%）、定期試験（90%）、で、合計60%以上で合格			

授業計画表(学科：熱力学)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	久保田	豆田	概要	物体または系とは何か、理解し説明できるようになる。	教室	1
後期	2	久保田	豆田	概要	状態量と状態式を理解し、式を立てられるようになる。	教室	1
後期	3	久保田	豆田	熱力学第0法則	温度とは、絶対温度、摂氏・華氏の変換ができる。	教室	1
後期	4	久保田	豆田	熱力学第0法則	熱平衡の理解、比熱へとつなげられる様に。	教室	1
後期	5	久保田	豆田	熱力学第1法則	熱量および比熱を理解し、練習問題が解ける。	教室	1
後期	6	久保田	豆田	熱力学第1法則	力学ｴﾈﾙｷﾞと熱ｴﾈﾙｷﾞが同じエネルギであることの理解を深	教室	1
後期	7	久保田	豆田	熱力学第1法則	第1永久機関が説明できる。	教室	1
後期	8	久保田	豆田	熱力学第2法則	熱力学第2法則が理解でき、説明できる。	教室	1
後期	9	久保田	豆田	熱力学第2法則	ｴﾝﾄﾛﾋﾟとは何か	教室	1
後期	10	久保田	豆田	熱力学第2法則	ｴﾝﾄﾛﾋﾟを求める方法を理解する。	教室	1
後期	11	久保田	豆田	熱力学第2法則	第2種永久機関が説明できるようになる。	教室	1
後期	12	久保田	豆田	熱力学第3法則	熱力学第3法則が理解でき、説明できる。	教室	1
後期	13	久保田	豆田	ｵｯﾄｰｻｲｸﾙ	サイクルのPV線図が理解でき、書けるようになる	教室	1
後期	14	久保田	豆田	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｻｲｸﾙ	サイクルのPV線図が理解でき、書けるようになる	教室	1
後期	15	久保田	豆田	ｻﾊﾞﾃｻｲｸﾙ	サイクルのPV線図が理解でき、書けるようになる	教室	1
後期	16	久保田	豆田	定期試験		教室	2

2023年度　流体力学 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	後期	教科時間計	18

	流体力学	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・流体の力のつりあい，運動の理論的を学ぶ ・工学の概念を卒業論文に生かす	
2.教科の到達目標	・流体技術を利用した装置を流体力学の観点から学び理解を深める ・ベルヌーイの定理を理解する ・文字列が何を意味しているのかを数式で理解する	
3.使用教科書、準備品		
4.授業時間	後期　16	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験(10%)、定期試験(90%)、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科:流体力学)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	流線/流管	流線と流管を理解できる	教室	1
後期	2	伊藤	小林	質量流量と体積流量	質量流量と体積流量を理解できる	教室	1
後期	3	伊藤	小林	連続の式	連続の式を理解できる	教室	1
後期	4	伊藤	小林	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理を理解できる	教室	1
後期	5	伊藤	小林	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理を理解できる	教室	1
後期	6	伊藤	小林	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理	ﾍﾞﾙﾇｰｲの定理を理解できる	教室	1
後期	7	伊藤	小林	ｷｬﾋﾞﾃｰｼｮﾝ	ｷｬﾋﾞﾃｰｼｮﾝを理解できる	教室	1
後期	8	伊藤	小林	粘性流体	粘性流体を理解できる	教室	1
後期	9	伊藤	小林	粘性流体	粘性流体を理解できる	教室	1
後期	10	伊藤	小林	粘性流体	粘性流体を理解できる	教室	1
後期	11	伊藤	小林	計算問題1	計算問題1を解くことができる	教室	1
後期	12	伊藤	小林	計算問題2	計算問題2を解くことができる	教室	1
後期	13	伊藤	小林	計算問題3	計算問題3を解くことができる	教室	1
後期	14	伊藤	小林	計算問題4	計算問題4を解くことができる	教室	1
後期	15	伊藤	小林	平常試験	平常試験で履修度を確認する	教室	1
後期	16	伊藤	小林	解答公開	解答公開で未履修内容を理解する	教室	1

2023年度　エスティメーション シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	学年末	教科時間計	32

	エスティメーション	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦
		自動車販売店
1.授業概要と履修前提	高度自動車科課程の特色の一つである「エスティメーション3級」の資格を取得する為の知識を得る **☆販売店での整備経験者により、実践技能を学ぶ**	
2.教科の到達目標	・セクション1で70%以上正解すること ・セクション2で70%以上正解すること	
3.使用教科書、準備品	・エスティメーション3級テキスト ・電卓	
4.授業時間	学年末　30	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている	
	・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている	
	・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている	
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	エスティメーションの試験で評価(100%)	

授業計画表(実習:エスティメーション)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	伊藤	小林	外板修正	事故受付け対応が理解できる	教室	1
学年末	2	伊藤	小林	外板修正	見積もりの概要を理解できる	教室	1
学年末	3	伊藤	小林	外板修正	見積もりに必要な知識が理解できる	教室	1
学年末	4	伊藤	小林	外板修正	ﾎﾞﾃﾞｰ構造を理解できる	教室	1
学年末	5	伊藤	小林	外板修正	衝撃波及と損傷診断を理解できる	教室	1
学年末	6	伊藤	小林	修理技法	修理方法の判断が理解できる	教室	1
学年末	7	伊藤	小林	修理技法	関連作業が理解できる	教室	1
学年末	8	伊藤	小林	料金算定	標準作業時間と料金算定ができる	教室	1
学年末	9	伊藤	小林	料金算定	標準時間の無い作業の料金が理解できる	教室	1
学年末	10	伊藤	小林	料金算定	塗装の標準作業時間の知識が理解できる	教室	1
学年末	11	伊藤	小林	料金算定	脱着・取替え作業が理解できる	教室	1
学年末	12	伊藤	小林	料金算定	脱着・取替え作業が理解できる	教室	1
学年末	13	伊藤	小林	料金算定	内板・骨格修正作業が理解できる	教室	1
学年末	14	伊藤	小林	料金算定	内板・骨格修正作業が理解できる	教室	1
学年末	15	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	外板修正範囲(小ﾀﾞﾒ)の把握できる	教室	1
学年末	16	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	外板修正範囲(小ﾀﾞﾒ)の把握できる	教室	1
学年末	17	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	塗装範囲と塗装料金算出ができる	教室	1
学年末	18	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	塗装範囲と塗装料金算出ができる	教室	1
学年末	19	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	ｴｽﾊﾟｰﾄⅡ取扱い,見積書作成ができる	教室	1
学年末	20	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	ｴｽﾊﾟｰﾄⅡ取扱い,見積書作成ができる	教室	1
学年末	21	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	総合診断ができる	教室	1
学年末	22	伊藤	小林	損傷診断,見積もり	総合診断ができる	教室	1
学年末	23	伊藤	小林	演習1	演習1を解くことができる	教室	1
学年末	24	伊藤	小林	演習2	演習2を解くことができる	教室	1
学年末	25	伊藤	小林	演習3	演習3を解くことができる	教室	1
学年末	26	伊藤	小林	演習4	演習4を解くことができる	教室	1
学年末	27	伊藤	小林	演習5	演習5を解くことができる	教室	1
学年末	28	伊藤	小林	演習6	演習6を解くことができる	教室	1
学年末	29	伊藤	小林	準備片付け		教室	1
学年末	30	伊藤	小林	準備片付け		教室	1

2023年度　ｴﾝｼﾞﾝ故障診断3 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	授業時間計	35

	ｴﾝｼﾞﾝ故障診断3			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	・故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。			
2.教科の到達目標	・故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする			
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　3・4STEP			
4.授業時間	学年末	35	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート評価100％			

授業計画表(実習：ｴﾝｼﾞﾝ故障診断3)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	1. ﾌﾞﾚｰｷﾌﾟﾚｯｼｬｾﾝｻﾀﾞｲｱｸﾞ	実習場	1
学年末	2	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	1. ﾌﾞﾚｰｷﾌﾟﾚｯｼｬｾﾝｻﾀﾞｲｱｸﾞ	実習場	1
学年末	3	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	1. ﾌﾞﾚｰｷﾌﾟﾚｯｼｬｾﾝｻﾀﾞｲｱｸﾞ	実習場	1
学年末	4	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	1. ﾌﾞﾚｰｷﾌﾟﾚｯｼｬｾﾝｻﾀﾞｲｱｸﾞ	実習場	1
学年末	5	久保田	豆田	1Gｴﾝｼﾞﾝ	2. ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
学年末	6	久保田	豆田	1Gｴﾝｼﾞﾝ	2. ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
学年末	7	久保田	豆田	1Gｴﾝｼﾞﾝ	2. ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
学年末	8	久保田	豆田	1Gｴﾝｼﾞﾝ	2. ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
学年末	9	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	3. ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
学年末	10	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	3. ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
学年末	11	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	3. ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
学年末	12	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	3. ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
学年末	13	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	4. 出力不足	実習場	1
学年末	14	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	4. 出力不足	実習場	1
学年末	15	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	4. 出力不足	実習場	1
学年末	16	久保田	豆田	D-4ｴﾝｼﾞﾝ	4. 出力不足	実習場	1
学年末	17	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	5. ﾘｰﾝ異常	実習場	1
学年末	18	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	5. ﾘｰﾝ異常	実習場	1
学年末	19	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	5. ﾘｰﾝ異常	実習場	1
学年末	20	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	5. ﾘｰﾝ異常	実習場	1
学年末	21	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	6. 出力不足	実習場	1
学年末	22	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	6. 出力不足	実習場	1
学年末	23	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	6. 出力不足	実習場	1
学年末	24	久保田	豆田	1NZ－FE(ｶﾛｰﾗ)	6. 出力不足	実習場	1
学年末	25	久保田	豆田	1NZ－FE(ﾎﾟﾙﾃ)	7. 吸気圧力大、ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
学年末	26	久保田	豆田	1NZ－FE(ｽﾍﾟｲﾄﾞ)	7. 吸気圧力大、ｱｲﾄﾞﾙ不調	実習場	1
学年末	27	久保田	豆田	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ	8. ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
学年末	28	久保田	豆田	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ	8. ｴﾝｼﾞﾝ不調	実習場	1
学年末	29	久保田	豆田		9. 国家試験プリント新技術内容の理解	実習場	1
学年末	30	久保田	豆田		9. 国家試験プリント新技術内容の理解	実習場	1
学年末	31	久保田	豆田	発表・確認		教室	1
学年末	32	久保田	豆田	発表・確認		教室	1
学年末	33	久保田	豆田	発表・確認		教室	1
学年末	34	久保田	豆田	発表・確認		教室	1
学年末	35	久保田	豆田	準備片付け		教室	1

2023年度 手仕上げ・機械工作実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	学年末	授業時間計	12

	手仕上げ・機械工作実習			
教員名 実務経験	久保田　健一 自動車メーカー		豆田　千尭	
1.授業概要と履修前提	機械工作の種類・特徴・作業を理解する。			
2.教科の到達目標	卒業研究等で行われる工作などの予備知識を付け、安全に作業ができるようになる。			
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス工具・計測器編			
4.授業時間	学年末	10	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(△)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(△)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	学科ノート提出と、故障探求レポートとの合算で評価			

授業計画表(実習：手仕上げ・機械工作実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	久保田	豆田	やすり/弓鋸	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	2	久保田	豆田	ﾄﾞﾘﾙ/ｽｸﾘｭｰｴｷｽﾄﾗｸﾀ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	3	久保田	豆田	ﾀｯﾌﾟ/ﾀﾞｲｽ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	4	久保田	豆田	ﾎﾞｰﾙ盤	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	5	久保田	豆田	旋盤	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	6	久保田	豆田	ﾌﾗｲｽ盤	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	7	久保田	豆田	ﾊﾟｲﾌﾟﾍﾞﾝﾀﾞｰ	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	8	久保田	豆田	溶接TIG・MAG	取扱いの注意点、名称を学び、基本作業ができるようになる。	実習場	1
学年末	10	久保田	豆田	準備・片付け			2

2023年度 車体構造・設計製図 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	教科時間計	15

	車体構造・設計製図	
教員名 実務経験	伊藤　亮	小林　治彦 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・エスティメーション3級資格に必要な自動車構造の知識を学ぶ ・自動車の構造と各部品名称を理解している、機械製図の作図と読図の基礎を理解していること **☆自動車ﾒｰｶｰおよび販売店での整備経験者により、専門知識を学ぶ**	
2.教科の到達目標	・外板，外装部品の名称や取り付け位置、材質、加工方法を理解できる ・自動車塗装や損傷の基礎知識を理解できる ・三角法の理解と簡単な機械部品を製図法に従って描けることができる	
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト1・3STEP ・トヨタサービスエスティメーションテキスト，エスティメーションノート一式（3冊） ・コンパス、分度器、定規、三角定規	
4.授業時間	学年末　15	
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (〇)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	エスティメーション（定期試験）60%，設計製図（レポート）20%，設計製図（CAD製図）20%	

授業計画表(学科：車体構造・設計製図)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	伊藤	小林	機械製図	機械製図の機械製図の線と文字の理解	教室	1
後期	2	伊藤	小林	機械製図	機械製図の投影法の正投影法、第三角投影法の理解	教室	1
後期	3	伊藤	小林	機械製図	機械製図の特殊表示法の部分投影図の理解	教室	1
後期	4	伊藤	小林	機械製図	機械製図の局部投影図の理解	教室	1
後期	5	伊藤	小林	機械製図	機械製図の回転投影図の理解	教室	1
後期	6	伊藤	小林	機械製図	機械製図の断面法の理解	教室	1
後期	7	伊藤	小林	機械製図	機械製図の寸法記入法の理解	教室	1
後期	8	伊藤	小林	ボデー形状	ボデー形状の乗用車ﾎﾞﾃﾞｰの分類の理解	教室	1
後期	9	伊藤	小林	ボデー構造	ボデー構造の外板部品の自動車の外板部品の理解	教室	1
後期	10	伊藤	小林	ボデー構造	ボデー構造の外装部品の自動車の外装部品の理解	教室	1
後期	11	伊藤	小林	ボデー構造	ボデー構造の樹脂とガラスの自動車用樹脂とガラスの理解	教室	1
後期	12	伊藤	小林	車体材料	車体材料の塗料の基礎の塗料と塗装の基礎の理解	教室	1
後期	13	伊藤	小林	車体構造	車体構造の損傷診断の基礎の鋼板の特性の理解	教室	1
後期	14	伊藤	小林	車体構造	車体構造の新型車の構造の新型車の構造と機能の理解	教室	1
後期	15	伊藤	小林	車両取り扱い	車両取り扱いのHV車取り扱いのHV車の事故対応方法の理	教室	1

2023年度 電装品電子制御実習(2) シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	授業時間計	45

	電装品電子制御実習(2)			
教員名 実務経験	金子　覚 自動車メーカー		加藤　直人	
1.授業概要と履修前提	TSS・EPS概要の理解 シャシ・電装装置に関する総合的な故障診断や、実験実習			
2.教科の到達目標	現象確認，原因の推定，点検方法の立案と実施，故障部位の発見までの流れを自分のものにする より実践的な不具合現象の把握・絞込み・原因の発見などの知識と技術習得する HVの特殊な制御を実験によって習得する			
3.使用教科書、準備品	1級自動車整備士　シャシ電子制御編，技術テキスト4ステップ			
4.授業時間	学年末	45	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	平常試験50%、レポート50%			

授業計画表(実習:電装品電子制御実習(2))

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	金子	加藤	HV故障探求	準備	51	1
後期	2	金子	加藤	HV故障探求	EPSの基礎が理解できる	51	1
後期	3	金子	加藤	HV故障探求	EPSの種類が言える	51	1
後期	4	金子	加藤	HV故障探求	EPSの制御が言える	51	1
後期	5	金子	加藤	HV故障探求	EPSの国家試験問題ができる	51	1
後期	6	金子	加藤	HV故障探求	Readyがたたないトラブルシュートができる	51	1
後期	7	金子	加藤	HV故障探求	Readyがたたないトラブルシュートができる	51	1
後期	8	金子	加藤	HV故障探求	Readyがたたないトラブルシュートができる	51	1
後期	9	金子	加藤	HV故障探求	Readyがたたないトラブルシュートができる	51	1
後期	10	金子	加藤	HV故障探求	Readyがたたないトラブルシュートができる	51	1
後期	11	金子	加藤	HV故障探求	モータフェイルセーフ走行実験にてデータがとれる	51	1
後期	12	金子	加藤	HV故障探求	モータフェイルセーフ走行実験にてデータがとれる	51	1
後期	13	金子	加藤	HV故障探求	モータフェイルセーフ走行実験にてデータがとれる	51	1
後期	14	金子	加藤	HV故障探求	モータフェイルセーフ走行実験にてデータがとれる	51	1
後期	15	金子	加藤	HV故障探求	モータフェイルセーフ走行実験にてデータがとれる	51	1
後期	16	金子	加藤	HV故障探求	HV走行不良車のトラブルシュートができる	51	1
後期	17	金子	加藤	HV故障探求	HV走行不良車のトラブルシュートができる	51	1
後期	18	金子	加藤	HV故障探求	HV走行不良車のトラブルシュートができる	51	1
後期	19	金子	加藤	HV故障探求	HV走行不良車のトラブルシュートができる	51	1
後期	20	金子	加藤	HV故障探求	HV走行不良車のトラブルシュートができる	51	1
後期	21	金子	加藤	HV故障探求	EPS実験により作動の特性を把握できる	51	1
後期	22	金子	加藤	HV故障探求	EPS実験により作動の特性を把握できる	51	1
後期	23	金子	加藤	HV故障探求	EPS実験により作動の特性を把握できる	51	1
後期	24	金子	加藤	HV故障探求	EPS実験により作動の特性を把握できる	51	1
後期	25	金子	加藤	HV故障探求	EPS実験により作動の特性を把握できる	51	1
後期	26	金子	加藤	HV故障探求	ガソリン車とHV車のトラブルの違いがわかる	51	1
後期	27	金子	加藤	HV故障探求	ガソリン車とHV車のトラブルの違いがわかる	51	1
後期	28	金子	加藤	HV故障探求	ガソリン車とHV車のトラブルの違いがわかる	51	1
後期	29	金子	加藤	HV故障探求	ガソリン車とHV車のトラブルの違いがわかる	51	1
後期	30	金子	加藤	HV故障探求	ガソリン車とHV車のトラブルの違いがわかる	51	1
後期	31	金子	加藤	HV故障探求	燃費診断の方法を理解できる	51	1
後期	32	金子	加藤	HV故障探求	燃費診断の方法を理解できる	51	1
後期	33	金子	加藤	HV故障探求	燃費診断の方法を理解できる	51	1
後期	34	金子	加藤	HV故障探求	燃費診断の方法を理解できる	51	1
後期	35	金子	加藤	HV故障探求	燃費診断の方法を理解できる	51	1
後期	36	金子	加藤	チームGP	G20185～G20188	51	1
後期	37	金子	加藤	チームGP	G20192～G20193	51	1
後期	38	金子	加藤	チームGP	G20121～G20122	51	1
後期	39	金子	加藤	チームGP	G20121～G20122	51	1
後期	40	金子	加藤	チームGP	G20121～G20122	51	1
後期	41～42	金子	加藤	HV故障探求	TSSのエーミング作業ができるようになる	51	2
後期	43～44	金子	加藤	HV故障探求	TSSのエーミング作業ができるようになる	51	2
後期	45	金子	加藤	HV故障探求	片付け	51	1

2023年度　法学概論 シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	学年末	授業時間計	16

	法学概論			
教員名 実務経験	外部講師		0	
	専門家			
1.授業概要と履修前提	自動車の知識だけではなく、幅広い教養を習得する ⇒インターンシップに向けて社会的な『法』の概念を学ぶ			
2.教科の到達目標	法学に対する基本的知識を習得する			
3.使用教科書、準備品	配布ﾌﾟﾘﾝﾄ			
4.授業時間	学年末	16	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	授業内確認試験の評価100％			

授業計画表(学科：法学概論)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	外部講師	1.法学導入	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	2	外部講師	2.刑法の目的機能	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	3	外部講師	3.罪刑法定主義	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	4	外部講師	4.構成要件	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	5	外部講師	5.実行行為と因果関係	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	6	外部講師	6.不作為犯と間接正犯	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	7	外部講師	7.意思表示・法律行為	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	8	外部講師	8.心裡留保	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	9	外部講師	9.通謀虚偽表示	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	10	外部講師	10.善意と悪意	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	11	外部講師	11.契約	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	12	外部講師	12.担保(人的.物的)	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	13	外部講師	13.債務不履行	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	14	外部講師	14.不法行為	具体的な事例を基に概要を理解できる	教室	1
学年末	15		確認試験			1
学年末	16		解答公開			1

2023年度　総合実習Ⅰ シラバス

課程・学年	高度自動車科		3年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	通年	授業時間計	133

	総合実習Ⅰ			
教員名 実務経験	3年担当			
1.授業概要と履修前提	総合的な実習で整備士としての様々なスキルアップする。			
2.教科の到達目標				
3.使用教科書、準備品				
4.授業時間	通年	124	ー	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法				

授業計画表(実習:総合実習Ⅰ)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
通年	1	3年全員	0	0	実習場	0
通年	2	3年全員	0	0	実習場	0
通年	3	3年全員	0	0	実習場	0
通年	4	3年全員	0	0	実習場	0
通年	5	3年全員	整備技術	トヨ検3級	実習場	17
通年	6	3年全員	整備技術	トヨ検3級	実習場	2
通年	7	3年全員	まとめ		実習場	35
通年	8	3年全員	卒業研究		実習場	53
通年	9	3年全員	卒業研究		実習場	14
通年	10	3年全員	確認試験		実習場	3

2023年度　ボデー通信制御 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	学科	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	23

	ボデー通信制御	
教員名 実務経験	高橋　一成 自動車メーカー	森　正美 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ボデー多重通信（CAN、LIN、AVC－LAN　Plus、MOST）の基礎の理解	
2.教科の到達目標	・国家試験1級筆記試験に必要な知識を身につける。 ・多重通信の知識を得ることで、自動車のECU間の通信データのやりとりが理解できる。 ・正しい故障診断の手順を習得する。	
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御	
4.授業時間	前期　23	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(〇)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている ・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	平常試験（20%）、定期試験（80%）、で、合計60%以上で合格	

授業計画表(学科：ボデー通信制御)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	高橋	森	多重通信の基礎知識	通信媒体,方法を理解する	教室	1
前期	2	高橋	森	多重通信の基礎知識	符号化,同期,ｴﾗｰﾁｪｯｸの方式の理解	教室	1
前期	3	高橋	森	多重通信の基礎知識	符号化,同期,ｴﾗｰﾁｪｯｸの方式の理解	教室	1
前期	4	高橋	森	多重通信の基礎知識	ｱｸｾｽ,ﾈｯﾄﾜｰｸの方式の理解	教室	1
前期	5	高橋	森	CANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙと速度,通信ﾌﾚｰﾑの理解	教室	1
前期	6	高橋	森	CANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙと速度,通信ﾌﾚｰﾑの理解	教室	1
前期	7	高橋	森	CANの基礎	国家1級試験内容理解	教室	1
前期	8	高橋	森	AVC-LANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ/ﾌﾚｰﾑ構成の理解	教室	1
前期	9	高橋	森	AVC-LANの基礎	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ/ﾌﾚｰﾑ構成の理解	教室	1
前期	10	高橋	森	AVC-LANの基礎	ﾏｽﾀｰ制御の理解,ｹﾞｰﾄｳｪｲECUの理解	教室	1
前期	11	高橋	森	AVC-LANの基礎	ﾏｽﾀｰ制御の理解,ｹﾞｰﾄｳｪｲECUの理解	教室	1
前期	12	高橋	森	CXPIの基礎知識	概要、規格	教室	1
前期	13	高橋	森	CXPIの基礎知識	KINとの違い、特徴	教室	1
前期	14	高橋	森	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾞｽライン断線,短絡の理解	教室	1
前期	15	高橋	森	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾊﾞｽライン断線,短絡の理解	教室	1
前期	16	高橋	森	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾌｪｲﾙｾｰﾌの理解	教室	1
前期	17	高橋	森	ﾄﾗﾌﾞﾙｼｭｰﾄ	ﾌｪｲﾙｾｰﾌの理解	教室	1
前期	18	高橋	森	LIN	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ,ﾌﾚｰﾑ,LINの理解	教室	1
前期	19	高橋	森	LIN	ﾌﾟﾛﾄｺﾙ,ﾌﾚｰﾑ,LINの理解	教室	1
前期	20	高橋	森	CASE、MaaS		教室	1
前期	21	高橋	森	定期試験		教室	1
前期	22	高橋	森	定期試験		教室	1
前期	23	高橋	森	解答公開		教室	1
					G20152、G20153も含める G20163－T01eテスト実施も含める		

2023年度 ボデー通信制御実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	2
実施期	前期	授業時間計	36

	ボデー通信制御実習	
教員名 実務経験	高橋　一成 自動車メーカー	森　正美 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ボデー通信の故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。	
2.教科の到達目標	・ボデー通信の故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする	
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　3・4STEP	
4.授業時間	前期　36	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート(10%)、定期試験(90%)	

授業計画表(実習:ボデー通信制御実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	高橋	森	車載多重通信	準備	実習場	1
前期	2	高橋	森	車載多重通信	車載多重通信基本項目	実習場	1
前期	3	高橋	森	車載多重通信	外部診断機を使用しCANバス診断ができる	実習場	1
前期	4	高橋	森	車載多重通信	外部診断機を使用しヘルスチェックができる	実習場	1
前期	5	高橋	森	車載多重通信	外部診断機を使用しダイアグ検知ができる	実習場	1
前期	6	高橋	森	車載多重通信	CAN通信メインバスライン断線について理解	実習場	1
前期	7	高橋	森	車載多重通信	CAN通信メインバスライン短絡について理解	実習場	1
前期	8	高橋	森	車載多重通信	CAN通信サブバスライン断線について理解	実習場	3
前期	9	高橋	森	車載多重通信	CAN通信サブバスライン短絡について理解	実習場	3
前期	10	高橋	森	車載多重通信	CAN通信セントラルゲートウェイの機能について理解	実習場	3
前期	11	高橋	森	車載多重通信	CAN通信セントラルゲートウェイのバス診断、ダイアグの理解	実習場	3
前期	12	高橋	森	車載多重通信	AVC－LANの制御、現象を理解	実習場	3
前期	13	高橋	森	車載多重通信	LINの制御、現象を理解	実習場	3
前期	14	高橋	森	車載多重通信	MOSTの制御、現象を理解	実習場	3
前期	15	高橋	森	車載多重通信	国家1級試験に対応した知識を得る	実習場	5
前期	16	高橋	森	車載多重通信	定期試験	実習場	2
前期	17	高橋	森	車載多重通信	片付け	実習場	1

2023年度　故障探求実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	1
実施期	前期	授業時間計	38

	故障探求実習	
教員名 実務経験	谷川　涼太	阿知破　大祐 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・故障診断に必要な基礎知識を学び探究心及び原因追求力を高める。	
2.教科の到達目標	・故障診断技術を習得するための基礎知識を得る ・得た知識を生かし、故障診断実習で自分のスキルを高める準備をする ・正しい故障診断の手順を自分のものにする	
3.使用教科書、準備品	・1級テキストエンジン電子制御 ・トヨタサービス　3・4STEP	
4.授業時間	前期　36	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート(40%)、平常試験(10%)、定期試験(50%)	

授業計画表(実習：故障探求実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	準備	実習場	1
前期	2	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ｽﾏｰﾄｷｰ効かない	実習場	1
前期	3	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ｽﾏｰﾄｷｰ効かない	実習場	1
前期	4	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ｽﾏｰﾄｷｰ効かない	実習場	1
前期	5	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ｽﾏｰﾄｷｰ効かない	実習場	1
前期	6	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ｴﾝｼﾞﾝ調子悪い	実習場	1
前期	7	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ｴﾝｼﾞﾝ調子悪い	実習場	1
前期	8	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ｴﾝｼﾞﾝ調子悪い	実習場	1
前期	9	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ｴﾝｼﾞﾝ調子悪い	実習場	1
前期	10	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ワイヤレスドアロック効かない	実習場	1
前期	11	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ワイヤレスドアロック効かない	実習場	1
前期	12	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ワイヤレスドアロック効かない	実習場	1
前期	13	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ワイヤレスドアロック効かない	実習場	1
前期	14	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ドアが閉まらない(にくい)	実習場	1
前期	15	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ドアが閉まらない(にくい)	実習場	1
前期	16	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ドアが閉まらない(にくい)	実習場	1
前期	17	谷川　阿知破	車両(ﾎﾞﾃﾞｰ電装)	ドアが閉まらない(にくい)	実習場	1
前期	18	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ起動せず	実習場	1
前期	19	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ起動せず	実習場	1
前期	20	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ起動せず	実習場	1
前期	21	谷川　阿知破	車両(ｴﾝｼﾞﾝ)	ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ起動せず	実習場	1
前期	22	谷川　阿知破	国家試験問題	故障探究	実習場	1
前期	23	谷川　阿知破	国家試験問題	故障探究	実習場	1
前期	24	谷川　阿知破	国家試験問題	故障探究	実習場	1
前期	25	谷川　阿知破	国家試験問題	故障探究	実習場	1
前期	26	谷川　阿知破	まとめ		実習場	1
前期	27	谷川　阿知破	まとめ		実習場	1
前期	28	谷川　阿知破	まとめ		実習場	1
前期	29	谷川　阿知破	保険商品教育制度	新種/傷害	実習場	1
前期	30	谷川　阿知破	保険商品教育制度	新種/傷害	実習場	1
前期	31	谷川　阿知破	保険商品教育制度	新種/傷害	実習場	1
前期	32	谷川　阿知破	保険商品教育制度	自動車	実習場	1
前期	33	谷川　阿知破	保険商品教育制度	自動車	実習場	1
前期	34	谷川　阿知破	保険商品教育制度	自動車	実習場	1
前期	35	谷川　阿知破	保険商品教育制度	定期試験	実習場	1
前期	36	谷川　阿知破	片付け		実習場	1

2023年度　総合実習Ⅱ シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	前期	授業時間計	54

	総合実習Ⅱ			
教員名 実務経験	谷川　涼太		阿知破　大祐 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・法令定期点検（12ヶ月、24ヶ月）整備、その他の点検（1ヶ月、6ヶ月、プロケア10）整備作業技術の習得 ・技術指導力向上とインターンシップに向けての予備知識・技術の習得			
2.教科の到達目標	・各種点検整備と記録簿の記載をミスなくできるようにする ・トヨタ検定3級指導と点検整備を通して、他人とのコミュニケーション能力を向上させ、作業をミスゼロにする ・ai21を使用した整備作業の流れが分かる			
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス技術テキスト　導入教育編			
4.授業時間	前期	54	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検整備を正確に行う技能を身につけている ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート100％			

授業計画表(実習：総合実習Ⅱ)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	6	谷川　阿知破	ﾄﾖﾀ検定3級	ﾄﾖﾀ検定3級の打ち合わせ、3年生の試験監督ができるようになる	教室	6
前期	9	谷川　阿知破	定期点検	国家試験問題（自動車点検整備）ができるようになる	教室	3
前期	10	谷川　阿知破	定期点検	国家試験問題（自動車点検整備）ができるようになる	教室	1
前期	14	谷川　阿知破	ﾄﾖﾀ検定3級	ﾄﾖﾀ検定3級の打ち合わせ、3年生の試験監督ができるようになる	51	4
前期	18	谷川　阿知破	ﾄﾖﾀ検定3級	ﾄﾖﾀ検定3級の打ち合わせ、3年生の試験監督ができるようになる	51	4
前期	20	谷川　阿知破	ﾄﾖﾀ検定3級	ﾄﾖﾀ検定3級の打ち合わせ、3年生の試験監督ができるようになる	51	2
前期	21	谷川　阿知破	ai21の取り扱い	ai21の取り扱いのシステム概要を理解し、基本操作ができるようにな	CAI	1
前期	22	谷川　阿知破	ai21の取り扱い	ai21帳票作成ができるようになる	CAI	1
前期	23	谷川　阿知破	ai21の取り扱い	ai21を使用した業務ロープレができるようになる	CAI	1
前期	24	谷川　阿知破	定期点検	定期点検整備作業に必要な工具、油脂等の準備ができるようになる	51	1
前期	27	谷川　阿知破	定期点検	1,6無点 12検のﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ、ｺｲﾙS/G交換ができるようになる	51	3
前期	29	谷川　阿知破	定期点検	1,6無点 12検の油脂交換(ATF､D/F油､PS油)ができるようになる	51	2
前期	31	谷川　阿知破	定期点検	12検+ﾌﾟﾛｹｱ10のｸｲｯｸ整備(ｵｲﾙ､ﾌｨﾙﾀ､ﾜｲﾊﾟ等)ができるようになる	51	2
前期	34	谷川　阿知破	定期点検	12検のﾏｽﾀｼﾘﾝﾀﾞｷｯﾄ、ﾌﾞﾚｰｷﾎｰｽ交換ができるようになる	51	3
前期	36	谷川　阿知破	定期点検	12検と24検のｼﾘﾝﾀﾞｷｯﾄ交換､Rﾌﾞﾚｰｷｼｭｰ交換ができるようになる	51	2
前期	39	谷川　阿知破	定期点検	24検のﾌﾙｰﾄﾞ交換,ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙ交換ができるようになる	51	3
前期	42	谷川　阿知破	定期点検	24検のﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙとｼﾋﾞｱｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝ点検整備ができるようになる	51	3
前期	45	谷川　阿知破	定期点検	24検+ﾌﾟﾛｹｱ10のﾀｲﾑﾄﾗｲｱﾙ､ｵﾙﾀﾈｰﾀとVﾍﾞﾙﾄ交換ができるようになる	51	3
前期	48	谷川　阿知破	定期点検	24検+ﾌﾟﾛｹｱ10のﾌﾙｰﾄﾞ交換､LLC(含むｲﾝﾊﾞｰﾀ)交換ができるようになる	51	3
前期	50	谷川　阿知破	定期点検	12ヶ月点検作業の未実施車両で不足分作業を行うことができる	51	2
前期	53	谷川　阿知破	定期点検	受入れから作業の流れ、整備作業における注意事項がまとめられるようになる	51	3
前期	54	谷川　阿知破	定期点検	工具、油脂等の片付け、4Sができるようになる	51	1

2023年度 故障探求体験実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	前期	授業時間計	63

	故障探求体験実習			
教員名 実務経験	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当 自動車販売店			
1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで、自己技術を認識させると共に実務能力や、今後の学内教育への意欲及び就職後の職業生活に対する適応力を高める。			
2.教科の到達目標	・外部診断機を用いた故障探求の習熟及び安全管理の取り組みを理解する ・得た知識を生かし、故障探求業務で自分のスキルを高める準備をする ・就職後に即戦力となる			
3.使用教科書、準備品	1級自動車整備士　環境・安全テキスト トヨタサービス　3ステップ4ステップ			
4.授業時間	前期	63	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	ｲﾝﾀｰﾝ先による評価(100%)			

授業計画表(実習:故障探求体験実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	安全管理	始業前の工場内4Sについて理解する	販売店	3
前期	2	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	安全管理	作業中の工場内4Sについて理解する	販売店	3
前期	3	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	安全管理	作業後の工場内4Sについて理解する	販売店	3
前期	4	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	安全管理	工具の整理整頓・管理について理解する	販売店	3
前期	5	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	安全管理	販売店における災害防止の取り組みについて理解する	販売店	2
前期	6	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	安全管理	工場設備・機器の維持管理の取り組みについて理解する	販売店	2
前期	7	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	外部診断機を用いてダイアグコードの確認ができる	販売店	6
前期	8	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	外部診断機を用いて初期設定ができる	販売店	6
前期	9	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	外部診断機を用いてカスタマイズができる	販売店	6
前期	10	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	各種測定機器を使用することができる	販売店	6
前期	11	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	各種測定結果が理解できる	販売店	6
前期	12	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	故障個所の切り分けができる	販売店	6
前期	13	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	故障診断	故障個所の特定ができる	販売店	11

2023年度 総合診断体験実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	前期	授業時間計	63

	総合診断体験実習	
教員名 実務経験	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで、自己技術を認識させると共に実務能力や、今後の学内教育への意欲及び就職後の職業生活に対する適応力を高める。	
2.教科の到達目標	・受付・引渡し業務およびai21ｼｽﾃﾑの基本操作の習熟、安全管理の取組を理解する ・得た知識を生かし、故障探求業務で自分のスキルを高める準備をする ・就職後に即戦力となる	
3.使用教科書、準備品		
4.授業時間	前期 63	－ 0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	ｲﾝﾀｰﾝ先による評価(100%)	

授業計画表(実習:総合診断体験実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	環境保全	販売会社の取り組み方を理解する	販売店	3
前期	2	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	環境保全	ゴミの分別ができる	販売店	3
前期	3	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	環境保全	産業廃棄物の処理について理解する	販売店	2
前期	4	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	環境保全	再利用部品の活用について理解する	販売店	3
前期	5	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	環境保全	マニフェスト制度について理解する	販売店	2
前期	6	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	環境保全	自動車リサイクル法を理解する	販売店	3
前期	7	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	受付業務ができる	販売店	4
前期	8	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	引渡し業務ができる	販売店	4
前期	9	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	作業管理ボードによる作業管理が理解できる	販売店	4
前期	10	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	案内誘致活動ができる	販売店	4
前期	11	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	フォロー活動ができる	販売店	4
前期	12	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	お客様応対ができる	販売店	4
前期	13	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	ai21の基本操作ができる	販売店	4
前期	14	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	電子カタログで部品検索ができる	販売店	4
前期	15	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	入庫部品の管理・整頓ができる	販売店	4
前期	16	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	保証業務が理解できる	販売店	4
前期	17	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	板金・塗装の見積業務ができる	販売店	4
前期	18	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	総合診断	ﾘｺｰﾙ・ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ業務を理解する	販売店	3
						63

2023年度 点検整備体験実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	前期	授業時間計	154

	点検整備体験実習			
教員名 実務経験	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当 自動車販売店			
1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで、自己技術を認識させると共に実務能力や、今後の学内教育への意欲及び就職後の職業生活に対する適応力を高める。			
2.教科の到達目標	・定期点検作業及び付帯する整備作業を習熟 ・得た知識を生かし、定期点検業務で自分のスキルを高める準備をする ・就職後に即戦力となる			
3.使用教科書、準備品	ﾄﾖﾀｻｰﾋﾞｽ　ｽﾃｯﾌﾟ3、4			
4.授業時間	前期	154	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	ｲﾝﾀｰﾝ先による評価(100%)			

授業計画表(実習:点検整備体験実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	エンジンオイル補充、交換作業ができる	販売店	5
前期	2	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	オイルフィルタの交換ができる	販売店	5
前期	3	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	LLCの補充、交換作業ができる	販売店	5
前期	4	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	エアクリーナの清掃、交換作業ができる	販売店	5
前期	5	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ファンベルトの調整、交換ができる	販売店	5
前期	6	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	バッテリの充電、交換作業ができる	販売店	5
前期	7	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ワイパーラバーの交換作業ができる	販売店	5
前期	8	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	灯火類のバルブ交換作業ができる	販売店	5
前期	9	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	タイヤの空気圧調整作業ができる	販売店	5
前期	10	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	タイヤローテーション作業ができる	販売店	5
前期	11	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ホイールバランス調整作業ができる	販売店	5
前期	12	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ブレーキフルード交換作業ができる	販売店	5
前期	13	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ブレーキパッド交換作業ができる	販売店	5
前期	14	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ドラムブレーキの隙間調整作業ができる	販売店	5
前期	15	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	ブレーキホイールシリンダがオーバーホールできる	販売店	5
前期	16	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	タイミングベルト交換作業ができる	販売店	5
前期	17	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	点検整備記録簿が記載できる	販売店	5
前期	18	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	12カ月点検の流れを理解する	販売店	5
前期	19	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	24カ月点検の流れを理解する	販売店	6
前期	20	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	車検時必要点検項目を理解する	販売店	6
前期	21	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	車検ラインの検査機器の取り扱いを理解する	販売店	6
前期	22	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	洗車及び室内清掃などの納車準備について理解する	販売店	6
前期	23	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	新車納車点検・整備について理解する	販売店	6
前期	24	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	下回り・エンジンルームのスチーム洗浄できる	販売店	5
前期	25	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	下回りパスタ処理ができる	販売店	5
前期	26	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	プロケア10作業ができる	販売店	6
前期	27	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	新車無料点検ができる	販売店	6
前期	28	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	点検付帯作業について理解する	販売店	6
前期	29	ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ先担当者	各種点検整備	保安基準について理解する	販売店	6

2023年度　教育実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	後期	授業時間計	41

	教育実習	
教員名 実務経験	谷川　涼太	阿知破　大祐 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで習熟してきた定期点検作業を3年生に伝達することで人材育成力を育む	
2.教科の到達目標	・定期点検作業を後輩に指導することで人材育成力を育む ・点検作業の習熟 ・就職後に即戦力となる	
3.使用教科書、準備品	・3STEP、4STEP	
4.授業時間	後期　41	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	5項目の平常ﾁｪｯｸにて評価（100%）	

授業計画表(実習：教育実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	指導手順を計画できる	実習場	2
後期	2	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	指導内容の準備を行う	実習場	1
後期	3	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	安全作業を確認し正確な作業を指導できる	実習場	2
後期	4	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	指導内容の再確認を行う	実習場	1
後期	5	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	点検及び記録簿記載方法の説明ができる	実習場	3
後期	6	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	習熟練習の指導（2級）	実習場	4
後期	7	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	習熟練習の指導（3級）	実習場	4
後期	8	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	習熟練習の指導（4級）	実習場	4
後期	9	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	確認試験（技術ﾁｪｯｸ）準備	実習場	4
後期	10	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ（1回目）	実習場	4
後期	11	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ（2回目）	実習場	4
後期	12	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	集計作業	実習場	2
後期	13	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ後の指導（2級）	実習場	2
後期	14	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ後の指導（3級）	実習場	2
後期	15	谷川　阿知破	教育実習Ⅱ	技術ﾁｪｯｸ後の指導（4級）	実習場	2

2023年度　経営学Ⅱ シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	学科	定期試験時間	0
実施期	後期	授業時間計	15

	経営学Ⅱ			
教員名 実務経験	高橋　一成 自動車メーカー			
1.授業概要と履修前提	・経営学のベーシックな理論を「経営組織」「経営戦略」「技術経営」の3つの視点で学ぶ ・『大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる』(高橋伸夫著)をコンテンツの軸として進めるので 事前に読んでおくことが望ましい			
2.教科の到達目標	会社の経営を担う立場としての基礎知識を修得し、現場の人材としても経営の観点をもち、その知識を活かし企画などにおいて経営層に提案できる			
3.使用教科書、準備品	・ネット通信が可能なパソコンまたはタブレット、スマートフォン ・教科書は必要なし ・授業資料はダウンロード可能			
4.授業時間	後期	15	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(〇)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート(発表コメント)50%，課題発表プレゼン50%			

授業計画表(学科：経営学Ⅱ)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	高橋	経営組織論	組織デザインについて理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
後期	2	高橋	経営組織論	マクロ組織について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
後期	3	高橋	経営組織論	ﾘｰﾀﾞｰとﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝについて,自身に置き換えて考えることができる	HR	1
後期	4～5	高橋	経営戦略論	競争戦略について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	2
後期	6	高橋	経営戦略論	多角化戦略について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
後期	7	高橋	経営戦略論	全社戦略について理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
後期	8～9	高橋	経営戦略論	ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞのﾌﾚｰﾑﾜｰｸを,実社会の事例と関連付けができる	HR	2
後期	10	高橋	課題のリサーチ	課題についてﾘｻｰﾁし,気づきを得る	HR	1
後期	11	高橋	発表資料の作成	ﾘｻｰﾁ内容の発表用の資料を完成させる	HR	1
後期	12	高橋	発表資料の作成	ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄで解りやすい資料を作ることができる	HR	1
後期	13	高橋	技術経営	ﾃﾞﾌｧｸﾄｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞについて理解し,実社会の事例と関連付けができる	HR	1
後期	14～15	高橋	課題の発表	わかりやすいﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝと発表に対する改善提案ができる	HR	2

2023年度 故障探求評価実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	後期	授業時間計	72

	故障探求評価実習			
教員名 実務経験	高橋　一成 自動車メーカー		森　正美 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟで習熟した知識技術を振り返る ・トヨタ検定§2、§3を習熟			
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§2、§3を習熟 ・故障探求力の習熟 ・就職後に即戦力となる			
3.使用教科書、準備品	・3STEP、4STEP ・一級自動車整備士ｴﾝｼﾞﾝ電子制御装置			
4.授業時間	後期	72	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	レポート(50%)、トヨタ検定§2及び§3の実技試験(50%)			

授業計画表(実習：故障探求評価実習)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	高橋	森	準備・片付		実習場	3
後期	2	高橋	森	故障探求総合	故障探求(エンジン不具合)	実習場	5
後期	3	高橋	森	故障探求総合	故障探求(HV故障探求1)	実習場	5
後期	4	高橋	森	故障探求総合	故障探求(HV故障探求2)	実習場	5
後期	5	高橋	森	故障探求総合	故障探求(ﾁｪｯｸﾗﾝﾌﾟ点灯)	実習場	5
後期	6	高橋	森	故障探求総合	一級対策	実習場	4
後期	7	高橋	森	準備・片付		実習場	2
後期	8	高橋	森	TeamGP	セクション2習熟	実習場	20
後期	9	高橋	森	TeamGP	セクション3習熟	実習場	21
後期	10	高橋	森	トヨタ検定2級試験	70%	実習場	2

2023年度 点検整備評価実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	後期	授業時間計	56

	点検整備評価実習	
教員名 実務経験	谷川　涼太	阿知破　大祐 自動車販売店
1.授業概要と履修前提	・インターンシップで習熟した知識技術を振り返ると共に3年生へ伝達をおこない、人材育成力を養う ・トヨタ検定§4、§6を習熟	
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§4、§6を習熟 ・人材育成力を養う ・就職後に即戦力となる	
3.使用教科書、準備品		
4.授業時間	後期　56	－　0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	レポート(10%)、トヨタ検定§4及び§6の実技試験(90%)	

授業計画表(実習:点検整備評価実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	谷川　阿知破	体験実習まとめ	技術的な内容を共有し、自らのものにできる	実習場	2
後期	2	谷川　阿知破	体験実習まとめ	業務的な内容を共有し、自らのものにできる	実習場	2
後期	3	谷川　阿知破	体験実習まとめ	社会人として必要な知識を共有し、自らのものにできる	実習場	2
後期	4	谷川　阿知破	体験実習まとめ	GWTの資料作成、発表が出来る	実習場	2
後期	5	谷川　阿知破	準備	□	実習場	1
後期	6	谷川　阿知破	点検・整備方法の検討	**OJT(対3年) の方法考案できる**	実習場	2
後期	7	谷川　阿知破	片付け	□	実習場	1
後期	8	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	準備	実習場	1
後期	9	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	セクション4　習熟	実習場	20
後期	10	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	セクション6　習熟	実習場	21
後期	11	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	検定　70%	実習場	2

2023年度 総合診断評価実習 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	後期	授業時間計	47

	総合診断評価実習			
教員名 実務経験	谷川　涼太		阿知破　大祐 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・トヨタ検定§1、§5を習熟			
2.教科の到達目標	・トヨタ検定§1、§5を習熟 ・故障探求力の習熟 ・就職後に即戦力となる			
3.使用教科書、準備品	・トヨタサービス　3STEP、4STEP			
4.授業時間	後期	47	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	トヨタ検定§1及び§5の実技試験(100%)			

授業計画表(実習:総合診断評価実習)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
後期	1	谷川　阿知破	教材準備かたずけ		実習場	1
後期	2	谷川　阿知破	TEAM-GP	内容確認	実習場	2
後期	3	谷川　阿知破	TEAM-GP	§1ピストン外径の測定ができる	実習場	2
後期	4	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§1シリンダ内径の測定ができる	実習場	1
後期	5	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§1ピストンクリアランスが計算できる	実習場	1
後期	6	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§1良否判定ができる	実習場	1
後期	7	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§1オイル上がり、下がりの原因が特定できる	実習場	1
後期	8	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§1ピストンの脱着作業ができる	実習場	1
後期	9	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§2外部診断機を使用しダイアグ確認ができる	実習場	2
後期	10	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§2外部診断機を使用しデータモニタできる	実習場	1
後期	11	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§2外部診断機を使用しアクティブテストができる	実習場	2
後期	12	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§2切り分け法にて故障個所を特定できる	実習場	2
後期	13	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§3現象確認ができる	実習場	1
後期	14	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§3テスタにて電圧測定ができる	実習場	1
後期	15	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§3電源側から順に測定ができる	実習場	1
後期	16	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§3回路図が読める	実習場	2
後期	17	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§3正しいテスタの取り扱いができる	実習場	1
後期	18	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§3不具合個所の特定ができる	実習場	1
後期	19	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§4点検記録簿が書ける	実習場	1
後期	20	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§4タイヤの点検ができる	実習場	1
後期	21	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§4ブレーキの点検ができる	実習場	1
後期	22	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§4各種ペダルの点検ができる	実習場	1
後期	23	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§4ワイパーの点検ができる	実習場	1
後期	24	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§4各種良否判定ができる	実習場	2
後期	25	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§5EFIの学科的内容が理解できる	実習場	3
後期	26	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§5ATの学科的内容が理解できる	実習場	2
後期	27	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§5CVTの学科的内容が理解できる	実習場	2
後期	28	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§6オルタネータの内容が理解できる	実習場	2
後期	29	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§6HVの内容が理解できる	実習場	3
後期	30	谷川　阿知破	トヨタ検定2級内容	§6HV車両にて外部診断機を使用しデータモニタができる	実習場	2
後期	31	谷川　阿知破	トヨタ検定2級	検定試験　70%	実習場	2

2023年度　自動車法規Ⅱ シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	学科	定期試験時間	1
実施期	学年末	授業時間計	16

	自動車法規Ⅱ			
教員名 実務経験	高橋　一成 自動車メーカー		森　正美 自動車販売店	
1.授業概要と履修前提	・国家試験一級内容の自動車法規の知識を習得			
2.教科の到達目標	・国家試験一級合格に向けた知識の習得 ・就職後に整備士として必要な関連法規を習得			
3.使用教科書、準備品	・法令教材 ・法令教本			
4.授業時間	学年末	16	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	(◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	定期試験（100%）			

授業計画表(学科：自動車法規Ⅱ)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	高橋	森	自動車法規	道路運送車両法　総則を理解する	教室	1
学年末	2	高橋	森	自動車法規	道路運送車両法　自動車の登録を理解する	教室	1
学年末	3	高橋	森	自動車法規	道路運送車両法　保安基準を理解する	教室	1
学年末	4	高橋	森	自動車法規	道路運送車両法　点検整備を理解する	教室	1
学年末	5	高橋	森	自動車法規	道路運送車両法　検査を理解する	教室	1
学年末	6	高橋	森	自動車法規	自動車の整備事業を理解する	教室	1
学年末	7	高橋	森	自動車法規	道路運送車両法施工規則の別表を理解する	教室	1
学年末	8	高橋	森	自動車法規	自動車点検基準を理解する	教室	1
学年末	9	高橋	森	自動車法規	道路運送車両の保安基準を理解する	教室	1
学年末	10	高橋	森	自動車法規	保安基準を理解する(162条から170条)	教室	1
学年末	11	高橋	森	自動車法規	保安基準を理解する(171条から197条)	教室	1
学年末	12	高橋	森	自動車法規	保安基準を理解する(198条から218条)	教室	1
学年末	13	高橋	森	自動車法規	保安基準を理解する(219条から224条)	教室	1
学年末	14	高橋	森	自動車法規	保安基準を理解する(225条から237条)	教室	1
学年末	15	高橋	森	定期試験		教室	1
学年末	16	高橋	森	解答公開		教室	1

2023年度　総合実習Ⅲ シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	0
実施期	学年末	授業時間計	273

	総合実習Ⅲ			
教員名 実務経験	4年　担当		4年　担当	
1.授業概要と履修前提	・国家1級試験（筆記）で合格点（80％以上）を達成する。 ・国家1級試験（口述）で合格点（80％以上）を達成する。			
2.教科の到達目標	・過去の1級国家試験問題を全て理解できる ・過去のJAMCA問題を全て理解できる ・1級テキストの記載内容を全て理解し、内容を記憶できる			
3.使用教科書、準備品	・1級テキスト（エンジン、ｼｬｼ、新技術、安全環境） ・法令テキスト			
4.授業時間	学年末	273	－	0
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(◎)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている			
	(◎)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている			
	(◎)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている			
	・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている			
6.評価方法	定期試験（100％）、60％以上で合格			

授業計画表(実習：総合実習Ⅲ)

実施時期	回数	担当教員	テーマ	到達目標	教場	時間
学年末	1	4年	1級模擬試験	国家1級試験の合格点と部分点の理解	教室	1
学年末	2	4年	1級模擬試験	診断定期試験	教室	2
学年末	3	4年	販売店業務の分析	定期点検以外の整備ができる	教室	3
学年末	4	4年	販売店業務の分析	車両整備以外のサービス業務が理解できる	教室	3
学年末	5	4年	販売店業務の分析	接客業務の概要が理解できる	教室	2
学年末	6	4年	販売店業務の分析	自己のスキルアップ目標が設定できる	教室	2
学年末	7	4年	国家1級口述練習	問診の質問項目が全て理解できる	教室	6
学年末	8	4年	国家1級口述練習	問診結果から不具合部位が予測できる	教室	6
学年末	9	4年	国家1級口述練習	作業内容の説明ができる	教室	6
学年末	10	4年	国家1級口述練習	不具合、交換部品の説明ができる	教室	6
学年末	11	4年	国家1級口述練習	計測値から正常、異常の判定ができる	教室	6
学年末	12	4年	国家1級口述練習	制限時間内に全ての項目が質問、説明できる	教室	6
学年末	13	4年	JAMCA模擬試験（口述）	過去問題の実施（2021年度）	教室	2
学年末	14	4年	JAMCA模擬試験（口述）	過去問題の実施（2020年度）	教室	2
学年末	15	4年	JAMCA模擬試験（口述）	過去問題の実施（2019年度）	教室	2
学年末	16	4年	JAMCA模擬試験（口述）	過去問題の実施（2018年度）	教室	1
学年末	17	4年	国家1級内容復習	装置別○×問題の理解（ｴﾝｼﾞﾝ）	教室	10
学年末	18	4年	国家1級内容復習	装置別○×問題の理解（ｼｬｼ）	教室	10
学年末	19	4年	国家1級内容復習	装置別○×問題の理解（ｴﾚｷ）	教室	10
学年末	20	4年	国家1級内容復習	装置別○×問題の理解（法令）	教室	10
学年末	21	4年	国家1級内容復習	装置別○×問題の理解（安全環境）	教室	10
学年末	22	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2021年度）	教室	10
学年末	23	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2020年度）	教室	10
学年末	24	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2019年度）	教室	10
学年末	25	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2018年度）	教室	10
学年末	26	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2017年度）	教室	10
学年末	27	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2016年度）	教室	10
学年末	28	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2015年度）	教室	10
学年末	29	4年	国家1級内容復習	過去問題の理解（2014年度）	教室	10
学年末	30	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2021年度）	教室	10
学年末	31	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2020年度）	教室	10
学年末	32	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2019年度）	教室	10
学年末	33	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2018年度）	教室	10
学年末	34	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2017年度）	教室	10
学年末	35	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2016年度）	教室	10
学年末	36	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2015年度）	教室	10
学年末	37	4年	国家1級内容復習	JAMCA問題の理解（2014年度）	教室	10
学年末	38	4年	国家1級内容復習	過去出題の苦手問題が克服できる	教室	4
学年末	38	4年	国家1級内容復習	定期試験	教室	3

2023年度　卒業研究 シラバス

課程・学年	高度自動車科		4年
学・実区分	実習	定期試験時間	
実施期	前期及び後期	授業時間計	234

	卒業研究	
教員名 実務経験	4年　担当	4年　担当
1.授業概要と履修前提	・高度自動車科の特色のある教育として実施する。 ・各ｾﾞﾐごとで能動的に活動し、卒業研究ｾﾞﾐを計画的に進めることで、ﾋｭｰﾏﾝｽｷﾙｱｯﾌﾟを目指す。 ・高度自動車科4年間教育の集大成とし、得意分野を持つ人材の育成をする。	
2.教科の到達目標	・「自主性、創造力、ﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟを身に付ける」 ・「向上心・探究心を養う」 ・「ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を身に付ける」	
3.使用教科書、準備品	・各種テキスト、過年度論文、自動車技術会発行論文集	
4.授業時間	前期　188	後期・学年末　46
5.ディプロマポリシーに基づく達成目標	(△)・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技能を身につけている (△)・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている (△)・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている (◎)・サービススタッフとしてのお客様応対力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている	
6.評価方法	論文で評価(100%)	

授業計画表(実習:卒業研究)

実施時期	回数	担当教員		テーマ	到達目標	教場	時間
前期	1	4年	4年	卒業研究	検証(実験)	実習場	94
前期	1	4年	4年	卒業研究	検証(実験結果考察)	実習場	94
後期	2	4年	4年	卒業研究	論文まとめ	実習場	30
学年末	3	4年	4年	卒業研究	発表・製本	実習場	14
学年末	4	4年	4年	片付け		実習場	2